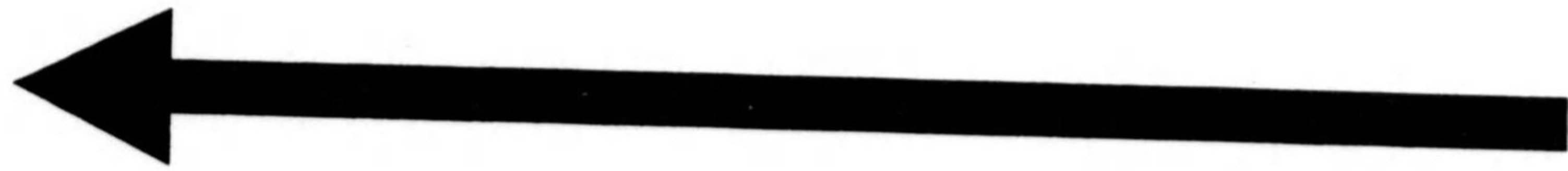


14. 2ハ-136
1200501165803



始



142
136



昭和十二年版

橫濱市產業概要

橫濱市產業課



例言

一、本冊子は横濱市産業統計調査手續並關係法規に據り市内各會社工場其他各種業者に就き當課が調査蒐集したるもの並各局課、官公署各種商工業團體等の調査資料に基き編纂したるものである。

一、統計表に關しては許可を必要とするものはこれを得た。昭和十一年版に収録し本年版に發表禁止となりたるものは止むなくこれを削除した。

一、本冊子中何年とあるは曆年を、何年度とあるは事業年度、又は會計年度、何年末又は何年何月末とあるは當該期日現在事實を示し特殊の時期に依るものは各表毎に附記した。



130
1930



Vertical text columns on the right page, likely bleed-through from the reverse side of the document.



横濱市産業概要目次

第一章 總 說	1
第二章 貿 易	7
一、貿易概況	7
二、貿易上に於ける横濱港の地位	10
三、外國貿易狀況	11
1 概 説	11
2 統 計 表	11
イ、横濱港外國貿易總額	11
ロ、三大港貿易額比較表	11
ハ、横濱港貿易額月別表	11
ニ、三大港洲別貿易額比較表	11
ホ、三大港主要相手國別貿易額比較表	11
ヘ、重要輸出品國別表	11
ト、重要輸入品國別表	11
3 生絲輸出狀況	11
イ、生糸輸出數量及價額	11
ロ、生糸輸出高比較月別表	11
ハ、横濱港絹織物輸出高	11
ニ、横濱港絹製品輸出高	11
ホ、横濱港人造絹織物輸出高	11

四、内國貿易狀況 〇

1 概 説 〇

2 統計表 三

イ、横濱港内國貿易總額 三

ロ、内國貿易移出入貨物品種別數量及價額 三

ハ、内國貿易移出入貨物品種別數量及價額 三

第三章 商 業

一、概 要 三

二、横濱取引所の概況 三

1 横濱取引所の概況 三

2 統計表 三

イ、横濱取引所總覽 三

ロ、株式長期清算取引高 三

ハ、生糸清算取引高 三

三、市 場

1 横濱市中央卸賣市場統計表 四

2 公設日用品小賣市場統計表 四

イ、公設市場月別賣上金高 四

ロ、公設市場品種別月別賣上金高 四

ハ、公設市場品種別市場別賣上金高 四

四、倉 庫

1 概 説 四

2 月別市内倉庫保管貨物出入残高表 四

五、物 價

1 市内卸賣物價指數 五

2 市内卸賣物價平均 五

3 市内小賣物價指數 九

4 市内小賣物價 一〇

第四章 工 業

一、概 説 二

1 序 二

2 本市工場の分布 二

3 工場數職工數及工産額 二

3 生 産 額 二

二、工場統計表

1 工場總覽 二

2 産業別工場數及従業員數 二

3 職工數別工場數職工數及生産額 二

4 年齢別職工數 二

5 工場使用原動機 二

6 工場使用燃料及動力 二

7 工 産 總 額 三

第五章 金 融

一、銀 行 三

1 概 説 三

2 統計表 三

イ、銀行本支店數及資本金 三

口、銀行預金	一七
ハ、普通貯金金額別	一七
ニ、据置貯金金額別	一八
ホ、据置貯金拂戻期間別	一八
ヘ、定期積金給付期間別	一九
ト、定期積金給付金額別	一九
チ、特殊及普通銀行貸付金	二〇
リ、特殊及普通銀行貸付金擔保別	二〇
ヌ、割引手形	二一
ル、貯蓄銀行貸付金	二一
二、無盡會社	二二
1 概説	二二
2 無盡會社數及資本金	二三
3 市内無盡會社無盡契約狀況	二三
三、質屋	二四
1 概説	二四
2 質屋及質物	二五
3 公益質舖	二五
四、郵便貯金	二六
第六章 會社	二六
一、概説	二六
二、統計表	二六
1 社數及資本金年次比較表	二六
2 産業別會社總數	二七

3 組織別及營業別	二七
イ、株式會社	二七
ロ、合名會社	二八
ハ、合資會社	二八
4 資本別	二九
イ、會社資本金額別總數	二九
ロ、一萬圓未満	二九
ハ、一萬圓以上五萬圓未満	三〇
ニ、五萬圓以上十萬圓未満	三〇
ホ、十萬圓以上五十萬圓未満	三一
ヘ、五十萬圓以上百萬圓未満	三一
ト、百萬圓以上五百萬圓未満	三二
チ、五百萬圓以上一千萬圓未満	三二
リ、一千萬圓以上五千萬圓未満	三三
ヌ、五千萬圓以上	三三
第七章 産業團體	三三
一、概説	三三
二、工業組合	三三
三、商業組合	三四
四、輸出組合	三四
五、同業準則組合	三五
六、産業組合	三五
七、横濱商工會議所	三六
八、各種實業團體一覽	三六

九、漁業組合 一九一

十、畜產組合 一九二

第八章 農業、水產業及畜產業 一九三

一、農業 一九三

1 耕地面積 一九三

2 農家戶數 一九四

3 農產物作付段別及收穫高 一九四

二、水產業 一九五

1 沿岸漁種物 一九五

2 水產業者 一九六

3 水產養殖 一九七

4 水產物總額 一九七

5 漁船 一九八

三、畜產業 一九八

1 家畜 一九八

2 家畜 一九九

3 養蠶 二〇〇

4 乳牛及牛乳 二〇〇

5 乳肉製品及罐詰 二〇〇

6 屠畜 二〇一

第九章 交通運輸

一、概說 二〇三

二、港灣 二〇六

1 橫濱港出入船舶種別、噸級別及乘降客 二〇六

三、鐵道

1 省營鐵道 二〇一

2 鐵道發着貨物數量及運賃 二〇一

3 私設鐵道 二〇五

一、神中鐵道線 二〇五

二、東京橫濱電鐵線 二〇六

三、京濱電鐵線及湘南電鐵線 二〇七

四、鶴見臨港鐵道線 二〇八

四、道路

五、市內交通 二〇九

1 市營路面電車及市營乘合自動車 二〇九

六、通信

1 郵便電信電話局所數 二〇六

2 電報發着信數 二〇七

3 電話線延長 二〇七

第十章 產業施設

一、產業調查 二〇九

二、貿易振興施設 二〇九

三、度量衡事務 三元

四、市場 四元

1 横濱市中央卸賣市場 四元

2 公設小賣市場 四元

3 私設日用品小賣市場一覽 四元

五、商工業の助成 三元

1 商工獎勵館 三元

2 日本絹業協會助成 三元

3 保證責任横濱市復興信用組合 三元

4 神奈川縣商工協會 三元

5 財團法人 横濱市家内工業振興會 三元

6 商工相談に關する事項 三元

7 産業資金に關する事項 三元

8 發明考案の助成 三元

9 神奈川縣東亞輸出組合 三元

六、農林、水産業の助成 三元

1 横濱市農會 三元

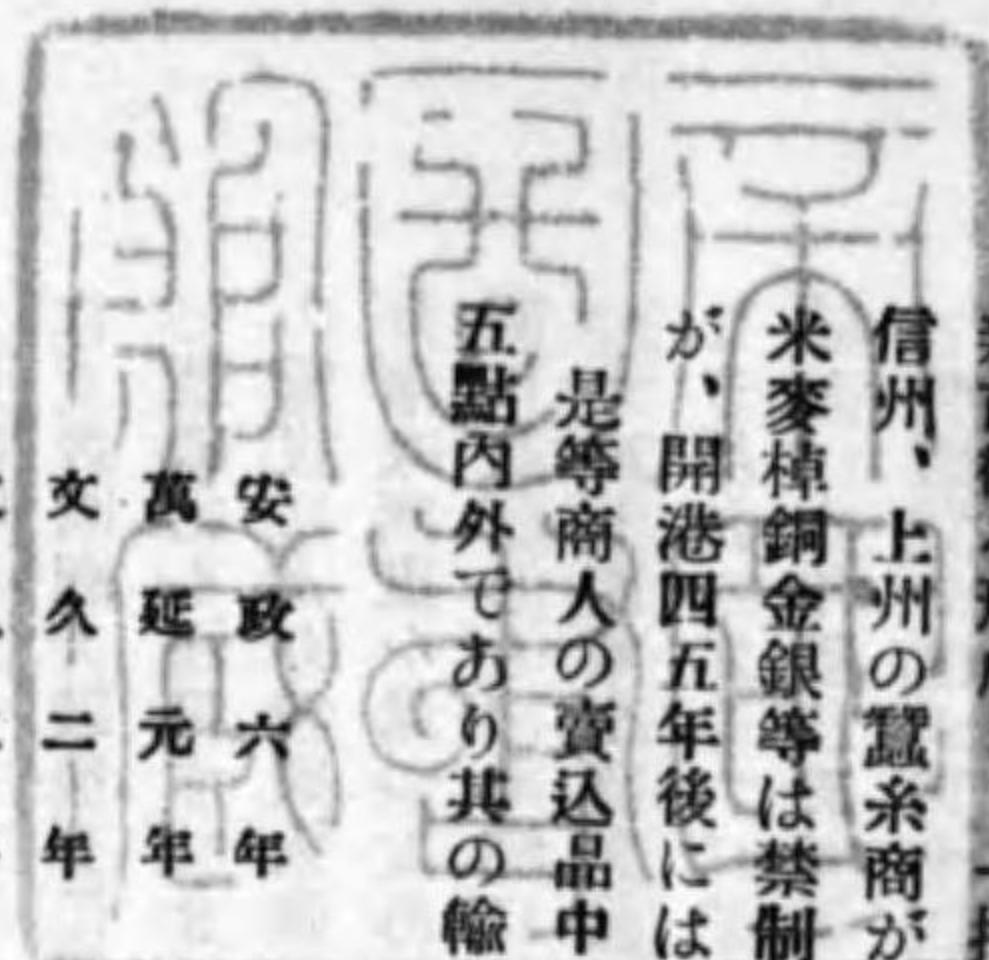
2 横濱市水産會 三元

七、博覽會、展覽會 三元

第一章 總說

我が横濱市産業發達の狀況を顧るに其れは全く神奈川條約に基き安政六年六月開港せられて以來のことにして其れ以前に於ては單なる一漁村にすぎなかつたのである。この一漁村が開港によりて一躍世界の大開港場となり、帝都の關門として各種文明機關を移入整備し産業の發展は他の都市に比し急激なる進歩を示して今日に至つたものである。

此の安政開港以來支那各港に在留せる貿易商が移住し來りたりと、幕府の内國人移住獎勵とによりて萬延元年八月頃より商人の數著しく増加するに至つた。然れ共未だ商店街などを見るに至らず降つて文久元年に至り移住者を増し、關内樞要の地は新市街を形成し、一攫千金を夢み、横濱目掛けて集ひ來り、本町目抜き場所には江戸商人、駿河商人、近江商人遠くは甲州、信州、上州の蠶糸商が店舗を構へ、生糸を初め、綠茶、海産物、絹織物、陶磁器、玩具、蠶卵紙等を陳列して居た。ところが米麥棗銅金銀等は禁制品であるから商品となり得なかつた。是等商人或は取引商、賣込商は二百軒内外で何れも兼業であつたが、開港四五年後には、專業者も出來た。外國商人としては、英、米、蘭人等で三十五六名に過ぎなかつた。是等商人の賣込品中に於ても生糸、蠶卵紙の如き又殊に磁器は外國人の嗜好に適して賣行きよく、其他輸出品としては六十



年	出	入
安政六年	五七八、九〇七圓	五四三、〇〇五圓
萬延元年	三、一九四、六八八圓	二、九九六、五六八圓
文久二年	四、一三三、〇九二圓	三、八五八、〇一六圓
文久三年	三、七〇四、四八四圓	三、四七四、七四九圓
元治元年	三、六〇一、二八四圓	三、三七七、九四九圓
慶應元年	五、三一八、七六七圓	四、九八八、九二一圓
同 三年	六、七六四、七四九圓	六、三四五、二二九圓

斯の如く本市は地方人、各國人によりて、商業殊に貿易業を中心として發達の緒に就き、明治維新に入りてより、益々西洋文物の輸入旺となり、交通機關、通信機關等の發達に伴ひ、人々は日に月に集中して行つた。

明治六年には蠶卵紙生糸検査を行ふ生糸改會社の設立あり。明治十三年には商工會議所の前身である商法會議所の設立、同年神奈川縣物産陳列場が設けられた。十四年には聯合生糸荷領所、十五年には、蠶糸賣込商によつて小手巻講と稱する團體を組織して、共同一致蠶糸商に當るなど、商業に關する團體が出来、愈々商業都市としての形態を作るに至つた。

明治二十七八年の日清戦争の結果たる國運の興隆、産業の擡頭、海外進出の機運は我が貿易の目醒しい發達を促し、貿易額一億四千四百萬圓に達し、同三十年には横濱港のみにて一億八千萬圓を計上し、全國の三億八千餘萬圓の四割六分を占めた。更に明治三十七八年の日露戦役後の激増又目醒ましきものあり、全國輸出入一躍九億圓、横濱三億八千萬圓の激増となつた。又歐洲大戰後更に躍進して、大正八年には四十五億圓、横濱港十七億圓の盛況を呈した。

茲に尤も注目すべきは日清戦役以來の入超を變じて、大戰中は出超の破格的活況を示現したことである。然れ共大正十二年の震災により我國大宗たる生糸及絹織物の一部が神戸港に移動し、昔日の如くならざるに至りしも其後斯業従事者の努力により漸次回復を見つゝある。其の他の貿易に於ては本港はさまで、影響を受けず、全國入超額は震災直後に於て七億二千五百萬圓に及びしも、本港に於ては寧ろ出超を示し、其額三千六百四十三萬五千圓を示して居る。

大正十四年全國貿易に於ては、大戰當時の記録を突破し、輸出入額五十一億一千三百萬圓の最高潮を示し殊に輸入に於て甚しき増加を示した。之は復興物資の輸入によるもので、本港に於ては依然輸出超過を示し、昭和九年に至るまで此の状態を持續し、本年度に於て再び出超を示して居る。

我國貿易は大正十四年以來昭和四年の最高記録を除く外は、内には、金解禁に依る爲替不安、復興物資の漸減より、外には主要販路たる農産物の購買力の停滞や、更に輸出貿易の大宗たる生糸其他の價格の續落等によりて漸落し、次いで世界不況金解禁による圓價暴騰及デフレーション政策の影響との下に、輸出入共極度に萎縮した。昭和六年には總額二十五億圓に充たず、本港も又六億七千六百三十萬圓に減じ、産業界も又苦痛甚だしきものがあつた。然るに此の間産業の合理化と、昭和六年の金輸出再禁止による圓爲替低落と、財政的インフレーションによる産業の興隆、滿洲國の獨立より日滿經濟ブロックの結成となり、世界各國の貿易不振の間に立ち獨り躍進を呈した。是が爲めに各國は本邦品の輸出防禦の政策を講じ、通商外交上日印、日俟、日致、或は日濠加奈陀等に問題を生じ、逐には之が對策とし、通商擁護法の外國爲替管理法等の諸制度を見るに至つた。本港も全く全國貿易と同様の道を辿つてゐる。一般商業界に於ても、貿易を生命とする本市に於ては之に影響さるゝことと勿論であるから、貿易の消長に順應して居ると同時に、一面昭和六年市場擴張以來鶴見、保土ヶ谷の工場地帯を含めて近時

の軍需エンフレーションにより、商業界にも幾分の曙光を見つゝあるは疑なき所である。現在本市は商店街と見るべきもの百二十、昭和七年中に於ける商業調査に依れば、總仕入高四億四百六十萬圓、賣上高四億六千七百六十三萬圓、營業所數二萬六千七百七軒、従業員五萬七千九百十二名に及んでゐる。内卸賣八九九軒、小賣一七、九三一軒、卸小賣兼業一、八四七軒である。本市工業は可成古くより食料品、家具、其他の家内工業、手工業はあつた。然るに工場工業としては、徳川幕府が慶應元年横須賀に造船廠を建設するに先立ち、新一の工廠を横濱に設け、船舶修造の目的を以て工を起したのに始まる。次で邦人に洋式工業の習得をせしむる必要から煉鐵鑄造模型、旋盤、鑄鑿、製鐵、製帆、船具、船工、木工などの各工場を設くる等、巨細の計畫を立て、二月には横濱製鐵所を起工し、同年九月竣工した。これが洋式工業の創建である。

其の後製綿工場、醬油味噌等の食料品工場が出来た。次いで明治二年燈臺寮によりて互斯發生裝置等が營まれ（現在の横濱市瓦斯局の前身）翌三年にはメリヤス製造創始せられ、其の頃又洋傘製造を始めた。明治五年には英人コプラン氏によるビール醸造業、造船修理を目的とする合資會社新鐵工場、家具製造、明治六年には石鹼製造、八年には染色工場、十一年にはヘルム船舶修理工場、十三年には印刷業、十四年にはラムネ、十八年には電線工場、機械メリヤス製造、二十年にはサイダー製造、同年又自轉車製造を初めた。二十四年には横濱船渠會社、二十五、六年代には輸出品を目的とした染色工場が五社程出来更に製油業が出来た。其の後日清戦争、日露戦争前後より造船業は一層旺になり、渡邊船渠、須田造船、相田鐵工所、折毛造船所が出来、紡績業、印刷業、製糖、木工所、莫大小其他輕工業が簇出した。

更に四十年代には東洋パブコック機械造船の外造船會社が増設せられた外肥料製造會社が出来た。次いで大正五年の東京灣埋立會社によりて鶴見海岸の埋立あり、淺野製鐵所、芝浦製作所等を始め大小の會社が設立せられた外、本市及び縣により子安及鶴見方面の埋立を行ひ、殊に千安町六二七、千餘坪の埋立地に對しては、免稅規定の改定を行ふ等、工場招致によつて日産自動車會社、日本電氣工業會社等各種重工業を始め輕工業の巨大工場が林立するに至つて居る。昭和二年の二町二ヶ村の合併に際しては保土ヶ谷、鶴見の合併あり、是等工場地帯を併せて現在五人以上職工を使用する工場九四二、職工數四七、九四〇人生産額四億四千八百餘萬圓の巨額に達し、工場都市を實現してゐる。尙陶磁器としては明治初年より有名なる眞葛焼あり、輸出向地物、横濱薩摩良齋焼等があつたことを附記する。

農業に於ては、幕末の頃舊久良岐郡管内は五十五ヶ村にして、之に横濱も含み人口大凡一萬六千五百人で、一人當の收穫高一石で一萬七千石の米産額を有したに過ぎなかつた由である。農村は勿論農民が大部分であつたことは云ふまでもない、只戸

部村、横濱村、本牧村、根岸村、屏風ヶ浦村、杉田村等の海岸沿線の村は、鹽炊漁獵採藻拾貝等、漁業を営む者も相當にあつたが、これも農業の副業とするものであつた。

田の耕地面積一千町歩、畑凡そ五十町歩にして、農閑には蕪細工、薪切等を営み、神奈川、保土ヶ谷方面に於ては、女は機織等を行ふに過ぎなかつた模様である。然るに開港と同時に外國人より西洋蔬菜の栽培を傳習し、之が作付を行はれるに至つて相當収入を擧ぐるに至つた。其の外明治初年洋種桃の栽培を傳習し、次第に旺になつて現在に於ては綱島は桃の名産地として知られて居る。尙耕地整理の施行、農業學の進歩に伴ひ農業技術は進むに至つて居るも商工業の發展に従ひ、人口集中し住宅と化し或は工場商店街となつて居る關係上、年々耕地を減じて居る。

又經營方法に於ても多角形農業經營となり、養鶏、畜産、果樹、花卉、園藝、蔬菜類の栽培を行ふに至つて居るも、生産額に於ては依然として、米、麥が最高を示し、次は蔬菜、果樹、花卉の順序である。

農家戸数は金澤町其他隣接町村の合併により昨年の三、八九三に對し四、九〇一戸と増加を示して來た。

水産業に於ても同様業者數に於て昨年一、四一六人に對し二、〇〇八人となつてゐる。

交通運輸業に就いては近代的施設は横濱は發祥の地であり、徳川幕府が洋式船を下附して回漕會社を設立せしめ、東京横濱間に定期航路を開始せしめ、又鐵道に就いては明治五年櫻木町品川間に開通したのが我國鐵道の初であり、電信事業に就いては明治二年に、郵便は同四年に初められ、又人力車、馬車も我が横濱に明治初年に出現して居る。

而して明治十年經濟革命の時代に及んで驚くべき發達を爲し、其後電話は明治二十三年十二月に設けられ、道路は埋立地を中心として幕府の開設に着手して以來次第に發達を見て、大正八年都市計畫法の施行當時より鋪裝を初め、震災後に於ては一層之に努めた結果、現在市内に於ては殆ど鋪裝道路となつた。其の他交通機關も商工都市としての發展に伴ひ私鐵の開始を見るの外省線電車の開通となり、市電軌道の開設電信電話の四通發達し、通船事業に於ても、貿易港たる關係より、各種船會社の出現を見て眞に殷盛を極めて居る。

金融機關として現在最も重きを爲して居る銀行の創始、並に發達は明治維新以後のことである。幕府時代には爲替渡世、掛屋兩替屋、札差等の金融機關があつたに過ぎぬ。

明治初年商法司並にそれに代つて設けられた通商司に於て、金融の途を講じた。これは勸商の目的を達する爲に、横濱外各支署の下に通商會社、爲替會社が設立せられた。これが銀行業の元祖である。その事業は金、銀券、錢券の發行一般の預金受

入金もあつた。そして商業者に対する貸付、爲替取組、賣買取引の管理、倉庫等も行つた。一人横濱通商會社のみが、洋銀券の發行權を有した處が、明治四年通商司の廢止と同時に、何れの會社も自滅の有様であつたが横濱通商會社は翌五年國立銀行條例が制定せらるゝや、國立銀行に轉業したのである。其の開業は明治七年八月十五日である。尙横濱に東洋銀行なるものがあつて、其處の書記シャンド氏が全國に銀行業の知識普及の爲め政府に招聘された記録はあるが、其の設立年月日は明瞭でない。

次いで三井銀行横濱支店が明治九年七月に三井組より轉じ、明治十一年七月には茂木、大谷兩氏の發起により、資本金四十萬圓を以て七十四銀行を設け、翌十二年には横濱正金銀行が設立せられた。國立銀行の新設を許さぬ方針を定めてより、私立銀行の設立機運起り更に明治二十三年商法施行して會社組織に關する法規完備し、一方銀行條例に依つて銀行の内容明確となるに及んで益々新設するものが増加した。横濱には平沼專三氏の金叶貯蓄銀行が同年に設立、横濱商業銀行が二十八年、貿易銀行が二十九年に設立せられた。次で明治二十八年日清戰勝後は益々増加の傾向を示し、所謂銀行濫設時代である。明治三十年金本位制の採用當時より各農工銀行、勸業銀行等簇出した。横濱農工銀行、戸部銀行、上信銀行、横濱商業銀行、ゼ、ホンコン、エンド、シャンハイ、バンキング、コーポレーション横濱支店、ゼ、チャイナード銀行横濱支店も當時の設立である。越えて日露戰爭後に於ては幾分減少した。これは新設制限合併の獎勵によつたのであるが其の後大正三年世界大戰に至るまでは其の特色として本店は少なきも、分店の増加と、資金の増加、銀行の國際化等が顯著であつた。

斯くして大正九年迄は世界大戰の影響を受けて、正に銀行黃金時代の業務發展振りを示したが、遂に彼のパンツクによりて我國銀行の破綻するもの各所に生じ、我が横濱に於ても茂木家の機關銀行たる七十四銀行が破綻して財界を攪亂するに至つた。次で大正十年の恐慌時代、十二年の大震災等に遭遇し遂に支拂猶豫並に手形權利保存行爲期間の延長に關する勅令と震災手形割引損失補償に關する勅令の公布となり、又合併するものが増加した。

更に昭和二年金融恐慌再來し休業銀行を見、我が横濱に於ても左右田銀行の休業となつた爲め銀行に對する一般の不安を増し再び支拂猶豫令の公布となり、臨時議會に對し日本銀行特別融通及損失補償法が同年四月施行となつた。

其の後財界の安定と共に比較的順路を辿つて居る。現在本市の銀行數は四五行預金額四、三三五、二一三、八五五圓拂戻高四、一五五、三九六、八七七圓貸付額一六九、〇三四、一四五圓此の擔保額一二二、三〇九、五八四圓である。郵便貯金は明治七年八月貯金規則の改定と共に我横濱に一ヶ所貯金預所が設けられ翌八年より事務を開始した。其の後三回の改正を見て現在に至つて

居る。

其の他金融機關として信用組合、無盡會社、公私設質屋、個人金融業者等あるも何れも各項に示すこととする。

第二章 貿易

一、貿易概況

横濱港に於ける昭和十一年度の外國貿易の狀況を述べるに先だち、本邦貿易の概況を叙述する。
 本邦對外貿易は、昭和七年以降逐年増勢を辿つて來たが、昭和十一年に於ては更に一大躍進を遂げ、劃期的記録を示すに至つた。即ち内地貿易は輸出二十六億九千三百萬圓、輸入二十七億六千四百萬圓、總額五十四億五千七百萬圓に達し、之に朝鮮、臺灣、及南洋を含む帝國總貿易は輸出二十七億九千八百萬圓、輸入二十九億二千萬圓、合計五十七億二千六百萬圓に及び、輸出並貿易總額は共に従前の最高記録である所の昨年の數字を凌駕し、輸入も亦未曾有の高額に當つて居る。

本邦對外貿易額（内地及樺太）（單位千圓）

	十一年	十年	九年	八年	七年
輸出	二、六九二、九七六	二、四九九、〇七三	二、一七一、九二五	一、八六一、〇四六	一、四〇九、九九二
輸入	二、七六三、六八一	二、四七二、二三六	二、二八二、六〇二	一、九一七、三二〇	一、四三一、四六一
合計	五、四五六、六五七	四、九七一、三〇九	四、四五四、五二七	三、七七八、二六六	二、八四一、四五三
差引	入 七〇、七〇五	出 二六、八三七	入 一一〇、六七七	入 五六、一七四	入 二一、四六九

帝國對外總貿易額

	十一年	十年	九年	八年	七年
輸出	二、七九七、八五〇	二、六〇三、一八〇	二、二五八、〇八一	一、九三二、〇六九	一、四五七、二九六
輸入	二、九二八、〇二五	二、六一七、八八〇	二、四〇〇、四九五	二、〇一七、五〇四	一、五二四、五二九
合計	五、七二五、八七五	五、二二一、〇六〇	四、六五八、五七六	三、九四九、五七三	二、九八一、八二五
差引	入 一三〇、一七五	入 一四、七〇〇	入 一四二、四一四	入 八五、四三五	入 六七、二三三

右の如く昭和十一年に於ける内地及外地を合せたる本邦對外貿易は輸出入合計五十七億二千六百萬圓といふ我が貿易史上未

會有的記録を樹立したが、前年度に比し輸出は七分五厘増進せるに拘らず輸入は一割一分八厘方激増した。ゆめ一昨年の千四百七十萬圓の入超に對し昨年は實に一億三千萬圓の入超を示現したのである。これを内地のみについて見れば輸出二十六億九千三百萬圓、輸入二十七億六千四百萬圓で昭和七年に於ける金輸出再禁止、對外爲替安によりて順致せられたる外に貿易の大膨張以降の實績と比較すると次の如くで、昭和十年度の貿易尻は僅少ながらも出超なりしに對比し、十一年度には輸出伸力は鈍化し、輸入急増して七千萬圓の入超に逆轉してゐるのが注目を惹いてゐる。而して此年の特長として注意に値する點は

(一) 輸出に於て品別より見れば重要商品が減退したる一面所謂雜品と稱するものが頗る優勢となつたこと。
 (二) 輸出先國別に見ると前年顯著であつた新市場進出が稍停頓して、中南米方面の如きは寧ろ減額を示し、舊市場即ち歐羅巴や北米向が幾分づゝ恢復したること。
 (三) 輸入に在つては商品別一體に増加したけれど就中棉花羊毛の二種が格別著しく當年度入超増の主なる原因をなして居ること。
 (四) 又輸入増の一般的原因としては農産物や原料品の市價が世界的に騰貴した事や重工業原料が著しく需要されたこと等が考へられる。

次いで本年度に於ける海外貿易を稍詳細に見るため便宜左に参考表を掲ぐることにした。

本邦類別貿易額並比率 (内地及樺太)

品名	昭和十一年		昭和十年		昭和十一年		昭和十年	
	價額	百分比	價額	百分比	價額	百分比	價額	百分比
食料	5,005	34.5	5,802	36.3	2,697	26.6	2,595	25.3
粗製品	1,570	10.5	1,200	7.7	3,242	31.4	4,553	44.8
製造品	10,377	76.6	17,110	79.7	3,110	30.4	4,488	43.8
原料	2,655	17.7	1,043	6.4	1,777	17.2	1,438	14.0
原料製品	76,566	47.6	67,433	41.9	47,566	46.0	45,482	44.3
全製品	1,533,896	85.1	1,421,330	85.1	2,943,566	28.6	2,333,644	22.5
其他雜品	3,876	0.3	2,777	1.7	3,977	0.7	15,833	1.5
計	2,393,966	100.0	2,999,733	100.0	3,283,601	100.0	3,365,011	100.0

本邦内地洲別貿易額 (單位千圓)

洲名	昭和十一年		昭和十年		昭和十一年		昭和十年	
	價額	百分比	價額	百分比	價額	百分比	價額	百分比
亞細亞洲	1,306,960	54.6	1,304,433	53.5	1,000,155	30.5	833,921	24.8
歐羅巴洲	377,768	15.8	323,755	10.8	330,133	10.3	295,633	8.8
北亞米利加洲	288,686	12.0	533,577	17.8	930,744	28.3	833,476	24.8
中央亞米利加洲	41,434	1.7	35,077	1.2	3,911	0.1	877	0.3
南亞米利加洲	66,661	2.8	73,322	2.4	11,190	0.3	33,633	1.0
阿非利加洲	17,733	0.7	18,566	0.6	12,433	0.4	9,566	0.3
大洋洲	93,777	3.9	95,433	3.2	30,498	0.9	34,366	1.0
合計	2,393,966	100.0	2,999,733	100.0	3,283,601	100.0	3,365,011	100.0

本邦内地主要國別貿易狀況 (單位百萬圓)

國名	昭和十一年		昭和十年		昭和十一年		昭和十年	
	價額	百分比	價額	百分比	價額	百分比	價額	百分比
米	594.2	24.8	535.5	17.9	398.9	12.2	398.9	12.2
關東州及滿洲國	598.0	25.0	426.3	14.2	403.0	12.3	403.0	12.3
英領印度	259.1	10.8	275.6	9.2	238.2	7.3	238.2	7.3
中華民國及香港	218.1	9.1	198.5	6.6	150.6	4.6	150.6	4.6
關領印度	129.4	5.4	143.0	4.8	158.4	4.8	158.4	4.8

輸 入	十 一 年	十 年	九 年
英 國	一四七・三	一一九・四	一〇九・二
濠 洲	六八・七	七四・七	六四・四
埃 及	四〇・九	五三・八	七二・九
海 峽 殖 民 地	五八・七	四八・五	六三・三
比 律 賓	五一・八	四八・〇	三六・四
米 國	八四七・四	八〇九・六	七六九・四
英 領 印 度	一八一・九	三〇八・四	二九二・〇
獨 逸	二二九・四	二三五・一	一九七・八
關 東 州 及 滿 洲 國	一一五・五	二一六・五	一九一・六
中 華 民 國 及 香 港	一五八・〇	一一〇・八	一〇九・六
英 國	七二・九	一三六・七	一一一・〇
英 領 印 度	一一三・五	八二・二	七〇・〇
加 爾 各 答	七三・二	七八・二	六三・五
埃 及	四四・七	五二・五	五四・一
		五一・三	四六・三

一、貿易上に於ける横濱港の地位

對外貿易に浮沈が一國の經濟力に影響を及ぼすことは、茲に新に論ずる必要はない。我が國の對外貿易は幸にして諸港開港以來諸種の好條件の下に好況を呈し、年を逐ふて躍進を遂げ今日に至つた。而して我が國貿易額の如何が直ちに或一港の貿易額に影響する反面に於て、一港の貿易額の如何が國の貿易額に影響することも亦敢て多言を要しない。

我が横濱港は安政六年鎖國政策放棄と共に開港され、英、米、佛等數ヶ國を相手國として通商を開始した。而して當時の貿

易額は輸出五十七萬九千圓、輸入五十四萬三千圓、輸出入合計百十二萬二千圓に過ぎなかつたのである。

其の後次第に躍進を爲し、相手國も世界各國に擴大し、明治維新となるに及んで、我が朝野は擧げて舊慣を打破して泰西の文物を輸入せんとするの狀勢に在つた爲めに、輸入物資は激増し、輸入超過の現象を誘致したのは明治二年以後のことである。而して昭和の代となり昭和五年に入つて世界經濟不況の激化と金輸出解禁に因る圓價の昂騰及びデフレーション政策の影響を受けて輸出入共極度に萎縮したが、我が産業界は凡ゆる犠牲を供して事業の合理化を敢行し、昭和六年に至るや金輸出再禁止の結果圓爲替の低落、財政的インフレーション等に依り産業界は漸く恢復し、加へて日滿經濟の發展により貿易界も活氣を呈することとなり、次第に輸出入額の増大を見ることとなつたのである。

昭和十一年に至つて横濱港の輸出額六億七千八百三十二萬三千圓、輸入額六億八千七百〇一萬二千圓、輸出入合計十三億六千五百三十三萬五千圓となり之を安政六年の貿易額に比較すると輸出額は百十倍、輸入額は百十四倍、輸出入合計は百十一倍であつて過去七十餘年間に於ける横濱港對外貿易の大發展は之によりて容易に知られるところである。

けれども國家が發展するに伴ひ横濱一港のみでは充分な活躍を爲すことを得ない、其の後神戸、大阪二港も亦横濱港の發展に正比例して發展し、明治の初期に於て横濱港の輸出入貿易額全國の七割餘を占め殆んど獨占的であつたのに反し、昭和十一年に於ては三大港の全國に對する貿易額の割合は、横濱港二割五分、神戸港三割五分、大阪港二割三分を示し、五十年前に於ける地位を全く一變したのである。

其の理由としては、横濱港の主要輸出入品推移し、阪神兩港は支那、英領印度、歐洲等の大量消費市場に比較的有利な位置に在ること等を擧げることを得る。

以上の如く對外貿易に於ては傳來獨占的立場に在り、殊に生糸の對米輸出に付ては從統的地位を誇つて居たが、大正十二年の大震災以後漸次神戸港の進出を見、生糸輸出二元的となり港勢の前途益々多事なものがある。

然し我が横濱港も亦對外貿易上不利な位置に在るといふのではない。北米合衆國、中米及南米に對しては阪神兩港よりも有利な位置に在り、邦品の排斥が特に南米に於て著しいといつても之に對する方策がその宜しきを得るならば益々發展の余地がある。殊に我が横濱港は帝都の關門にして重要な地位を占め、北に東北、北海道の廣大なる産業地域を控えて居ることは、阪神兩港の背後地に勝るとも劣らないのである。之等産業開發に依り、益々本港貿易の發展を圖るべきことは敢て至難ではない。故に本港の前途益々多事なりと雖も發展の餘地が充分にあり、我が國最古の開港たる地位を確保することに思を致すべきである。

三、外國貿易狀況

1 概 説

昭和十一年横濱港に於ける貿易額は、輸出六億七千八百三十二萬三千圓、輸入六億八千七百〇一萬二千圓、輸出入合計十三億六千五百三十三萬五千圓であつて、昭和十年に比較すると、輸出に於て一千二百三十萬六千圓、輸入に於て七千二百四十四圓、合計に於て八千二百三十三萬圓を増加した。而して前年は九百四十二萬九千圓の輸出超過であつたのに對し、本年は八百六十八萬九千圓の輸入超過となつてゐる。

2 統計表

イ、横濱港外國貿易總額 (單位千圓)

年次	輸 出	輸 入	合 計	輸出入(▲)超過
昭和七年	四〇〇、六五九	三五五、三五八	七五六、〇一七	四五、三〇一
昭和八年	五〇〇、八八八	四五六、三五四	九五七、二四二	四四、五三四
昭和九年	四九〇、二〇一	五三七、三一六	一、〇二七、五一七	四七、一一五
昭和十年	六二六、〇一七	六一六、五八八	一、二四二、六〇五	九、四二九
昭和十一年	六七八、三二三	六八七、〇一二	一、三六五、三三五	八、六八九

ロ、三大港貿易總額比較表 (單位千圓)

年次	昭和十一年		昭和十年		昭和九年	
	總額	比率	總額	比率	總額	比率
全 國	五、四五六、六五七	一〇〇	四、九七一、三〇九	一〇〇	四、四五四、四五六	一〇〇
横 濱	一、三六五、三三五	二五	一、二四二、六〇五	二五	一、〇二七、五一七	二三

年次	昭和十一年		昭和十年		昭和九年	
	總額	比率	總額	比率	總額	比率
神 戶	一、九二九、〇〇四	三五	一、七三二、五四〇	三五	一、五八二、一四五	三六
大 阪	一、二六五、四九七	二三	一、一六六、八九三	二三	一、〇九九、五四二	二五
其 他	八九六、八二一	一七	八二九、二七一	一七	七三五、二五二	一六

年次	昭和十一年		昭和十年		昭和九年	
	總額	比率	總額	比率	總額	比率
全 國	二、六九二、九七六	一〇〇	二、四九九、〇七三	一〇〇	二、一七一、九二五	一〇〇
横 濱	六七八、三二三	二五	六二六、〇一七	二五	四九〇、二〇一	二二
神 戶	九七〇、七八四	三六	九一〇、八九九	三六	七九〇、六〇〇	三六
大 阪	六七二、二三三	二五	六二〇、一四三	二五	五八六、一八〇	二七
其 他	三七一、六三六	一四	三四二、〇一四	一四	三〇四、九四四	一五

年次	昭和十一年		昭和十年		昭和九年	
	總額	比率	總額	比率	總額	比率
全 國	二、七六三、六八一	一〇〇	二、四七二、二三六	一〇〇	二、二八二、五三一	一〇〇
横 濱	六八七、〇一一	二五	六一六、五八八	二五	五三七、三一六	二二
神 戶	九五八、二二〇	三五	八二一、六四一	三三	七九一、五四四	三三
大 阪	五九三、二六四	二一	五四六、七五〇	二二	五二三、二九〇	二二
其 他	五二五、一八五	一九	四八七、二五七	二〇	四三〇、三八一	二〇

ハ、横濱港貿易額月別表 (單位千圓) 括弧内ハ昭和十年

月 別	輸 出	輸 入	合 計	輸出入(▲)超過
一 月	(五一、七四八)	(五七、六七三)	(一〇九、四二一)	▲五、九二五
二 月	(四一、〇九五)	(四九、九九二)	(九一、〇六七)	▲八、八七七

二	月	(四三、七五七)	(五七、九九三)	(一〇一、七五〇)	(九三、三八九)	(一四、二三六)
三	月	(四〇、三九二)	(五二、九九七)	(九三、三八九)	(九三、三八九)	(一四、二三六)
四	月	(四七、二五九)	(七二、三六〇)	(一二二、六一二)	(一二二、六一二)	(一八、四三〇)
五	月	(四七、三八五)	(五五、六九六)	(一〇二、九五五)	(一〇二、九五五)	(一八、四三〇)
六	月	(四八、一八四)	(六八、七九七)	(一〇四、四八七)	(一〇四、四八七)	(一八、四三〇)
七	月	(四七、九〇六)	(六一、一〇〇)	(一〇七、〇〇六)	(一〇七、〇〇六)	(一八、四三〇)
八	月	(四七、八〇四)	(五八、八六五)	(一〇七、五四三)	(一〇七、五四三)	(一八、四三〇)
九	月	(五〇、六八五)	(四七、五六六)	(九七、三三六)	(九七、三三六)	(一八、四三〇)
十	月	(六六、二八四)	(四八、七九七)	(一一四、〇八一)	(一一四、〇八一)	(一八、四三〇)
十一	月	(六二、七五五)	(五〇、四七三)	(一一一、三〇九)	(一一一、三〇九)	(一八、四三〇)
十二	月	(六二、七五五)	(五二、五五六)	(一一一、三〇九)	(一一一、三〇九)	(一八、四三〇)
合計		(六二六、〇一七)	(六八七、〇一三)	(一、二四二、六〇五)	(一、二四二、六〇五)	(一八、四三〇)

二、三大港別貿易額比較表 (單位千圓)

一、輸出之部

亞細亞洲	一、三七〇、九七〇	五二%	一八三、九八三	二七%	四一九、〇九〇	四三%	五五〇、八九〇	八二%
歐洲	三〇七、七一八	一一%	九四、七三四	一五%	一一九、三五七	一三%	二五、五一七	四
北亞米利加洲	六〇八、八五七	二二%	三四〇、一一〇	五〇%	二〇四、七六九	二一%	一四、三四〇	二
中央亞米利加洲	四一、二四一	二	一一、〇九八	二	二一、七八一	二	五、三七八	一
南亞米利加洲	六八、七六一	三	九、九一三	一	四一、二八九	四	一二、五三四	二
阿弗利加洲	一九七、七〇三	七	一六、一六五	二	一〇九、五六〇	一	五三、一八五	七
大洋洲	九七、七二七	三	二一、三二〇	三	五四、九三八	六	一〇、三九〇	二
合計	二、六九二、九七六	一〇〇%	六七八、三二三	一〇〇%	九七〇、七八四	一〇〇%	六七二、二三三	一〇〇%

二、輸入之部

亞細亞洲	一、〇六〇、一五二	三八%	一七四、一四八	二五%	四二五、八〇一	四四%	一八五、六七七	三一%
歐洲	三三〇、一二三	一一%	一一八、三三六	一九%	一一一、六八四	一三%	五五、九三七	九
北亞米利加洲	九二〇、七八四	三三%	二七八、八〇三	四一%	三〇二、四七一	三二%	二三八、六〇一	四〇
中央亞米利加洲	一一、七九一	一	六、一六九	一	八、七九二	一	五、八四〇	一
南亞米利加洲	一一二、一九〇	四	一四、八九一	二	四一、六〇九	四	三四、八七一	六
阿弗利加洲	一〇八、一四三	四	二五、〇三九	四	二五、四九七	三	三八、二七七	七
大洋洲	二一〇、四九八	八	五九、六二六	八	三二、三六六	三	三四、〇六〇	六
合計	二、七六三、六八一	一〇〇%	六八七、〇一一	一〇〇%	九五八、二二〇	一〇〇%	五九三、二六四	一〇〇%

ホ、三大港主要相手國別貿易額 (單位千圓) 輸出額百萬圓以上ノ國

滿洲國	一七、七二一	二〇、八八一	九四、三七〇	四六、一七五	三七、九八七	三二、四五七
橫濱						
神戶						
大阪						
合計						

關東州	六五,二一一	七五,六四八	一三六,六五一	三,四六三	二,四八八	九,七二〇
支那	二一,五九九	三三,四三七	七三,二五一	三五,六五七	四二,二四一	三九,四六一
露領亞細亞	三,八五五	五一四	三,二三五	一三三	六,二三二	三五
香港	四,五〇〇	三一,二六六	一三,三七三	六四	一七四	二,四五五
佛領印度支那	一,一七六	二,一二九	五八九	五,四五六	四,〇一九	二,七三〇
暹羅	三,一三一	二〇,一〇〇	一四,一九五	二,一七六	二,四九五	一,一七二
海峽殖民地	五,五八〇	二六,五三七	一四,〇六一	一四,七四六	一五,〇四二	三,九二〇
英領印度	三八,一五七	九七,八八二	九五,八〇三	一六,四六五	二五二,二〇五	七,一五五六
セイロン	三,二一五	六,四一九	二,三二六	九八二	一,〇二〇	三一
アナン	一,〇一七	四,九九二	六,四六九	二	一,〇二〇	三一
比律賓	七,一〇二	二八,二三八	一〇,一七四	七,五一九	一三,八九六	四,三四六
蘭領印度	五,九六九	四二,八三六	六八,八五〇	二八,六八七	三七,四四九	一四,九五二
英領西利	四五,一九三	五三,四九八	五,〇五四	二五,三〇六	二二,五〇八	一八,四一七
佛蘭西	二一,一四五	一六,六三九	三,五八六	七,八〇七	八,四六七	二,七九七
獨逸	一〇,三八二	一六,九八三	三,〇五八	五二,四六五	四五,一六四	一一,三四八
伊太利	一,一〇八	二,三九八	八五六	一,六七〇	一,六一二	四八〇
波蘭	三,六九四	六,三六八	三,〇三六	六,六七四	三,五一三	五,五三三
和蘭	四,〇五二	六,七一六	一,三〇一	一,三五七	一,七三八	一,四〇八
露西亞	一,六一六	一,一七	一,〇七七	七,四四九	一四九	四,二七四
瑞典	一,四二四	四,七三二	一,六六三	一〇,七八五	九,九七二	一,七七五
挪威	一,八六三	一,八一三	一,二七六	二,二四六	一一,九九五	一,〇八〇
シベリア	一,一〇七	七五一	二〇	一	一一,九九五	一,〇八〇
亞米利加合衆國	三三五,六三九	一九九,〇四〇	一四,二〇八	二四四,一二三	二九四,六五一	二六九,一八一
加奈陀	四,四三九	五,七一九	一三二	三四,六五二	七,七五四	二一,六〇〇
墨西哥	一,九一五	三,二一三	一,六七四	五,三七九	七,八四一	四,七九五

重要輸出品國別表

パナマ	四,二一九	四,八一八	一七四	五	一一
ホルトリコ	一,〇八四	三五〇	三六六	三	一一
キユラソ	二,四四二	二,五五五	六九	一	一一
秘魯	一,一二九	四,一三九	四九七	三二四	四,四六〇
亞爾然	三,一八六	一二,八一	五,〇八七	五,一三一	五,一一〇
伯刺西爾	二,二六八	四,五七三	六五一	三,四九五	二七,一七七
埃及	三,八四五	二二,八一	一〇,六五二	一二,五九七	七,三四二
南阿聯邦	七,六六三	二六,九五九	三,三五七	七,二四七	三,〇七七
濠太刺利	一五,五六一	三六,六三六	八,二六〇	五二,二七八	二四,一六五
新西蘭	一,八二八	一〇,八三三	一,六七八	五,三三七	六,二三四
布哇	三,三五八	五,六七三	五〇	一〇一	三五

一、滿洲國	小麥粉	四,五〇六,五四一	電球	二四四,一九一
	機械及同部分品	一,六六四,六六二	精糖	三,八七四,三一六
	紙製	六四七,六七七	米及	五二〇
	紙類	二一八,七一五	機械及同部分品	一〇,四一四,〇八九
二、關東洲	鐵製品	四〇七,八三六	紙製	二,一〇六,四二三
	鐵詰食料	二三三,四二二	絶緣電線	九〇七,五七九
	銅粉	一,八一九,八七六	木製	三,八九三,三五六
	小麥粉	七,二六九,二〇〇	肥料	一,九五五,六八〇
	玩具	一四三,六一六	鐵物	六二六,八四三
			鐵材料	一〇,九六六
			肥料	六,七九九,九五八
			鐵物	一四五,八六五

三、中華民國

小麥粉	三三五、三〇九
銅	一、三六四、四二四
玩具	二二八、六七七
電球	六三、二〇二
精糖	一、四四七、四五一
綿織物	一一、五七二
米及穀類	一、五三〇
機械及同部分品	二、七七五、五六八
紙類	四八〇、五九四
紙製電線	二九八、三三九
絕緣電線	五四一、八五六
鐵製物品	三七二、七〇七
木料	一三九、九六九
硬化油	三四、二八八
鐵履	一、四六六、四二八
亞細亞	二、八三二
四、露領亞細亞	
鐵詰食料	一、八八七
小麥粉	五〇五、二二二
機械及同部分品	一、七三〇、九四〇
絕緣電線	八六、七九三
鐵製物品	九八、二七八
五、香港	三六〇、五一四

九、英領

紙製品	九三、七七八
ワイシャツ	一三〇、三三三
印度	
羽二重	一、八三六、〇七八
琥珀及ホプリン	二六三、一六一
縮緬及壁織	一、八五六、〇六三
縮緬及壁織	七、二八八、八〇八
ホシジ	三一三、三〇七
富士絹類	一、二八一、二四〇
其他ノ絹織物	一、〇二〇、二五九
銅	二、二四四、八五五
玩具	四四三、七七九
電球	七六、〇〇三
綿織物	二、七六〇、一四五
きもの	三四七、八六七
紙類	五、三三五、四一〇
綿織物	二九六、八一九
紙手巾	四八五、九〇四
絶縁電線	六三、六七三
ワイシャツ	八二、三一七
一〇、比律賓諸島	
羽二重	一、三九七、六〇一
琥珀及ホプリン	七、八〇四
縮緬及壁織	一、八三七、〇〇九
富士絹類	一六、一二二

一一、蘭領

其他ノ絹織物	一五四、八二九
玩具	九八、一五四
電球	二七、九七七
綿織物	二八、一八七
米及穀類	三六七
きもの	七六、四〇六
機械及同部分品	一〇七、五六一
鐵製物品	四〇、〇一七
ワイシャツ	一六、七一九
履物	四、九一三
印度	
縮緬及壁織	二〇三、六二九
其他ノ絹織物	二二、三八九
小麥粉	一五〇、七七〇
銅	一六五、二四八
玩具	二五三、六一三
電球	三五、〇三一
綿織物	七、六四四
機械及同部分品	一九七、四七四
紙製電線	七五、五九八
絶縁電線	二五、一七五
木料	二八、三五三
ワイシャツ	五九、一一〇
鐵製物品	五九二、六四〇
履物	四五、四七〇

一三、英吉

生絲	羽二重	縮緬及壁織	ホンジ	富士絹類	蠶繭詰	玩詰	電球	綿及	米及	百根	紙製	紙製	絹手	安知母尼製品	魚油及鯨油	毛皮	木油	硬油	關西		
一六、五二七、五三一	六〇三、三〇七	一、九二五、一六一	一二、一八五	四〇〇、一七四	四、九八一、一一五	七四八、七八二	三、六六二、〇〇四	一、一二三、六七六	四七、三四五	五二	二四四、六一八	六八一、六六四	一二二、一六二	三四二、七一六	六二二、五六七	二一三、三六六	六七八、一六九	四七、二一一	八六九、二〇〇	二一八、二七九	一二、一九六

一四、獨逸

生絲	羽二重	縮緬及壁織	ホンジ	富士絹類	蠶繭詰	玩詰	電球	綿及	米及	百根	紙製	紙製	絹手	安知母尼製品	魚油及鯨油
七六九、四一三	二五七、一〇四	三七、〇二二	五九、九四八	七七五、三四三	二一五、〇九二	一〇	五一、八三七	一〇七、九五五	七、九三三	二四	一三、二九六	二五八、九九〇	二二、〇二三	二八、七七七	二、九五三、〇三九

一五、伊太

硬油	肥化	紙製	太利	富士絹類	玩具	屑絲眞綿及玉絲等	硬化油	蟹籠詰	玩詰	蘭	ホンジ	蟹籠詰	玩具	百根	安知母尼製品	魚油及鯨油	木油	典	ホンジ	玩具	綿織	きもの	
九六一、九六九	五六五、四一九	三六、二五六	八三、〇九五	一〇、五六一	三九六、四二〇	五三、三五一	五四〇、一七六	一八七、八九三	一七、二五一	六一、一七六	六〇四、八八八	二〇、三七七	一六八、七七四	三〇、二一七	三九六、八七八	三、五三四	三三、三一三	一一七、〇三五	五一、八七八	一二、二六四			

一九、北米合衆國

安知母尼製品	生絲	羽二重	縮緬及壁織	ホンジ	富士絹類	蟹籠詰	玩詰	電球	綿及	米及	百根	紙製	紙製	絹手	安知母尼製品	魚油及鯨油	木油	硬油	肥化				
五、八七七	二五五、七一、一四二	一、七三四、〇七七	八三、三一八	七六五、九〇四	九八七、八九二	三三七、一一七	八、一一四、三一二	三、六一二、八八二	九、一二五、九七六	四、一三四、〇二〇	一、八四九、二五八	二四、七三五	四、一七七、三七五	一、三六〇、三五一	五九九、〇五八	六八七、六一五	一九七、八五二	一一、六一、〇九九	一、一四七、九三〇	四、〇八二、〇〇九	二六、一五二	七七、二九五	二、〇四七、四五八

二〇、加奈陀

ワイシャツ	四九、四〇八
履物	四四一、五六六
生絲	六四二、三五二
羽二重	五一、六三一
琥珀及ホプリン	四、七一〇
縮緬及壁織	八二、六一一
縮緬及壁織	三五、三六五
ホンジ	一一、八七七
富士絹類	五、一二八
其他ノ絹織物	一四九、七六五
蟹籠詰	一六四、六四二
蠶詰食料	三四六、九七七
玩具	七四二、八七九
電球	一四八、〇八七
米及	一八一、〇七五
きもの	五五、七〇八
百合根	九八、八三四
紙製品	四六、七四二
絹手巾	四八、九七〇
安知母尼製品	七七、一四九
履物	一三、三六三
西	一三、四四二
縮緬及壁織	一九九、〇九八
玩具	

二二、バナ

絹手巾	四一、九七一
硬化油	二〇四、七五四
きもの	九五八、一二三
ワイシャツ	四六三
馬	
露	
綿織物	七八、二七三
然丁	
羽二重	一五五、七六二
縮緬及壁織	四八五、九一九
ホンジ	五六、〇一一
玩具	二三三、六二九
電球	四一六、一〇一
綿織物	一九一、八九四
絹手巾	三六、六三二
西爾	
玩具	七三、四八〇
電球	三五五、二六三
及	
縮緬及壁紙	四五、四四八
富士絹類	一五七、六〇五
其他ノ絹織物	二、六二二

二八、南阿聯邦

綿織物	六八、三七七
きもの	九九、四四九
ワイシャツ	九、七四五
羽二重	七六、一二八
縮緬及壁織	五九、七六四
縮緬及壁織	一、七四八、七六四
ホンジ	一五、一九三
富士絹類	七六八、五五〇
其他ノ絹織物	一三〇、四六〇
蠶詰食料	一七七、四〇六
玩具	四一五、七〇九
綿織物	一七五、一三五
きもの	二三四、四八〇
絹手巾	九、〇五四
木材	一八一、一一二
ワイシャツ	一、六五四
刺利	
生絲	二、九五六、五〇〇
羽二重	一、八四二、二五一
縮緬及壁織	三七二、三六二
縮緬及壁織	三、五八六、八九五
ホンジ	八、八九四
富士絹類	一七六、六五八

三〇、新西蘭

其他ノ絹織物	四七三、〇六四
蟹籠詰	三〇二、一八五
玩具	一、六三〇、〇二六
電球	五九、七七七
綿織物	四二二、一九〇
米及	三四、八一
魚油及鯨油	八三、四一八
木材	二〇、九七三
玩具	
木	二六八、九七八
哇	九九、九七七
富士絹類	八、八九六
蟹籠詰	六七、九九五
蠶詰食料	三五四、三六六
綿織物	七一、九四八
きもの	九一、七九三
紙製品	二四〇、三六八
履物	九七、三七五

ト、重要輸入品國別表

一、滿洲國	
銑鐵	四、七七〇、三〇八
油	六、九〇六、三四四
大豆	一三、五九六、〇八三
其他ノ豆類	四、六〇六、四二七
石炭	五、五七七、五四四
硫酸アムモニウム	二、〇四七、一二七
飼料	一、〇七三、八八七
穀類	三九一、七五〇
胡麻子	二二三、七七〇
二、關東洲	
其ノ他ノ鐵	四五五、九三八
硝子板	四九四、九九六
三、中華民國	
綠綿	五、一三九、四三三
其他ノ鐵	二五三、三二四
大豆	一、三九三、七二九
其他ノ豆類	八
石炭	一、〇九三、六四六
其他ノ炭類	四、二九一、二九一
麻類	三、一七六、六八六
穀類	一、六九九、二九六
牛皮及水牛皮	一、九三〇、七二〇

九、比律賓諸島	
其他ノ豆類	七八一、七四二
鉛	九七三、一四八
生インディアラバ	一四八、四二九
及生ガタバーチヤ	一七八、八六五
植物性芳香揮發油	
一〇、蘭領印度	
木類	二、二四九、四三〇
麻類	四、六九八、四四〇
礦油	一〇、七一九、二九五
其他ノ鐵	九九五、五六七
原油及重油	一、六二三、八三三
木類	二九二、〇二三
其他ノ豆類	九九、四三四
砂糖	五、九九八、二四二
生インディアラバ	五、五九五、八二三
及生ガタバーチヤ	七二、七七七
胡椒	九一、九九六
錫	一〇九、二五七
植物性芳香揮發油	
一一、英吉利	
內燃機及	二五四、四四三
其他ノ機械	四、一五八、六一八
同部分品	一一九、七五九
鐵板	八四七、九一八
其他ノ鐵	二、〇九六、五七六
羊毛	六九三、四五八

四、露領亞細亞	
牛油	二七、〇〇二
（屠又ハ故ノ纖維	二、一四九、三三一
屠纖維及屠絲	一、七四五、六七八
胡麻子	二、六三二、三六〇
錫	九九五
曹達灰及天然曹達	三五、四三四
植物性芳香揮發油	
五、佛領印度支那	
原油及重油	四二
木類	三一
其他ノ鐵	八、三二〇
六、暹羅	
石炭	三、五四五、五一六
胡麻子	一、七五五
七、海峽殖民地	
生インディアラバ	九、四七七、八三〇
及生ガタバーチヤ	二、三〇八、二三三
八、英領印度	
綠綿	六二四、四七五
其他ノ鐵	一、三一〇、六九四
錫	四、六五八、八五一
鐵	三、九三一、三四一
其他ノ鐵	一、八二四、七八六

一二、佛蘭西	
自動車及同部分品	六〇一、八一三
硫酸アムモニウム	九
毛織物	三、九五〇、九五〇
印刷料	二五四、五三二
硫酸加里	七
鹽化加里	六二、三九二
書籍及雜誌類	五七一、七九二
硝子板	五二、九七四
白金	三二八
酒類	五六八、六四七
革類	一二二、一七五
曹達灰及天然曹達	一六〇、三〇九
寫真用乾板	一一二、四三六
植物性芳香揮發油	二〇三、八五〇
其ノ他ノ機械及同部分品	
其他ノ鐵	四五二、三五二
同部分品	四〇二、八九七
自動車及同部分品	七、二八四
毛織物	一、八七一
硫酸加里	五六〇、七一六
鹽化加里	一、一五九、四三七
書籍及雜誌類	一二〇、五三九
寫真用フィルム	七四、七七一
酒類	六一六、〇四四
植物性芳香揮發油	三九五、三四五

一三、獨

礦油	一八一、九六五
內然機關	五三〇、五四二
其ノ他ノ機械及	一〇、三〇二、二〇二
鐵板	四三五、一五三
其他ノ鐵	三、五一〇、七二二
自動車及同部分品	六七九、〇四七
硫酸アムモニウム	八、九六五、五七三
毛織物	七七、八八七
印刷料紙	一、九七一
硫酸加里	四、二一二、三六五
鹽化加里	三九四、八七三
書籍及雜誌類	六七五、八七五
硝子板	七八、四二四
寫真用フィルム	六六五、八〇八
包裝用紙	二六、四五九
酒類	五二、六五五
革類	四五四、六七九
植物性芳香揮發油	四三、〇七〇
太利	
其ノ他ノ機械及	一六八、四二七
同部分品	三八、三四〇
酒類	一〇五、五七九
植物性芳香揮發油	
耳義	
其他ノ鐵	二、九二二、八四五

二六

毛織物	二、七四三
硫酸加里	四七、五〇〇
硝子板	二五四、〇二二
寫真用フィルム	九七、五七一
其他ノ鐵	一八五、五三九
毛織物	四、七九〇
植物性芳香揮發油	三四、三八八
典	
其他ノ機械	二、一三七、三〇八
及同部分品	二、三九四、六四八
其他ノ鐵	四、二三六、七九七
印刷料紙	二五三、六七七
包裝用紙	三二八、〇一四
亞米利加合衆國	
綿	二五、二一九、三三四
小麥	四七四、七四二
礦油	一〇、三六一、七六八
內然機關	七、三五二、六四八
其他ノ機械	一五、八六五、九九九
及同部分品	三、九六五、四九八
鐵板	一五、二一六、二六六
其他ノ鐵	五三、四七三、七六一
原油及重油	八、七七二、〇三三
木	二一、五三五、八五六
自動車及同部分品	

一九、加

硫酸アムモニウム	三、二五三、一二五
鉛	一、六五〇、九〇三
印刷料紙	一九七、九七四
葉煙草	四、八八二、六〇七
バルブ	八、九三四、八七三
飼料	三六、五二二
鹹魚	八四六
鹽化加里	五、三八八、八八〇
書籍及雜誌類	四六七、〇〇七
牛皮及水牛皮	一、四四二、九四二
燐礦石	一、〇五一、五八八
硝子板	一一三、二〇八
寫真用フィルム	一、五九〇、七七七
白	五二一、三六九
懷中時計及金	一八一、六七三
同部分品	八四三
包裝用紙	一、六〇七、三三六
硝酸曹達	一、二六一
酒類	四三三、九八六
革類	二、二一六、七七〇
松達脂	一、〇九一
曹達灰	一〇三、五一七
天然曹達	五四、八九二
寫真用乾板	
植物性芳香油	
揮發性芳香油	
奈陀	
小麥	五、九八六、七九七

二七

木材	二、二一九、二六四
鉛	四、〇一八、一二二
印刷料紙	七、四九二、三三九
バルブ	四七九、三五七
飼料	二九二、五四五
鹹魚	一、二二九、九七六
牛皮及水牛皮	二四二、六三〇
包裝用紙	二三一、二九九
酒類	三九、八五七
然丁	
飼料	八、四六七
牛皮及水牛皮	七九七、〇二八
亞爾	
綵及	一〇、〇八七、二九五
綵	一、九三一、一三七
南阿	
聯邦	六、三七九、八八一
羊	
刺利	一一、八四八、五七二
小麥	三五、九六三、五六一
羊	三〇、三三九
鈴	四、五三七
飼料	五五三、七四六
牛皮及水牛皮	五四四、五五二
牛	
牛	
西	
蘭	
脂	三四八、八六三

3 生絲輸出狀況

イ、生絲輸出數量及價額 (單位數量擔) (單位價額圓)

國名	昭和十一年		昭和十年		增減	價額
	數量	價額	數量	價額		
英國	30,326	1,657,533	32,711	1,032,569	▲	433,964
佛蘭西	30,780	1,670,645	35,047	1,749,277	▲	901,253
合衆國	39,778	2,573,142	34,036	2,414,047	▲	1,431,775
濠洲	3,553	2,956,500	3,733	3,268,277	▲	21,267
其他	8,750	5,056,840	3,732	5,896,666	▲	4,447
計	146,287	12,660,978	143,283	12,372,212	▲	3,289,777

ロ、生絲輸出高比較月別表 (單位數量擔) (單位價額圓)

月別	全 國		橫 濱 港		神 戶 港	
	數量	價 額	數量	價 額	數量	價 額
一月	5,442	3,533,147	7,117	3,446,633	8,956	8,046,455
二月	3,740	2,550,933	3,566	2,756,550	20,699	9,252,521
三月	5,337	2,759,255	6,191	3,556,493	9,026	7,642,633
四月	7,995	3,260,721	2,221	2,760,844	6,275	5,003,897
五月	7,055	3,568,034	9,773	5,013,401	7,553	5,520,633
六月	30,021	10,999,856	33,333	15,440,927	7,549	5,445,046
七月	43,566	18,159,996	33,740	13,770,421	8,733	6,555,575
八月	50,966	20,333,500	41,099	18,266,433	13,047	10,066,940
九月	46,933	18,833,326	56,920	26,655,026	11,933	9,126,260

ハ、横濱港絹織物輸出高 (單位圓)

種 別	十 月	十 一 月	十 二 月	合 計
亞細亞洲	50,552	40,688,428	40,688,428	131,928
歐羅巴洲	40,633,155	40,633,155	40,633,155	121,900
北米諸國	1,700,053	1,700,053	1,700,053	5,100
中米諸國	5,511	5,511	5,511	16,533
南米諸國	1,556,626	1,556,626	1,556,626	4,669
阿弗利加洲	3,520,556	3,520,556	3,520,556	10,562
大洋洲	3,757	3,757	3,757	11,271
合 計	9,566,677	9,566,677	9,566,677	28,721

ニ、横濱港絹製品輸出高 (單位圓)

種 別	十 月	十 一 月	十 二 月	合 計
亞細亞洲	1,400,325	1,400,325	1,400,325	4,201,000
歐羅巴洲	7,323,533	7,323,533	7,323,533	21,978,100
北米諸國	1,330,326	1,330,326	1,330,326	4,001,000
中米諸國	23,329	23,329	23,329	70,000
南米諸國	5,823	5,823	5,823	17,470
阿弗利加洲	81,777	81,777	81,777	245,333
大洋洲	27,866	27,866	27,866	83,600
合 計	29,966,677	29,966,677	29,966,677	90,000,000

ホ、横濱港人造絹織物輸出價額表 (單位圓)

品別	亞細亞洲	歐羅巴洲	北米諸國	中米諸國	南米諸國	阿弗利加洲	太平洋	合計
人羅羽二重	三、九八、九三〇	三、七、三九八	七、九六	五三、五三四	四七、四三三	一、二〇、六八〇	一、九九、五七七	七、四七、三三九
人絹織子	一、三三、六一	二、九四、九二	一三、九六	三〇、八六六	一三、三六	二四、〇九	五三、〇六	二、五五、八四七
人絹壁織及縮緬	五、五三、三四	五、五、一五	一九、三九	一、六五、三二	四四、九〇	一、三三、四五	三、八三、三〇	一三、〇六、〇六三
人絹ボイル	三、五九	二、七、三五	一、〇一	四、〇三	四、五	八、六三	八、九三	三、四、三三
人絹紋織	七、四八	一、九〇	一、五、七〇	九、六八	三、八三	五、一八	一、五九、七	一、五九、七
其他人絹織物	七、五、三三	五、〇九	五、五〇	五、五	五、七	五、七	四、五、五	一、四二、一五
合計	三、四七、三三	一、二五、六六	四、五、七	二、九八、〇七	一、四七、三三	一、七三、八三	五、七六、三三	三、〇四、二八

四、内國貿易狀況

1 概 説

外國貿易港として重要な地歩を占める我が横濱港は内國貿易港としても亦重要な地位に在る。近代都市の特徴は生産都市たるの點に在る。生産能力の増長と共に都市人口の益々集中することは、其反面に於て消費面の増大を來すこととなるが、本市は近時大工場續々と建設せられ工業都たるの眞面目を發揮するに至り、これら生産品を内外に移出することも亦自然増加するに至つた。然しこれら移出物は未だ多額に上らず、生産額の一小部分に過ぎない。茲に内國貿易として多額に上るのは外國よりの輸入貨物である。即ち外國よりの輸入貨物は一度陸揚げされ、その儘内國向として積出されるが故にこれが凡て内國貿易の貨物として計量せられる結果となるのである。故に本港の移出貨物の額が移入貨物のその約二倍に當ることも敢て怪しむに足らない。之を貨物の側より見ても石炭、鋼及鐵、木材及鉄鐵等の輸入品たる貨物が移出貨物の上位を占めてゐることを知るならば如上の事實は容易に領かれるところである。本項に關しては物資集散の部に於て船舶に依る物資の集散として稍詳細に成表してあるから彼此参照してその全きを期せら

れたい。尙移入貨物中石炭の額が特に多いのは工業都としての本市が附近に燃料の供給地を有しない當然の歸結であつて之は本市工業の發展上喜ぶべき現象である。

2 統計表

イ、横濱港内國貿易總額 (單位圓)

年次	移出	移入	合計	移出超過
昭和十一年	四三四、六六一、七七七	二八六、九八二、〇〇七	七二一、六四三、七八四	一四五、六七九、七七〇
昭和十年	四一八、一一九、四五七	二六二、一三三、六五四	六八〇、二五三、一一一	一五五、九八五、八〇三
昭和九年	三四五、三二五、六七一	二二八、八五〇、七九二	五七四、一七六、四六三	一一六、四七四、八七九
昭和八年	三二九、五三〇、八五四	一九八、六一〇、〇八九	五二八、一四〇、九四三	一三〇、九二〇、七六五
昭和七年	二三一、二七一、九一二	一三二、一二七、五八〇	三六三、三九九、四九二	九九、一四四、三三二

ロ、内國貿易移出入貨物品種別數量及價額

類別	移出		移入		合計	
	數量(噸)	價額(圓)	數量(噸)	價額(圓)	數量(噸)	價額(圓)
第一類 動物	四六	五、七三	一、〇三	二九、六八	一、四九	一、五、四一
第二類 植物	八	一、四三	六九	一、四、五五	六、七	一、六、〇七
第三類 穀物及種子	二五、三六八	三、一四、三三	九〇、六二	一四、八六、三三	三六、〇九	四、九七、〇八四
第四類 飲食物及煙草	三五、九〇六	五、二一、四〇	三、五、五五	五、四六、三〇	三九、三六〇	一、〇、八七、七三
第五類 皮毛骨角齒牙甲殼類及同製品	五、五六五	三、四三、〇七	六	三、三、五五	六、〇六	三、四六、六三
第六類 油 脂 及 蠟	六三、五七七	五、〇九、六〇	七、五〇	八、三三、四四	七九、二七	三、六六、〇八四
第七類 藥品及染料塗料	三三、〇五三	三、四七、六四	一、四、三〇七	一、七、三三、三三	四、五、八六	五、六九、九六
第八類 絲綢繩索及同材料	三、一〇四	一、三、八六、五四	五、三六〇	三、五、三、四三	三、七、五、四七	一、六、九、〇三

品種類別	数量	價額	数量	價額	数量	價額
第九類 布帛及同製品	六,〇六六	一,四〇三,四四五	一四,五九七	三,五五五,七九〇	三〇,六六三	四,九四八,二四五
第十類 衣類履物及同附屬品	六三三	三〇八,〇五〇	七五五	三三,四四五	一,一七七	四三,四九五
第十一類 製紙原料紙及同製品	九,二八三	一五,六九八,五七七	三,五九三	三,七八八,九七七	二八,一七五	一,九四六,九二四
第十二類 礦物及同製品	一,四四三,三〇八	三,七四三,五五五	三〇,九六六	六,五三三,八六四	四,五五五,七六六	一〇三,三四七,四九元
第十三類 金屬及同製品	一,〇五五,四三三	一,八〇三,三六九	四九,〇〇九	五,一九一,〇三七	一,七三三,九三三	一,九三,三七,六六六
第十四類 陶磁器類硝子及同製品	三,九七九	三,八四七,六七二	四九,五七七	四,九五五,五一一	九,三三六	八,七三三,三三三
第十五類 車輛、時計、機械類	四〇,四四四	三〇,〇六六,〇三〇	七,三三三	五,四四三,九七一	九,六六六	四,三三三,〇〇〇
第十六類 肥料及飼料	二四,〇六一	八,七九九,三六六	三,三三六	五,四四三,九七一	二〇六,九九九	一四,三三三,九九七
第十七類 木、竹材、藤及同製品	三六,〇三三	二,七〇八,〇四二	四,四四四	二,三三七,〇〇六	三九〇,四七七	一四,〇〇五,〇四七
第十八類 雜品	四七,四七〇	一〇,三〇〇,三七一	一〇六,六〇〇	一六,七三三,五五四	一四〇,九九〇	三六,九九五,〇五五
合計	四,六九八,八八五	四四,〇六一,七七七	四,五九六,〇四九	二六,九九三,〇〇七	九,一五五,九四四	七二,六四三,七六八

ハ、内國貿易移出入貨物品種別數量及價額(單位數量噸) 一萬噸以上のもの

品種類別	数量	價額	数量	價額	数量	價額
内地米	五四,四八四	一〇,三六七,七〇〇	四四,五〇二	八四六,六六一	五四,九九五	一一,二二三,六六一
小麦	四八,八四四	六,三九七,四三三	七,九三〇	一,〇二四,三三六	五四,三五四	七,三三二,六六〇
大豆	六,七二二	七,七四一,〇六四	五,四九九	六,四四三,五五五	七,一九〇	八,三三六,九九九
小豆	一五,三六九	一,九九九,五〇一	六,一七三	一,一八七,六六七	三,三四一	三,二二七,六六六
小麦粉	六,六六六	三,一七〇,九六五	一七,四二二	二,九四三,三三三	九四,三六〇	一六,二二三,〇〇八
食鹽	四三,五九〇	八七七,〇四四	二六,八八八	七,七〇三,〇〇〇	六〇,三三七	一,六四四,〇七四
麥酒	四〇,三三六	六,三八一,四六六	一七,三三八	二,六六六,九九八	七,七三四	八,九九八,四四四
砂糖	九一,六三三	一七,六六六,八六六	一五,一四三	三,七三三,八三二	一六,八八六	四一,四〇〇,四七七
烟草	一〇,〇九九	三,〇一七,七〇〇	一,一七六	三,五三三,八〇〇	一一,三三五	三,三三〇,五〇〇
石油	六〇,五九九	五,五八八,九三三	三,八五五	五,二二五	六〇,九九四	五,五〇四,一四四

品種類別	数量	價額	数量	價額	数量	價額
揮發油	三九,七三三	三九,二九〇,八八八	三,六三三	三五四,六六九	三四,一〇六	三九,六四三,九五七
機械用油	三三,五〇四	五,四八八,七二二	一,三三九	三三,一五三	一四,八三三	五,六六〇,九二二
原油	一三,九九三	六,四九九,三三四	五,三〇八	一,六九九,四六六	一七,一〇〇	八,〇八八,七〇〇
其他ノ燃料用礦油	一五,八六九	六,六六六,三三八	六,三三	三,九九八,八八八	一五,五〇〇	六,六六六,一六六
硫酸安母尼亞	一六,六六五	一四,七三三,六二〇	四,〇〇四	三,九九〇,八七七	三三,三七九	一八,六六三,五七七
硝酸曹達	二,四三三	一,五五五,三三八	一,七七一	三,三三六	二,五九九	一,五五五,八四六
硫酸加里	一九,三七四	二,二二一,八六〇	一,二一一	三〇,三三三	一九,四四五	二,三三三,四九四
其他ノ藥品	一四,四八八	一,八八三,四四〇	七三	九,四九〇	三四,五六一	一,九九八,三四〇
染料	二,四〇一	六,〇三三,六六三	四八,八八九	六,四四五,〇六二	七〇,二二〇	三,四四五,七六六
アセツアルト	一五,七三二	二,九九八,七三〇	三,九七七	一,〇九九,四六〇	一九,六六八	三,八八八,一九〇
アセツアルト	一六,一四四	一,三三九,八八七	三,三三三	八八八,六四四	七,七五〇	三,三三三,三三三
棉花	一五,五七七	二,一八九四,一八三	一,五三三	一,一七三,六七七	一七,〇三九	二,三六三,一三〇
洋紙	三〇,七七八	二,六六六,九八〇	二,九二六	三,四七七,八八〇	三三,七〇四	二,六六六,八四〇
洋燐石	四三,〇七七	一〇,九九七,四〇〇	四,七四三	一,三三三,九三〇	四八,八八九	三,一七〇,三三〇
石炭	一,〇六六,七三三	三,四三三,四三〇	一〇,一七三	三〇三,四四〇	一八,一三四三	三,六四四,八六〇
珪砂	一四,七三三	七,三三三,三三〇	一五,八九四	九,九九〇	三〇,五五六	一五,三三〇
コークス	三三,〇八八	一,三三三,三三〇	六,一八一	二,八五五,四三〇	一六,一三九	四,八八八,〇七〇
礦石	九,七六五	二,四四〇,一三五	三,九九三	五,四七七,八〇〇	一九,五七七	三,九九七,九九五
銻	一八〇,一四三	九,四七七,〇七七	五,四四三	一,八五五,一九九	二五,六三三	二,二八三,三三六
銅及鐵	五七,六〇八	五,九九六,一〇三	三,三三六	三,〇七九,八四四	七三〇,〇四四	七,九九五,九四六
古銅	一八,一〇五	四,七四四,七四四	二,三四六	三,四四九,六六三	三四〇,五三一	八,一四四,六七七
銅	一五,八〇五	八,六九三,七五〇	八七七	四,七七,八五〇	一六,六九二	九,一八〇,六〇〇
鉛	三三,八六〇	六,九九七,二〇〇	一,六六一	三,六八八,八五五	三三,九九二	七,〇〇四,五五五

亞鉛	三、八四〇	三、八五五、四英	五、七七七	一、七五、三〇八	一八、五七一	五、六五〇、六四〇
鐵力版	一三、八六三	四、七七一、八五五	六、〇〇一	二、〇九、三三五	一九、九六〇	六、八五〇、〇五〇
鐵管子	一〇六、九四四	三五、三八、六〇〇	九、七三三	二、四四、〇三三	二六、三七七	二七、五三三、六三三
自動車及同部分品	二二、〇四三	三、五五〇、二八一	三、九一〇	三、九一、四六七	四四、九四四	七、五五五、六四八
豆	三三、三七七	四、八五〇、八〇〇	三、五五五	九、〇八、四〇〇	三三、六三三	一四、八六九、三〇〇
人造肥料	五、〇三三	三、八六、四三三	一七、四三三	一、三九、二五七	六、四七〇	五、二七、五五九
其他植物性肥料	二、五〇四	三、五五、五五五	一九、七三三	一、八三、三〇〇	六、七五四	四、七九、〇六六
木材	一九、八八八	七三、六九五	一、二八八	四七、七七七	三、三六三	八〇、四三三
板	二、五三三	一〇、四七三、三四	四、九七七	九七、五〇四	三六、八五五	二、四八、七八
生	一四、〇八六	四、四三、三三三	七、七九九	九〇、四六六	一九、三六一	一、四〇、五五
護			三、四七七	一〇九、九九九	一四、四三三	四、五五、三六一
謨						

第三章 商業

一、概 要

本市産業は安政六年六月開港以來發展したことは前述した通りである。其の以前に在つては自給自足の經濟生活であるから、商業としては見るべきものなく、保土ヶ谷、神奈川、鶴見、生麥方面に僅かに存在した。

横濱市の商業は關内を中心として發展し、開港當時内外人の此の地に移住して生糸賣込商九十三軒を初め、絹織物、綠茶、塗物、陶磁器、海産物、銅などの賣込商（輸出商）及洋織物の取引商を合せて九十軒、外に荷物運送業十軒、飛脚屋二軒、旅館三軒があつた。此の外、外國商館三軒あつて生糸、茶種、水油、寒天、昆布、銅、五倍子、樟腦、椎茸など、雜貨と生糸を專業とするものが居つた。其の他神奈川方面に二三の外國商人が在留した程度であつたが、其の後内外人の移住増加に伴つて本町辨天通りに木細工、漆器、陶磁器、絹織物等、外國人向の商店及魚鳥、獸肉、青物等の日用品商店が出現し、町通りには街燈を點して居た。後には花街と興行等の出現により市街の繁榮を來たした。

斯くの如き桑滄の時代より、明治五年頃關外方面の埋立地の造成、道路の新設、横濱爲替座の出現、兩替店の簇出より、各種銀行の設立等、金融機關の体制を有するに至り、貿易の發展と共に一般商業の發展を見た。

即ち關内方面は人家稠密となり、尺寸の地をも餘さざる状態となり、自然に現在の吉田町、伊勢佐木町（關外）方面に人家が出來、商舖を見るに至り、明治二十四五年代には野毛通、吉田新田には商業者の數著しく増加した。然して日清、日露戰爭の時代には、生産工業の勃興と共に各種商業團體の組織を見て、商業界は頓に發展し、殊に都市人口の集中と、外國貿易による各種原材料の輸入による生産品目の増加、文化の發展に伴ふ生活態様の變化による嗜好は、物品販賣業をして益々多種多様たらしめ、或は又店舗の激増を招き、商店街を形成するに至り、日露戰爭後歐洲大戰に至るまでの發展、實に目醒しきものがあつた。其の間商法の施行、各種商業組合に關する規定の制定等は、商業の發展を一層促したことは事實である。

歐洲大戰中は我が國輸出貿易の旺盛なるに従つて、商業の異狀なる發展は他の産業と同じである。其の後大正九年以來の不況、關東大震災等に大打撃を受けたるも、露災直後に於ては一時的異狀好調を示した。然るに一年ならずして不況の再來、昭



和二年の金融界の恐慌に遭遇して、財界の動搖となり、産業界の不振を見るに至つた。然れ共昭和四年頃より、稍貿易の回復に伴ひ幾分曙光を見つゝあるも、未だ物品販賣業其の他一部商業には左程の陽光を見られない。昭和六年の金輸出再禁による爲替低落と、滿洲事變を契機としての貿易の伸張、更に昭和七年末以來の軍需インフレーションは、鶴見神奈川方面の工場界近邊、及伊勢佐木町一流商店街に於ては、幾分の好況を示して居る。

物品販賣以外の倉庫業、運送業等相當に潤ふものと見られる。

元來本市は商業中物品販賣業者は、他の都市に比し、人口率に對し多き傾向を有し、關西方面の呉服商、其の他被服關係商の多きに反し、菓子類販賣、酒類、清涼飲料、飲食店等の多きを示して居る。

物價に就いては開港當時より明治大正の兩時代と益々騰貴せるは自然的傾向であるが、最も甚だしきは歐洲大戰當時より昭和に亘り著しき騰貴を示し、昭和三、四年以來幾分下向きとなつて來てゐる。尙物價に就いては別表を参照せらるゝことを望む。

物資の集散に就いては、本市は貿易港たる關係上、内外よりの集散地にして、關東方面に於ける工産原材料の殆どは外國より仰ぎ、本港に陸上せらるゝの外、内地輸出品中北海道、東北方面より集るもの甚だ多し。

二、横濱取引所

1 横濱取引所の概況

本市の取引所は全國に於て最も古き歴史を有し、明治五年當市の紳商原善三郎、田中平八等と共に金穀相場會所を創立したのに始まり、これが我國に於ける取引所の濫觴である。これに先立ち本市には、洋銀相場會所なるものがあつて洋銀の賣買相場決定取引の敏活を計つて居た。處が此の會社は、太政官布告第八號に依り封ぜられ同十二年澁澤榮一氏茂木惣兵衛氏等と共に株式取引所に基き資本金十萬圓を以て洋銀取引所を設け、賣買取引は定期取引、現場取引、の二種があつた。平日午前と午後が開場し前者を前場後者を後場と稱した。各場を二節に分つてゐた。各節共に、初廻、中廻、引廻の三立會を行ひ各廻毎に當、中、先を行ひ各限月の最初の相場を寄付、最後を引と言ひ其の平均を公定と稱した。此の洋銀取引所が、明治十二年九月政府が洋銀の外、一圓銀との並價通用令を發した爲一圓銀の取引に不備ありしを以て、之が賣買を爲さんとして政府に請願

して許可を受け横濱取引と改稱し洋銀の外金銀貨の賣買を行つた。當時兩替店簇出取引所の營業旺なりしも、洋銀相場奔騰し屢々停止せられたが、取引は益々盛況を加へ遂に、十八年紙幣整理の結果、銀紙の差が平準に歸するに及んで弗相場は影を潜むるに至つた。

處が、二十六年三月取引所新法の發布と共に、我輸出品の大宗なる生糸標準相場の激變を阻止し、且つ需給の圓滑を圖るを以て主目的とする取引所の設立計畫が擡頭し本市代表的實業家六十名を以て組織すべく發起會に依り設立認可を受け二十七年三月認可を受け同七月より營業を開始したのである。

本取引所は、生糸當業者の爲生糸の公正な相場の示現と、需要供給の圓滑な投合を圖り養蠶製糸輸出及機業各方面の專業經營の安固を保證し兼ねて生糸關係者の取引合理化を促進し、惹いて國家産業の發展と生糸貿易港としての横濱の振興を計るを目的として設立されたものである。此種經濟機關としては從來世界唯一のものであつたが、最近神戸、紐育、米蘭に於て生糸取引所が開設されたが今日尙世界的權威ある蠶糸業の保險機關として識られて居る。

當所の營業科目は蠶糸及株式の長期清算取引である、當所現在の資本金は六百五十萬圓であるが、今月迄の資本異動の經過を示すと。

明治二十七年	二十萬圓にて創立
明治二十八年	八萬四千圓に減資
明治二十九年	四十五萬圓に増資
明治三十九年	一百萬圓に増資
明治四十三年	二百萬圓に増資
大正元年	一百八十萬圓に減資
大正八年	三百萬圓に増資
大正九年	六百五十萬圓に増資

大正九年増資して現在に至つて居る。現在の總株數は二十六萬株一株の額面は二十五圓で昭和十年下期末現在の株主數三千七百四十八名である。次に取引員の數を觀るに員數規定は七十名内二十名は蠶糸取引員となつて居る、現在の取引員數は一般取引員二十三名蠶糸取引員七名である。役員の額ぶれを示すと、

理事 長 福田 英助
 理事 武井 覺太郎
 理事 中村 房次郎
 理事 遠藤 權七
 理事 兼 支配人 石川 助五郎
 理事 小林 又七郎
 監査 役 松本 孫右衛門
 監査 役 原 善一郎
 監査 役 吉井 桃磨 呂

次に當所の營業概況を見るに近年に於ける成績は極めて好調に推移して左の如くである。

年	期	利益金	利益率	配當率
六	年 上 期	二七五	・八四	・七〇
六	年 下 期	二八八	・九〇	・七五
七	年 上 期	二二九	・七〇	・五五
七	年 下 期	二四二	・七四	・六〇
八	年 上 期	二三三	・七二	・六〇
八	年 下 期	二五八	・七九	・六五
九	年 上 期	二六六	・八二	・六五
九	年 下 期	二七八	・八六	・六八
十	年 上 期	二七〇	・八三	・六八
十	年 下 期	四九五	・八三	・六八
十	年 上 期	四九二	・八三	・六八
十	年 下 期	三九二	・八一	・六二
十	年 上 期	四七〇	・八一	・六二
十	年 下 期	四七〇	・八一	・六二

右に依れば七年上期を最悪期として漸次好轉して十一年下期の如きは、利益金四十七萬圓を挙げ利益率は一割四分四厘に達し割一分の配當を行つた。既往の成績を顧みるに下期の良く上期に悪いが之れは、生糸の出廻取引に支配されてゐるものであ

る。

斯く成績が向上して來たのは云ふまでもなく取引の増加である。當所は蠶糸取引のほか、かなり以前から株式の取引をも兼ね行つて居るが、後者はさほど成績が擧がらぬと云ひ得る。従つてその成績は、生糸のみに依つて左右されて居る状態である。

今既往五ヶ年間に於ける生糸賣買高及賣買手数料収入の推移を示せば、次の如くである。

生糸 先物 取引

年	期	賣買高	手数料収入
六	年 下 期	二九四、四四九	二七五
七	年 上 期	二〇七、五〇二	一三七
七	年 下 期	二六五、九七六	二四七
八	年 上 期	二三一、九〇六	二〇二
八	年 下 期	二五〇、一〇七	二二三
九	年 上 期	二二〇、五六二	一九九
九	年 下 期	二九五、〇四七	二五六
十	年 上 期	二九三、七二四	二五九
十	年 下 期	五三九、一三一	五〇九
十	年 上 期	四七四、三〇八	四〇一
十	年 下 期	六〇二、四四三	五五三

右に依れば昭和十年上期までの生糸賣買高は二十九萬圓を越えて、手数料も最高二十五萬圓を出なかつた、然るに昭和十年下期には一躍六十萬二千圓に達し、手数料は五十五萬三千圓といふ當所創設以來の記録を示して居る。これを前年同期と比較すれば、賣買高に於て六萬三千三百十二圓、手数料収入に於て、四萬四千圓を増してゐる。右の出來高を見ると全く様變りの活況が窺はれる。しかもこの賣買高は同期間に於ける横濱出廻生糸の約二倍半に及びたるは、當所創業以來始めての現象にして、取引所の機能を充分に發揮し得たるは、特記に値するものである。

之を要するに、當所の生糸清算取引は季節的になほ多少の消長を窺ひ得る。趨勢的には引續き上昇過程にある事が知られ今後の成績が相當に期待されるものと思惟する。

2 統計表

イ、横濱取引所總覽 (昭和十一年度)

名 稱	取 引 員	資 本 金	拂 込 資 本	總 額	手 内 賣 買	總 額	所 内 取 引	純 益 金	配 當 金	横 濱 取 引 所	
										株 賣	株 受
株式長期清算取引高總額 (昭和十一年)	六、五〇〇、〇〇〇	六、五〇〇、〇〇〇	一、三五五、四九七	六、八四六、四九四	三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	一、六二一、〇〇〇	六、八四六、四九四	三、三〇〇、〇〇〇	一、六二一、〇〇〇	
一	二九、二二〇	二九、二二〇	三、三〇四、八七四	三、三〇四、八七四	一一、一三〇	一一、一三〇	一〇、〇〇〇	五〇七、五八〇	五〇七、五八〇	一〇、〇〇〇	
二	二七、五五〇	二七、五五〇	二、八八五、七三七	二、八八五、七三七	一一、〇八〇	一一、〇八〇	一〇、〇〇〇	五一三、六八〇	五一三、六八〇	一〇、〇〇〇	
三	三一、三五〇	三一、三五〇	三、一四五、八八五	三、一四五、八八五	一四、五四〇	一四、五四〇	一三、〇〇〇	八四二、八一〇	八四二、八一〇	一三、〇〇〇	
四	三〇、〇六〇	三〇、〇六〇	二、八八一、九八三	二、八八一、九八三	一二、六七〇	一二、六七〇	一一、〇〇〇	七五六、三三〇	七五六、三三〇	一一、〇〇〇	
五	二四、九一〇	二四、九一〇	二、五六九、一二三	二、五六九、一二三	一四、一四〇	一四、一四〇	一三、〇〇〇	九一〇、九〇〇	九一〇、九〇〇	一三、〇〇〇	
六	三三、九七〇	三三、九七〇	二、八〇四、五一九	二、八〇四、五一九	一七、三五〇	一七、三五〇	一六、〇〇〇	一、八二二、三三〇	一、八二二、三三〇	一六、〇〇〇	
七	二二、一六〇	二二、一六〇	一、八九五、八四五	一、八九五、八四五	一九、九三〇	一九、九三〇	一八、〇〇〇	一、二九四、八八〇	一、二九四、八八〇	一八、〇〇〇	
八	一九、四五〇	一九、四五〇	一、六二六、〇三一	一、六二六、〇三一	一五、一七〇	一五、一七〇	一四、〇〇〇	一、〇三五、一九〇	一、〇三五、一九〇	一四、〇〇〇	
九	一九、九三〇	一九、九三〇	一、八一五、〇三三	一、八一五、〇三三	一四、三三〇	一四、三三〇	一三、〇〇〇	九九八、三一〇	九九八、三一〇	一三、〇〇〇	
十	二六、一九〇	二六、一九〇	一、七九一、〇七〇	一、七九一、〇七〇	一〇、一四〇	一〇、一四〇	九、〇〇〇	五三三、九八〇	五三三、九八〇	九、〇〇〇	
十一	二四、三〇〇	二四、三〇〇	二、四四八、〇八九	二、四四八、〇八九	一〇、二四〇	一〇、二四〇	九、〇〇〇	五五五、五〇〇	五五五、五〇〇	九、〇〇〇	
十二	三〇、八四九	三〇、八四九	二、二一四、〇三八	二、二一四、〇三八	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	一七、〇〇〇	一、三五〇、七〇〇	一、三五〇、七〇〇	一七、〇〇〇	
合計	三〇八、四九〇	三〇八、四九〇	二九、三八二、二二七	二九、三八二、二二七	一六八、七二〇	一六八、七二〇	一六八、七二〇	一〇、四八二、一九〇	一〇、四八二、一九〇	一六八、七二〇	

ハ、生絲清算取引高 (昭和十一年)

月 次	年 次	賣 買		金 高		受 渡		金 高	
		株 數	株 數	金 額	金 額	株 數	株 數	金 額	金 額
一	一	八〇、五七八	八〇、五七八	六六、七五〇、五一四	六六、七五〇、五一四	四、六九〇	四、六九〇	三、八四七、一〇〇	三、八四七、一〇〇
二	一	七九、三五七	七九、三五七	五九、五八七、七〇一	五九、五八七、七〇一	三〇	三〇	二二、二〇〇	二二、二〇〇
三	一	八五、七九一	八五、七九一	六四、一九三、六七一	六四、一九三、六七一	八二〇	八二〇	六二、二〇〇	六二、二〇〇
四	一	七六、八三六	七六、八三六	五六、六七九、七五三	五六、六七九、七五三	八〇〇	八〇〇	五六〇、四〇〇	五六〇、四〇〇
五	一	八三、四〇二	八三、四〇二	五七、一三一、八七六	五七、一三一、八七六	一、二八〇	一、二八〇	八四三、一〇〇	八四三、一〇〇
六	一	一一九、八四三	一一九、八四三	八三、三九四、三八四	八三、三九四、三八四	一、九八〇	一、九八〇	一、三五八、九〇〇	一、三五八、九〇〇
七	一	八〇、五四三	八〇、五四三	五八、四二九、一五二	五八、四二九、一五二	六〇〇	六〇〇	四三八、六〇〇	四三八、六〇〇
八	一	八二、三七〇	八二、三七〇	六一、〇五二、八九三	六一、〇五二、八九三	四六〇	四六〇	三三一、四〇〇	三三一、四〇〇
九	一	六三、四三八	六三、四三八	四五、一七三、八八六	四五、一七三、八八六	六七〇	六七〇	四八二、四〇〇	四八二、四〇〇
十	一	八六、九八一	八六、九八一	六六、二五三、九二二	六六、二五三、九二二	五三〇	五三〇	四二四、〇〇〇	四二四、〇〇〇
十一	一	一六九、二六八	一六九、二六八	一四三、七五三、二九七	一四三、七五三、二九七	七〇〇	七〇〇	六二八、八〇〇	六二八、八〇〇
十二	一	一一九、六四一	一一九、六四一	一〇一、七八九、六七五	一〇一、七八九、六七五	七二〇	七二〇	六一七、七〇〇	六一七、七〇〇
合計	一	一、二二八、〇四八	一、二二八、〇四八	八六四、一九〇、七二五	八六四、一九〇、七二五	一三、二八〇	一三、二八〇	一〇、一七六、八〇〇	一〇、一七六、八〇〇

三、市 場

1 横濱市中央卸賣市場統計表

自昭和九年
至昭和十一年
横濱市中央卸賣市場取引高表
單位 數量ハ純
金額ハ圓
但シ鳥類部ハ底トス

月別	昭和十一年													
	月一	月二	月三	月四	月五	月六	月七	月八	月九	月十	月十一	月十二		
魚類	數量	1,348	1,010	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330
	金額	3,700.00	2,500.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00	3,600.00
鹽干魚	數量	303	404	404	404	404	404	404	404	404	404	404	404	404
	金額	5,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00	7,800.00
蔬菜	數量	2,933	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733	3,733
	金額	1,500.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00
果實	數量	9,910	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
	金額	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00
鳥類	數量	6,550	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871	3,871
	金額	6,550.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00	7,900.00

數日引取	均平日一	計合	昭和十一年														
			月九	月十	月十一	月十二	月一	月二	月三	月四	月五	月六					
十一	九	十	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	十	十一	十二
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
十一	九	十	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	十	十一	十二
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
十一	九	十	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	十	十一	十二
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
十一	九	十	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	十	十一	十二
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
十一	九	十	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	九	十	十一	十二
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年

2 公設日用品小賣市場統計表

乾物	四、〇三	四、六六	三、七八	二、七九	四、四一	六、七七	六、六六
鹽干魚	三、五五	四、九三	三、〇六	一、五二	二、八七	二、八七	五、六七
雞卵	一、八四	三、九八	四、二五	一、八四	二、八四	一、〇五	二、五七
雜穀	五、一五	五、五二	七、五三	二、六三	五、六六	六、四七	三、〇六
鮮魚	三、五五	一、八六	一、六七	一、〇三	八、七〇	二、三三	一〇、三五
蔬菜	三、六九	三、二二	六、八五	二、八四	九、〇〇	八、九三	一四、〇七
果實	九、〇五	三、八七	三、五七	二、六五	一四、四〇	二、元一	一〇、二二
酒類	三、八三	六、八〇	一、二九	二、五五	三、〇七	三、二九	三、八七〇
味噌	二、〇六	三、五〇	二、八四	二、五四	二、六六	六、六	二、六三
醫藥	二、八四	四、三八	四、二四	二、二四	一、九四	一、三四	一四、〇三
牛豚	一〇、六六	七、五二	九、三二	一〇、六一	四、八二	三、六九	八、一四
薪炭	一〇、七五	七、九二	四、五七	四、三八	四、八二	一	三、五七
菓子及パン	一〇、六五	五、五六	五、四九	五、〇九	五、〇九	三、三六	五、四九
菓子及揚物	六、四九	三、三九	一、〇七	七、六七	二、〇五	七、九七	五、五〇
豆腐及揚物	一	二、五〇	一	二、七〇	二、〇四	一	六、八四
茶・及加工品類	一	一	元	二、〇五	一	五〇	二、〇三
履物	七、六二	六、六四	三、六三	三、五六	四、七七	七、五九	一〇、二一
呉服	一	一	一	一	四、六〇	一	四、六〇
荒物	九、八四	四、六七	二、六七	一、〇七	四、七六	一、五九	一五、六七
金物	一	一	一	一	一、四三	一、二七	五、〇八
陶磁器	一	一	一	一	一、五〇	六、六	二、三六
小間物雜貨	一	一	二、三三	三、三六	一	三、四九	九、〇六
洋品雜貨	一	三、四五	一、四〇	一	一	一、三三	六、〇七

四六

3 横濱市商品見本市

活花	五七	一	一	一	一	一	五七
水・加工品其他	一	二、五九	六、五	一三	一	一	三、三三
餅	三、五二	五三	一	三、〇〇	一、八〇	一〇〇	八、七三
松飾	一四	一	七	一	五	一	三、三
計	三、八、七〇一	一、九、〇〇四	一、九、四八八	一、九、七四一	三、五、六三三	二、一、四六六	一、〇八、七七一

本市には元來内地向問屋は極めて少い。其の理由は本市が貿易港として誕生し、一路港都として成長の過程を辿つたことは勿論製造工業が少きに基因し、斯種企業が起り得る餘裕に恵まれなかつたことに在る。又一面東京の如き大生産市場を控えたことも亦重大理由である。然しながら大生産都市は大消費都市であるから、寧ろ之を利用して問屋業の發展し得る餘地があり又一面に於て本市は工業都市となるに至つて一層問屋等の進出を見た。然るに此の間屋業者は（製産、卸賣を含む）震災の打撃と打續く不況更に配給機關の合理化運動によつて、取引は極度に萎微沈滞し不安にかられた。これが爲不振打開の道を講ずることが急務となり、業者有志相諮り商取引の缺陷を匡正し、配給の合理化と健全なる販路開拓を圖る爲め、昭和七年秋横濱市商品見本市協會を組織するに至つた。そして事務所を産業課内に置き市長を會長に助役を副會長に産業課長を委員長に推薦したる他役員を決定し横濱商工獎勵館に於て、第一回横濱商品見本市を開催したのである。

本會の事業は從來其の都度形成せられ常時は連絡なく極めて臨時的施設の觀あり、豫て改革の要望ありたるに鑑み第十回見本市事業終了を以て一先づ之を解散し改めて同名協會を創立會則を制定し、組織の合理化を圖り事業も見本市開設の外會員相互の經營上の改善、調査研究等内外施設を整備充實せしめ今後の飛躍に備へたり、第九、十兩回の成績は左の如し。

- 一、主催 横濱市商品見本市協會
- 二、後援 横濱市、横濱商工會議所、横濱市家内工業振興會
- 三、會期

第九回（秋季）昭和十一年九月十日、十一日二日間
 第十回（春季）昭和十二年三月十二日、十三日二日間

四、會場 橫濱市商工獎勵館

五、來賓者

回数	市内	縣内	縣外	計	案内數	來會率
第九回	三一四	一〇七	三八	四五九	一、九八四	二三%
第十回	二六六	八八	二四	三七八	二、二二九	一七%

六、取引高

回数	取引高	一店當り取引高	一名當り取引高
第九回	一〇〇、九九三	三、〇六〇	二三〇
第十回	八〇、五五〇	二、三〇一	二五一

部別取引高

部別	第九回取引高	第十回取引高
一部 (洋品類)	一〇、四一七、六一	九、七九五、二二
二部 (洋服類)	一一、七九七、四七	五、六二一、三〇
三部 (織物類)	二二、〇四四、四三	二二、七一一、七一
四部 (靴革類)	三二、〇七一、一五	二四、三〇六、二三
五部 (文具類)	九、五九四、七五	九、〇八三、六〇
六部 (食品他)	一五、〇六七、六〇	九、〇二六、三八
計	一〇〇、九九三、〇一	八〇、五五〇、四四

金高別取引高

回数	百五十圓以下	百五十圓以上	二百圓以上	五百圓以上	計
第九回	一二	二九六	一〇二	二六	四三六
第十回	一七	三八	二四五	二一	三二一

四、倉庫

1 概説

今日の所謂倉庫業の發達は、明治維新以後泰西文化の輸入と共に、明治十五、六年頃より漸く其の設立を見るに至りたるものにして、之を遡れば徳川時代、大阪、江戸等に所謂倉庫敷なるものが盛に設けられた。之れは各地の大名が其の領地に於て或は參觀交代に當り、必要とする経費を支辨する目的から、其の領地内の産物、主として米を商人に賣却する爲めに設け、國産品を倉置するに充てた倉庫で、是が倉庫の初めである。明治維新なるや、我國の商工業は其の面目を一新し、歐米新文明の感化を受け、急激なる變化を遂げるに至り、就中交通の發達は目醒しく、領國の爲め永い間不通なりし諸外國との交通に開けて、彼國の貨物は一時に我が開港場に殺到し來り亦我が貨物は海外に輸出されるに至つた。倉庫業の發達は運輸交通のそれに負ふ處甚大にして實に倉庫業と運輸交通業とは密接なる關係にあり、兩者は相互扶助の間柄であるのである。

明治十五年十一月に至り東京深川に深川倉庫會社が創立された。之れが我國の倉庫會社の嚆矢にして、次いで東京大阪等と全國主要都市に遂次其の設立を見るに至つたが、本市に於ては明治二十九年一月横濱貿易倉庫が創立された。

日露戦役後は國民全般に底知れぬ原動力を興へ政治經濟上特殊の發達進歩を見、亦大正三年に勃發した世界大戰は、本邦經濟界を如何に有頂天にせしめたかは、今更茲に述べる迄もなく、戦時から戦後に掛けての我經濟界は各種産業に亘り、狂瀾怒濤時代であつた。

經濟界の股賑は取りも直さず、倉庫業界の股賑であつて、新設會社は益々増加した。

乍而大正九年以降の財界不況時代に入り、又大正十二年九月一日、突如來襲した關東大震災は、京濱地方の倉庫業は最も多大なる打撃を受け、本市に於ては横濱船渠倉庫を除き、他の五倉庫全部焼失した。

此の爲め倉庫業は久しく守勢状態を維持して居たが、震災後都市の復興、經濟界の復活するに及び、輸出貿易を中心とする景氣波動は漸くにして幾分の活況を見せ、必然的に倉庫業の發達を促し、昭和七年には日本倉庫協會成立するに至り、本市倉庫會社中之に加盟せるもの十一、外三倉庫を加へ、十四倉庫が横濱港を繞つて連立し、港灣倉庫として其の機能を發揮して居る。

昭和十一年中の状況を観るに本市に本店を有するもの九社、支店を有するもの五社にして其の棟棟數三七七、建坪總數一〇〇、一九五、一八坪を有して居る。
 同年末現在の在庫品總量は三、二九五、六三六個此の價格八五、七一六、五五七圓にして今これを月別、品目別に示して見よう。但し十四倉庫とは東神、三菱、商品、新港、澁澤、横倉、貿易、帝蠶、共立、鶴見、川西、辰己、金港、臨港の十四である。

2 月別市内倉庫保管貨物出入残高表

品名	一月		二月		三月	
	入	出	入	出	入	出
内地米	一四、三〇五	一七、八八三	一、七六八	八、三三三	二、四三六	一、九七九
朝鮮米	一四、五五五	一八、四六六			二二、〇五五	二一、二四四
臺灣米	一九、五五五	三六、七三三			一五、五七七	七、七四〇
外國米	三、七六六	三六、二〇〇			三五、九五五	三五、四五五
小麥	三、五〇〇	二七、六〇〇			三五、〇〇〇	三〇、八三三
豆類	一、三三三	一、〇四四			三、〇〇〇	四、四九九
雜穀	九、四八七	二二、六六六			一三、八八八	一八、八八八
麥類	二、一三三	三〇、六六六			二五、八八八	一四、四八八
粉類	六、六六六	三〇、三三三			五、五七七	六、二二二
粉類	四、四四四	三〇、三三三			四、〇〇〇	六、六六六
糖類	三、五五五	五九、〇〇〇			三三、三三三	二四、〇〇〇
雜密	三、五五五	四四、四四四			二六、三三三	二四、〇〇〇

五〇

品名	一月		二月		三月	
	入	出	入	出	入	出
酒及飲料	五七	三〇、〇九〇	八八	三〇、九九九	二、三三八	一一、三三六
雜食品	三〇、六九九	四二、五三三	五七	一、八四四	三〇、六六六	七、九〇〇
海產物	二、〇〇〇	八、〇〇〇	七三	三、四四四	三、〇〇〇	一〇、〇〇〇
實物	四、八三三	一〇、七三三	一、五七七	六、九九九	四、〇〇〇	一七、七七七
絹織物	八、九	五、〇七七	五三	二、〇〇〇	五、五	三、七二二
綿織物	三、七	四、〇五五	一〇三	一、五九九	三三	七、〇〇〇
毛織物	五九	三、〇四四	八五	三、〇九九	八五	三、八八八
雜物	五九	三、〇四四	八五	三、〇九九	八五	三、八八八
支那製	五	八、三三三	三	二、八三三	二	一、八三三
雜棉	三七	二、三三三	三三	五、八七七	七四	五、二二二
雜毛	五	八、三三三	三	二、八三三	一四	一、六六六
雜綿	八、七	三、〇〇〇	二	三、〇〇〇	九	三、九七二
雜絹	一、二	二、四四四	三	三、〇五五	二〇、六六六	三、三三三
雜毛	一、二	二、四四四	三	三、〇五五	二〇、六六六	三、三三三
雜綿	二〇	四、四四四	七	三、二九九	三〇	五、六六六
雜毛	二〇	六、五〇〇	五	二、四四四	三	六、五〇〇
雜皮	三、五〇〇	四、四四四	五	一、〇〇〇	一五	三、七七二
皮革及製品	三	三、七四四	五	一、六五五	一八	四、三三三
和紙	三	三、七四四	五	一、六五五	一八	四、三三三

五一

品名	入月	庫額	出月	庫額	殘	高
內地米	一七、八三〇	三二四、〇四三	一四、五五一	一、五七、九〇五	一、八六九、四二二	三〇、二六、九二六
朝鮮米	二、九五五	三〇、九六六	九、三三七	二五、二六六	六、八三三	八、五、四六六
臺灣米	一五、〇二〇	一八七、九五五	一六、四四四	二〇〇、六〇〇	六、三〇〇	九、六、六三三
小麥	四、三九九	六、〇七五	一四、四四三	三〇、〇六九	三、五三三	三、〇〇、二五五
雜豆	四、三九九	四、三九九	二、四八八	一八、六三三	八〇、三三三	七、六、九〇〇
雜麥	一、二九九	八、七二〇	一五、五五九	五、九三三	四、〇五五	一、八、六〇〇
雜穀	一、二九九	二、〇五五	三、七三三	一四、六九九	一、九、六〇〇	三、五、六九九
分密糖	四〇、七〇〇	七、八八二	一四、二二八	二八、八四八	五、六六一	九、〇、六六六
雜食料	三、五五〇	四、七、七九〇	一、	一、	四二	一、七、九六六
酒及飲料	三、六三三	八、八五五	三、五五五	一、八、三九九	二、三三六	一〇、一、九三三
雜海產	四、九五五	七、〇〇〇	五、六六六	二、〇九九	三、九六一	五、七、八〇〇
絹織物	一、五九九	八、七、九七〇	一、九九九	二、三、六〇〇	一、四九六	七、八、〇〇〇
綿織物	一、五九九	五、五三三	一、九九九	一、九、五一一	五、四八八	三、五、九一一
毛織物	三	一、一〇、一〇〇	元	八、五、一〇〇	三	二、三、〇〇〇

五三

品名	入月	庫額	出月	庫額	殘	高
洋紙	二、三三三	一、七、六五五	一、九〇〇	一、四、四八八	一、四二二	二、七、〇、四〇〇
抄紙	一、六〇〇	四、四〇、一〇〇	三、九〇三	二、一、六三三	三、九二四	七、五、〇、四〇〇
人絹用	三、七七七	一、六、五〇〇	二、九六六	一、九、三〇〇	二、一、二	一、四、六〇〇
海產肥料	八、五三三	四、三、三〇〇	八、三九九	四、四、六八八	一、四、九九九	七、五、九〇〇
陸產肥料	八、三三三	一、六、三〇〇	一、二五五	五、四、四〇〇	五、〇六六	三、五、五一一
人造肥料	一、八、四〇〇	三、六、六五五	五、一六六	五、四、三三三	一、八三三	一、七、六、九八八
地金	六、五九九	一、九、六〇〇	三、〇〇〇	一、八、九三三	四、五七七	四、〇、三三三
鐵類	九、七七二	三、六、六〇〇	四、八九九	三、一、五三三	三、一八八	一、一、八、六六六
金製	五、〇四八	三、六、八六六	三、〇六六	三、六、〇〇〇	一、三三三	一〇、一、一八八
鐵製	五、〇四八	三、〇〇〇	六、六六六	三、四、四〇〇	二、七〇九	三、三、一〇〇
木製	三、八八八	三、〇〇〇	四、二二二	三、六、八〇〇	三〇〇	三、〇、〇〇〇
硝子及製	二、三三八	六、四、一八八	六	三、三、三六六	二、四六五	二、二、四二二
藥劑類	四、四四三	一、四、三六六	二、七七三	一、六、六六六	八、七七七	三、五、四六六
染料及塗料	一、〇五五	一、九、五八八	二、〇九九	三、四、三九九	六、八五五	一、七、三、六〇〇
油及蠟類	四、三九九	三、四、三三三	一、五五五	九、六、三九九	四、三三三	三、四、三、三三三
棉實	九、九九三	一、六、四九九	七、三三三	五、四、四九九	四、四九九	四、三、三三三
雜談及製品	四、九九三	三、三、三三三	五、三三三	五、〇、四九九	三、三三三	五、五、三三三
計	四、九九三	三、三、三三三	五、三三三	五、〇、四九九	三、三三三	五、五、三三三

五二

品名	三	入	庫	出	庫	殘	高
地金類	五,三七七	一七,三七〇,〇〇	六,四〇一	一三,〇七九,〇〇	三〇,〇六六	一,三三三,六七〇	
銑鐵類	一〇元	七,四〇〇,〇〇	七,九二一	七,〇八三,〇〇	九,三三七	一〇,一一八,〇〇	
金物製	二,二四二	九,九三三,〇〇	二,六二七	七,七三三,〇〇	一四,五九九	三三,三〇〇,〇〇	
機械類	(一,五五〇噸)	二,四九〇,四七〇	(一,四〇〇噸)	一,七六六,五三〇	(一,〇九九噸)	四,九三三,六五三	
木材料	六六	二,八六六,〇〇	元	二,六三三,〇〇	三,一六四	一四〇,六四四,〇〇	
軸子製	六六	一四,四四四,〇〇	元	九,九三三,〇〇	八,七五一	三,七八九,〇〇	
藥劑類	三,六六六	二〇,一五五,〇〇	三,三七一	一六,八八二,〇〇	四,六六八	一三三,三三〇	
染料類	一,四四八	六,七四四,〇〇	元,七二四	一八,〇六九,〇〇	三,〇五九	一,九六,九九九,〇〇	
油脂類	六四	六,七四四,〇〇	元,七二四	一八,〇六九,〇〇	三,〇五九	一,九六,九九九,〇〇	
棉實	六三	六,四四五,〇〇	一,二九三	一四,四四四,〇〇	三,七五〇	三,四九一,八三三	
護膜及製	三,八七一	一三,四六六,〇〇	六,六一	一六,九九五,〇〇	八,九〇三	五,四四六,六三	
雜計	(一,五五〇噸)	三,三三八,三九九	(一,四〇〇噸)	元,五九九,〇六八,七三	(一,〇九九噸)	九,五九九,八六九,五	
內米	七,一九三	一七,〇九六,二六	一七,九三三	一,八七六,四四〇,六	一,七〇三,三三	一八,四七〇,六四八,六	
朝鮮米	八,〇五〇	一〇〇,九五五,〇〇	九,五五〇	一三〇,六八四,〇〇	五,五九三	五,五九三,〇〇	
臺灣米	一四,一三三	一五,八八六,〇〇	一六,九三三	三〇,八〇三,〇〇	三,五八八	四,四六六,〇〇	

品名	三	入	庫	出	庫	殘	高
雜物製	三〇	一三,〇五五,〇〇	四九	一四,四九九,〇〇	七四	一,五九六,〇〇	
米國綠	一,〇四七	二,六七〇,〇〇	一〇〇	一四,六二二,〇〇	一〇,〇六一	七,四〇一,〇〇	
支那綠	三〇〇	二,四〇〇,〇〇	五	九,四〇〇,〇〇	二九	三,五〇〇,〇〇	
雜棉	三〇	一七,五〇〇,〇〇	三五	三,八〇〇,〇〇	六五	元,七〇〇,〇〇	
雜毛	五	六,〇〇〇,〇〇	九	八,五〇〇,〇〇	九	一四,〇〇〇,〇〇	
雜毛	二,二五五	三,四四七,七三〇	七,七三	二,三三三,九六六,〇〇	一四,元七	四,三三〇,四八〇,〇〇	
綿糸	二,五五三	二,三五五,五〇〇,〇〇	三,九四四	二,七六九,九五五,〇〇	三,三元	四,九四四,五九九,〇〇	
雜糸	四	一,六八〇,〇〇	二	五,六〇〇,〇〇	五	三,七四四,〇〇	
麻糸	四	一,六八〇,〇〇	二	五,六〇〇,〇〇	五	六,五〇〇,〇〇	
皮製	一七,五五五	三,〇八二,〇〇	二	四〇〇,〇〇	一八	元,三三三,〇〇	
和紙	四	三,〇八八,〇〇	四	三〇,〇一五,〇〇	二四	四,九三三,〇〇	
洋紙	三〇	三,五〇〇,〇〇	七六	七,〇五五,〇〇	六	一,四五〇,〇〇	
抄紙	三,八八九	七,八三三,〇〇	一,九三三	六,八八九,〇〇	一〇	七,八九七,〇〇	
人絹用	四元	三,九五五,〇〇	一,三三三	六,六二七,〇〇	一,一六六	七,〇〇〇,〇〇	
海產肥	六元二	三,七五五,〇〇	一,三三三	六,六二七,〇〇	一,一六六	七,〇〇〇,〇〇	
陸產肥	八,五五元	元,三〇〇,〇〇	二,七三	二,一八七,〇〇	九,九三五	七,七七一,〇〇	
人造肥	五,七七八	六,五五五,〇〇	四,〇〇八	三,五九七,五五〇	一〇,八三三	四〇,八九四,〇〇	
製肥料	一七,七七八	三三,八三三,〇〇	七,八八五	三三,八八六,〇〇	三,九四〇	二,〇五三,五七七,〇〇	

雜羊雜 雜綿 雜毛 雜麻 皮革及製 和紙 洋紙 抄紙 人絹用 海產 陸產 人造 製肥原 地類 鐵類 鐵材 金品 鐵製 木機 械材

雜羊雜	二九,三五三	六,四四〇,〇〇	二,三三六	三,五六一,七〇,〇〇	九	二,九七〇,〇〇
雜綿	三,一七三	一〇,四八〇,〇〇	二,二七	二,二七,〇〇	〇	六,四九五,〇〇
雜毛	三,一七三	一〇,四八〇,〇〇	二,二七	二,二七,〇〇	〇	六,四九五,〇〇
雜麻	三,五九〇	三,七〇〇,〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇	三	四,四五〇,〇〇
皮革及製	六	三,六四五,〇〇	二八,二六	二八,二六,〇〇	二	五,八八〇,〇〇
和紙	二五	六,四四〇,〇〇	七,四五三,〇〇	七,四五三,〇〇	八	三三,八四〇,〇〇
洋紙	七〇〇	一七,五〇〇,〇〇	二,二八	二,二八,〇〇	五	七,七,六三〇,〇〇
抄紙	四,六五	三三,六〇〇,〇〇	四,三〇	四,三〇,〇〇	一	九,三〇〇,〇〇
人絹用	四,九七	三二,九四〇,〇〇	七,五二	七,五二,〇〇	二	七,三八〇,〇〇
海產	八四	三,二六〇,〇〇	六,〇〇	六,〇〇,〇〇	五	一九,三〇〇,〇〇
陸產	九一,一三	一,二六〇,四〇〇,〇〇	五,三三	五,三三,〇〇	三	二,六八,七三〇,〇〇
人造	三,八八	四,七五,四六〇,〇〇	六,五五	六,五五,〇〇	七	一,三六,三九〇,〇〇
製肥原	一,六九	一〇〇	三,四五	三,四五,〇〇	一	一〇,二一九,〇〇
地類	二,二七	八,〇〇〇,〇〇	三,七六	三,七六,〇〇	二	一八,三五〇,一五
鐵類	一,六四	三,六三〇,二七,五〇	一,六三	一,六三,〇〇	四	一六,二八九,〇〇
鐵材	三,一七	八,〇〇〇,〇〇	三,七六	三,七六,〇〇	二	一八,三五〇,一五
金品	一,八四	三,六三〇,二七,五〇	一,六三	一,六三,〇〇	四	一六,二八九,〇〇
鐵製						三,〇〇〇,〇〇
木機 械材						

外小 雜豆 雜麥 雜粉 雜穀 雜粉 精粉 分糖 雜糖 酒及 海產 雜食料 其織物 綿織物 毛織物 雜織物 米穀 支那 雜支那

外小	二,〇三〇	六,九〇〇,〇〇	一〇,七〇	一,一八五,〇〇	五六	三〇,九〇〇,〇〇
雜豆	五,三九〇	五八,一〇三,〇〇	一〇,七九	一〇,七九,〇〇	二	一,一八,三九九,〇〇
雜麥	一八,九三	二四,八七,〇〇	一〇,〇七	一〇,〇七,〇〇	三	五〇,七六〇,〇〇
雜粉	九,八七	一九,六五,〇〇	三,一〇〇	三,一〇〇,〇〇	一	五〇,七六〇,〇〇
雜穀	一八〇	九〇,〇〇	一八	一〇,二二,〇〇	二	三六,六七〇,〇〇
精粉	二,八〇	二,七四〇,〇〇	六,三二	六,三二,〇〇	三	一〇,三〇〇,〇〇
分糖	一六,六七	三〇,三五〇,〇〇	四,六六	四,六六,〇〇	一	三,三五六,〇〇
雜糖	七,一八四	一,九九,三七八,〇〇	一〇,〇九	一五,四〇〇,〇〇	二	二,三五,六四〇,〇〇
酒及	四九	三,一〇三,〇〇	七四	一,一八,四九,〇〇	一	一,九四三
海產	六,五五	八六,〇〇,〇〇	充,六四	一,二八,一九六,〇〇	二	八九,〇六,〇〇
雜食料	五〇	四,二九,〇〇	二四	二,一〇〇,〇〇	一	五,三九,四〇〇,〇〇
其織物	六,〇〇八	八四,五三,〇〇	三,四六	六九,二八〇,〇〇	一	三〇,八九,〇〇
綿織物	元	一,九〇,〇〇	三三	一三,九四〇,〇〇	六	一〇,六六
毛織物	六	六,三四二,〇〇	一六	四,八四七,〇〇	八	一,五七,〇〇
雜織物	九	五,九〇〇,〇〇	一六	二,四〇〇,〇〇	〇	二,一〇,〇〇
米穀	一,一〇〇	三九,七九〇,〇〇	三,三五	一五,〇一九,〇〇	五	一〇,二〇,〇〇
支那	四	四,〇八四,〇〇	五〇	一四,〇〇〇,〇〇	三	一,八四七
雜支那	七四	八,一七〇,〇〇	四六	五,一五〇,〇〇	三	一,四七

皮革及製品 紙 紙 紙 抄紙原料 人絹用パルプ 海産肥料 人造肥料 地肥原料 鉄金類 鐵材 金物製 鑄物製 機械類 木材類 軸子製 硝子製 藥品類 染料類 油脂類 護讀及製品

品名	個數	金額	個數	金額	個數	金額
皮革及製品	无	三、七三、〇〇	四	七、二九、〇〇	一三	三、四九、〇〇
紙	三〇五	九四、四〇、〇〇	二〇〇	四、一六、〇〇	六	一、四五〇、〇〇
抄紙原料	三、八七	五、八〇、〇〇	二、〇九	四、二四、〇〇	一	七九、二九、〇〇
人絹用パルプ	一、三三	六、〇五、〇〇	一、五	九、六〇、〇〇	二、六七	一三〇、六〇、〇〇
海産肥料	三、九四	二、七四、〇〇	一、七〇	一三、五七、〇〇	九、二四	六三、三三、〇〇
人造肥料	一、四〇〇	四、八五、〇〇	三、三六	一三、三〇、〇〇	三、六九	一〇、九九、〇〇
地肥原料	三、五、六二	二、三九、六八、〇〇	八、七四	七四、九六、〇〇	四、六四	四、三六、八九、〇〇
鉄金類	三、九四	五、六、五〇、〇〇	六、七三	七五、六五、〇〇	五、三四	一、〇一、〇六、〇〇
鉄材	一、四三	六、二、一〇、〇〇	六、九六	二七〇、四三、〇〇	三、九	一、〇〇六、九七、〇〇
鐵物製	一、五	三、三〇、〇〇	二、九八	七、二四、〇〇	一、三五	一〇三、二九、〇〇
鑄物製	一、〇八	四〇、三三、〇〇	二、三〇	四九、六九、〇〇	二、六八	三、七、〇〇、〇〇
機械類	二、〇七	二、六〇、〇〇	四	一、二〇、〇〇	五七	一七、六九、〇〇
木材類	(二、〇七噸)	四、一四、六八、〇〇	(一、六噸)	三、九八、九元、〇〇	(四、七噸)	五、九七、五、〇〇
軸子製	一、天	三、三〇、〇〇	四	三、八二、〇〇	一四	三、〇〇、〇〇
硝子製	二、九八	一四、五七、〇〇	八、天	三、八二、〇〇	二、二	一四、五三、〇〇
藥品類	三、八七	五、八〇、〇〇	二、七〇	四、五五、〇〇	六、三〇	二、二、八七、〇〇
染料類	二、四〇	一四、九〇、〇〇	六、五〇	二、八八、〇〇	一九、〇三	六三、三三、〇〇
油脂類	一〇四	一〇、三〇、〇〇	三、五	四、一三、〇〇	二、六九	三、四七、〇〇

雜計 五 月 內 地 米 朝 鮮 米 臺 灣 米 外 國 米 小 麥 雜 類 豆 類 雜 類 麥 粉 雜 類 分 密 糖 雜 類 鹽 糖 酒 及 飲 料 雜 食 品 海 產 物 其 他

品名	個數	金額	個數	金額	個數	金額
雜計	四、〇六二	三九、五〇、五	一、七、一七	一、九〇、七四、〇	九七、九五	五三、七、五、四
內 地 米	六、四六六	八、一三、〇〇	三、五七	三、六、一八、〇	一、六五、五五	一、八、六四七、六四、元
朝 鮮 米	三、二九	四、〇、八四、〇〇	三、七三	三、〇一、一四、五、〇〇	二、六四	一、六、一、四、五、〇〇
臺 灣 米	七、四三	九〇、一七、〇〇	九、四三	一、七、七三、〇〇	二、四九三	三、三、五、五、〇〇
外 國 米	三、〇三	四、七五、〇〇	四、〇六	五、四六、〇〇	一、八六四	三、五、九三、〇〇
小 麥	二、五	九、六六、〇〇	四、三三	四、九七、〇〇、〇	四、九六一	四、四三、〇〇
雜 類	三	二、九七、〇〇	三	二、九七、〇〇	一	一
豆 類	一、〇、三五	二、九、六五、〇〇	三、三、四四	一、七、九、九、〇〇	七、四二〇	四、六、一、四、〇〇
雜 類	二、八、五七	二、〇、八六、〇〇	二、三、四六	二、七、九、四、〇〇	三、〇、八	二、七三、一七、〇〇
麥 粉	三、九〇	一、九、五五、〇〇	四、七	二、六三、〇〇	一	一
雜 類	九、九三	三、一三、〇〇	二、二、〇六	五、四八、〇〇	二、三、三六	五、五、七、四、〇〇
分 密 糖	六、九四	一、七、三、五、〇〇	八、三三	二、三、二九、〇〇	三、〇、九四	五、三、八三、〇〇
鹽 糖	元、九、九七	五、〇、五、六、〇〇	四、〇、七、七	六、四、〇、〇〇	三、二、〇、七	二、〇、九、六、三、〇〇
酒 及 飲 料	四、七	三、七、二九、〇〇	二、六、七	元、三、三、〇〇	一	一、六、七、〇〇
雜 食 品	三、五、天	一、五、三、九、三、〇〇	四、八、〇三	一、九、三、八、六、〇〇	二、三、三	八、九、七、五、〇〇
海 產 物	一、一、天	六、一、三、〇〇	五、四	一、三、五、七、〇〇	二、七、六	四、六、一、三、七、〇〇
其 他	六、八	九、六、三〇、〇〇	三、八、二	三、六、六、六、〇〇	六、一	一、三、九〇、〇〇

品名	六月		個數	金額	個數	金額	個數	金額
	入	出						
陸產肥料	三,一〇八	八,七四〇,〇〇	二,三三九	五,三九九,〇〇	四,四〇八	一四,二六〇,〇〇	一四,二六〇,〇〇	
人造肥料	五,四四六	六,七三三,〇〇	八四,六八六	八四,六四一,〇〇	四〇六,九九九	四,三三〇,〇〇	四,三三〇,〇〇	
地金類	二,一五三	三,〇〇〇	二,五九〇	五,三九九,〇〇	五,〇八三	一,〇四三,〇〇	一,〇四三,〇〇	
鐵製材料	七,四四五	五,三三七,〇〇	七九	五,八〇〇,〇〇	四,五五五	一三,八五五,〇〇	一三,八五五,〇〇	
金製材料	二,九六六	四,四四四,〇〇	一,七九	七,七三三,〇〇	三,七七七	三〇,七三三,〇〇	三〇,七三三,〇〇	
機械類	一〇	一,一〇〇,〇〇	一	一,一〇〇,〇〇	五七七	一八,七九九,〇〇	一八,七九九,〇〇	
木材料	(一,三三六噸)	四,五五六,七三三,〇〇	(一,八八三噸)	三,五八〇,二五三,〇〇	(一,四七噸)	六,九三三,九八,〇〇	六,九三三,九八,〇〇	
軸子及製品	一	一	一	一	一	一	一	
硝子及製品	一	一	一	一	一	一	一	
藥品類	二,八九六	二七,三〇〇,〇〇	一,九六八	九〇,三三三,〇〇	二六八	五,四七七,〇〇	五,四七七,〇〇	
染料及塗料類	七九	一八,五七七,〇〇	一,九六	四,六三三,〇〇	一五,七三三	七三,五五五,〇〇	七三,五五五,〇〇	
油脂類	一,三六三	一〇,一八三,〇〇	一四,〇四三	四四,五五五,〇〇	三,五六六	八五,九四九,〇〇	八五,九四九,〇〇	
棉實類	一,五五五	一〇,一八三,〇〇	九二二	二六,六七七,〇〇	六,三三三	三三,四七七,〇〇	三三,四七七,〇〇	
護膜及製品	五五,七七五	九三,三六八,七四	九二二	八七,九七〇,〇〇	三,三三三	五,八八八,〇〇	五,八八八,〇〇	
雜計	(九四,八四噸)	三〇,六四〇,一九三,七四	(五〇,八七噸)	四〇,七三三,〇五六,六	(一,四七噸)	三,六四四,三三六	三,六四四,三三六	
計	(一,三五噸)	一五七,九四四,〇〇	(一,五四噸)	二〇〇,七三三,〇五六,六	(一,四七噸)	一四七,一九四	一六六,七三三,〇五六	

六三

品名	個數	金額	個數	金額	個數	金額
抄紙原料	一,八五五	五,三三三,〇〇	六三三	一四,九九九,〇〇	二,〇〇九	八,五五五,〇〇
洋紙	一	一	一	一	一	一
和紙	一	一	一	一	一	一
皮革及製品	七,〇三三	一四,五五五,〇〇	三,三三三	三九,九九九,〇〇	二,四四四	四四,九九九,〇〇
麻	三	七,五五五,〇〇	六	二,〇〇〇,〇〇	三	六,五五五,〇〇
雜毛糸	三,〇六七	三,三三三,九九,〇〇	三,〇二九	六,三三三,九九,〇〇	六,〇〇〇	六,三三三,九九,〇〇
綿糸	五	四,二二二,〇〇	五	四,二二二,〇〇	三	六,三三三,九九,〇〇
雜毛	八	一,六四四,〇〇	九,二二二	二,九九九,九九,〇〇	三,三三三	六,三三三,九九,〇〇
雜棉	一,三三六	四,六六六,〇〇	二〇	一,五〇〇,〇〇	三	八,三三三,九九,〇〇
支那線	七九	九,九九九,〇〇	三〇	四,六六六,〇〇	七三	九,九九九,〇〇
印度線	一	一	一	一	一	一
米國線	一	一	一	一	一	一
蘭物製	七	一	五	六,九九九,〇〇	七	一四,九九九,〇〇
雜織物	七	一	六	一〇,〇〇〇,〇〇	三	二七,〇〇〇,〇〇
毛織物	三	一	三	三,三三三,〇〇	三	三三,〇〇〇,〇〇
綿織物	三	一	三	三,三三三,〇〇	三	三三,〇〇〇,〇〇
絹織物	三	一	三	三,三三三,〇〇	三	三三,〇〇〇,〇〇

六二

支那	雜	雜	羊	雜	綿	綿	毛	雜	麻	皮	和	洋	板	抄	人	海	陸	人	製	地	鐵	鐵	金	鑛
那	綠	綠	毛	毛	毛	毛	糸	糸	糸	革	及	紙	紙	紙	紙	用	產	產	造	肥	類	材	品	石
三,〇四〇	三	四八	一三,七三一	一〇	一〇	一〇	三	三	五,五七一	三	三	五,五七一	三	四,七九	七五	二,二八〇	一〇,六四〇	一四,〇三九	一	六,八九〇	一	三三	五,九六三	八四
一四八,九〇〇,〇〇	二,七〇〇,〇〇	一〇,六九〇,〇〇	四,一三七,九二〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇	一五,〇〇〇,〇〇
七,六	五	一五	九,三三四	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	
四,一五三,〇〇	七,五〇〇,〇〇	五,五〇〇,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇	三,〇〇四,二六六,〇〇
四,六九九	八	六	三,五五	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
三〇四,五五六,〇〇	一〇,三〇〇,〇〇	一〇,三〇〇,〇〇	七,九七二,〇五〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇	一六,七七一,〇〇

六五

朝	鮮	外	小	雜	豆	雜	麥	雜	分	精	雜	鹽	酒	雜	海	實	絹	綿	毛	雜	織	滿	米	印
米	米	米	米	麥	類	穀	粉	粉	糖	糖	糖	料	料	物	物	物	物	物	物	物	物	物	物	物
三,九〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	四,〇〇三	
四四,三六〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	二五,二七〇,〇〇	
元,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	一〇,三三	
三,五五,六五〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	一三,三三〇,〇〇	
五,三三〇	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	二,一八	
一〇〇,〇〇〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	一五,五五〇,〇〇	

六四

雜	分	雜	鹽	酒	雜	海	食	及	雜	綿	綿	雜	支	印	米	蘭	織	雜	毛	綿	綢	苧	海	雜	酒	鹽	雜	分	精	雜	
粉	糖	糖	糖	料	品	物	品	飲	物	物	物	物	綠	綠	綠	綠	製	製	物	物	物	物	物	物	料	料	類	類	類	類	類
六、五九	一、九〇	二、二五	四、六四	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	一、三六	
三、一五〇	四、七〇	五、二〇	六、三〇	七、四〇	八、五〇	九、六〇	一〇、七〇	一二、八〇	一三、九〇	一五、〇〇	一六、一〇	一七、二〇	一八、三〇	一九、四〇	二〇、五〇	二一、六〇	二二、七〇	二三、八〇	二四、九〇	二六、〇〇	二七、一〇	二八、二〇	二九、三〇	三〇、四〇	三一、五〇	三二、六〇	三三、七〇	三四、八〇	三五、九〇	三六、〇〇	
八、七〇〇	四、九六〇	三、五三〇	二、四〇〇	一、五〇〇	九、八三〇	六、八三〇	五、九〇	一、二六	二、五七	三、八八	五、一九	六、八三	八、〇〇	九、一七	一〇、三四	一、五〇	二、六七	三、八四	五、〇一	六、一八	七、三五	八、五二	九、八九	一〇、七六	一二、〇三	一三、三〇	一四、五七	一五、八四	一七、一一	一八、三八	二〇、〇五
二、七四六	三、九六六	四、四七〇	五、〇〇〇	五、五三〇	六、〇六〇	六、五九〇	七、一二〇	七、六五〇	八、一八〇	八、七一〇	九、二四〇	九、七七〇	一〇、三〇〇	一〇、八三〇	一、三六〇	一、八九〇	二、四二〇	三、四五〇	四、〇八〇	四、六一〇	五、一四〇	六、二二〇	七、三〇〇	八、三八〇	九、四六〇	一〇、五四〇	一、六二〇	二、七〇〇	三、七八〇	四、八六〇	五、九四〇
三、九三三	三、五〇四	七、〇七九	二、三三	六、七七	九、三	三、三三	四、八	六、五三	八、〇八	九、六三	一一、一八	一二、七三	一四、二八	一五、八三	一七、三八	一九、四三	二〇、九八	二二、五三	二四、〇八	二五、六三	二七、一八	二八、七三	三〇、二八	三一、八三	三三、三八	三五、四三	三六、九八	三八、五三	四〇、〇八	四一、六三	四三、一八
三、四〇四	三、九一九	一〇、三三〇	九、三五〇	九、八七〇	九、三九〇	八、九一〇	八、四三〇	七、九五〇	七、四七〇	七、三九〇	七、三一一〇	七、二二三〇	七、一四五〇	七、〇六七〇	七、〇〇〇	六、九二〇	六、八四〇	六、七六〇	六、六八〇	六、六〇〇	六、五二〇	六、四四〇	六、三六〇	六、二八〇	六、二〇〇	六、一二〇	六、〇四〇	五、九六〇	五、八八〇	五、八〇〇	五、七二〇

機	木	軸	子	藥	油	棉	雜	內	朝	臺	外	小	雜	豆	麥	雜	粉
類	材	製	製	類	類	實	品	米	米	米	米	麥	麥	類	類	類	類
三、二七	一、八三	一、五〇	一、二六	三、五五	一、七〇	一、六四	二〇九、六九	三〇、六〇	一、二五	四、一七	五、一七	一、九元	一、九元	一、八元	一、八元	一、八元	一、八元
三、五三、一三〇	二、六四〇、〇〇	一、五五〇、〇〇	七、九四〇、〇〇	七、三五〇、〇〇	七、七〇、〇〇	一、五五〇、〇〇	八、七、三、七、〇、三	八、四、四、七、〇、六	一、五〇、二、七、〇、〇	五、四、九、二、九、〇、〇	六、八、三、七、〇、〇	一、六、六、七、〇、〇	一、六、六、七、〇、〇	一、六、六、七、〇、〇	一、六、六、七、〇、〇	一、六、六、七、〇、〇	一、六、六、七、〇、〇
二、九〇	一、八三	一、八	二、九八	三、三三	一、九三	一、四九	三、五、五、四	一〇、三、五、三	九、八、六、九	二、四、〇、五	一、九、八、九	五、〇、八	三、一、九〇	二、四、四、五	二、一、二〇	二、一、二〇	二、一、二〇
四、〇九、一〇六、〇〇	二、六四〇、〇〇	六、一五〇、〇〇	一、七〇、六〇九、〇〇	四、九、七、一、〇〇	九、三、四、九、〇、〇	一、二、七、八、七、〇、〇	一、〇、六、八、九、五、五	一、八、四、三、六、六、六	二、六、五、五、〇、〇	二、九、一、四、七、〇、〇	三、四、四、四、〇、〇	四、三、四、四、元	一、七、五、六、〇、〇	一、四、八、四、七、〇、〇	九、九、六、〇〇	九、九、六、〇〇	九、九、六、〇〇
五、八五〇	二、三三	一、五	三、九〇	三、三九	五、五	三、七六	三、五、六、一、五	一、九、七、三、九、一	六、六、五	三、〇、五	五、五、七	四、四、一	元、九、九	六、一、〇、七	六、一、〇、七	六、一、〇、七	六、一、〇、七
六、四八、〇五四、〇	三、〇〇、〇〇	四、八、八、四〇、〇	六、三五、八〇、〇	二、七、三、三、〇〇	三、四、七、八、〇〇	三、四、七、八、〇〇	三、三、九、九、九、〇、〇	三、三、四、三、三、〇、〇	四、一、五、三、〇、〇	三、〇、九、一、〇、〇	二、一、〇、九、〇、〇	一、七、〇、九、〇、〇	二、七、〇、七、〇、〇	三、三、三、一、〇、〇	三、三、三、一、〇、〇	三、三、三、一、〇、〇	三、三、三、一、〇、〇

品名	個數	金額	個數	金額	個數	金額
雜貨及製品	一,三四三	一四,七五〇,〇〇	一,三四三	一三,九四五,〇〇	三,六四六	四三,三三三,〇〇
內鮮米	三,九四〇	五〇,七三三,〇〇	二,〇六七	二,九四四,〇〇	一,九四九	一,四三三,七〇五,九一
朝鮮米	三,九二二	五三,〇九〇,〇〇	八,九五五	一六,六六三,〇〇	一,八八三	二四,〇三六,四一〇,六
外米	四,〇〇〇	五九,六三三,〇〇	四,八五〇	六〇,九八四,〇〇	一四,七四五	一八,五三〇,〇〇
小麥	一〇,五五八	一四九,八二二,〇〇	三,六六五	四〇,九八四,〇〇	一四,七四五	一八,五三〇,〇〇
豆類	二,四六七	九二,三三七,〇〇	六,九九九	六四,四三三,七	二,二二〇	一七,一三三,〇〇
雜穀	一四,八八三	二四〇,三三〇,〇〇	一三,三三七	二五,二二〇,〇〇	一四,七四五	一八,五三〇,〇〇
麥粉	一九,六四八	一八三,九二〇,〇〇	一六,六〇〇	一七五,六一〇,〇〇	三元一五	三四,九二〇,〇〇
粉類	三七〇	二,〇三五,〇〇	三,六六	二,〇一三,〇〇	四	三,〇〇
糖類	六〇九	二,九六八,〇〇	一,八四七	八,八四四,〇〇	二,七五	一六,五五八,〇〇
鹽類	四八四	二,四九五,〇〇	五,五五六	一三,二九六,〇〇	五,六三〇	二九,九四〇,〇〇
酒類	九四三	六,八八八,〇〇	三,〇九八	三,九一八,〇〇	五,三六〇	一〇,二二八,〇〇
雜貨	四	四,一五一,〇〇	一五	七,六〇〇,〇〇	一五	六,五五八,〇〇
食料	三	四,〇五五,七五〇,〇〇	一五	九,五六七,〇〇	四,七五〇	二三,四五五,〇〇
海產	三	六,〇〇〇,〇〇	一三	三,〇四一,四三,〇〇	一,六四	七,六七五,〇〇

品名	個數	金額	個數	金額	個數	金額
雜貨及製品	一,三四三	一四,七五〇,〇〇	一,三四三	一三,九四五,〇〇	三,六四六	四三,三三三,〇〇
麻革及製品	三,七三三	三六,二六八,〇〇	七,二二	一三,六六八,〇〇	一八,六〇〇	四三,三三三,〇〇
皮紙	四	三,五二六,〇〇	六	九,〇五五,〇〇	六	一八,四四八,〇〇
洋紙	一,〇三二	六,六四三,〇〇	五	一,九二五,〇〇	一,四一七	一,五〇〇,〇〇
抄紙	三,七四〇	七,〇四四,〇〇	二,二八三	七,五五六,〇〇	四,三九九	九,六三五,七〇
人絹	一	五〇,〇〇	一,〇三〇	五,〇〇〇,〇〇	一,三四	三,五五〇,〇〇
海產肥	六,四四九	一九,九九八,〇〇	五,〇二二	三,九四二,〇〇	五,三三五	三,五二〇,〇〇
陸產肥	三,八七〇	三,八九一,〇〇	五,五四四	三,九四五,〇〇	二,三四九	三,五二〇,〇〇
人造肥	五,九六六	六,七三,八八八,〇〇	六,〇四四	五,五五六,〇〇	四〇八,四四四	四,八七七,七八
地金	三,三四四	七,〇四三,〇〇	八,一八九	三,五八三,〇〇	一七,四六六	七,八二六,〇〇
鐵製	一,〇〇〇	八三,〇〇一,〇〇	一	一九,一三七,〇〇	五,三九九	九,六三九,〇〇
金製	五〇	三,八四四,〇〇	一,五七七	一〇,三五五,四	二,五八	一〇七,二九,〇〇
機石	一,四六	三,四六,一五五,〇〇	二,一四三	三,四五五,五五,〇〇	五,二六四	六,四七二,六四,八
木材	三,九九七	二,二九八,〇〇	三,九九七	二,二九八,〇〇	一四	三,〇〇〇,〇〇
軸子	三	九〇〇,〇〇	四	一,一三〇,〇〇	一五	天六四,〇〇
硝子	三,〇〇〇	八三,九六五,〇〇	四,三六七	三,〇四七,〇〇	三,六四	五八,九八,〇〇
藥劑	一,二二七	七,〇八八,〇〇	二,二六二	天,六七〇,〇〇	二,五八三	一五,七〇〇,〇〇
染料	一,一七	七,〇八八,〇〇	七	四,八三三,〇〇	六,三〇一	三,六,六九,〇〇
油脂	一,七	七,〇八八,〇〇	七	四,八三三,〇〇	六,三〇一	三,六,六九,〇〇
棉實	一	七,〇八八,〇〇	七	四,八三三,〇〇	六,三〇一	三,六,六九,〇〇

海產肥料	陸產肥料	人造肥料	地產金類	銹製	鐵製	金製	機類	木類	軸木	硝子及製品	藥品類	染料類	油類	棉實類	護膜及製品	雜計	九	米名	地	內					
三,000	二,000	一,三五七六	一九,九一	五,五九					二,九二	二,四〇〇	七,四八〇					一,一〇				個數	庫	出	庫	殘	高
四,九四	六,一〇〇	一,一〇〇	一,三二五〇	三,一六六					三,九七,七三〇	二,四〇〇	七,四八〇					一,一〇				個數	額	數	額	數	額
三,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇

七一

黃織物	絹織物	綿織物	毛織物	雜織物	織物	蘭物	米織	印那	支那	雜	羊	雜	雜	麻	皮革及製	和紙	洋紙	抄紙	人絹
五,六四九	一四,二五〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
二,五二	一四,四二〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

七〇

雜品 皮草及製品 和紙 洋紙 抄紙 人絹用紙 海產肥料 陸產肥料 人造肥料 製肥原料 地金類 銑鐵類 金物製 礦石類 機械 木材類 硝子及製 藥品及製 染料及蠟 油及蠟 棉實類 護謨及製

品名	個數	金額	個數	金額	個數	金額
皮草及製品	一六,九八	三八,一三〇,〇〇	九,三〇九	二五,九四〇,〇〇	六,七〇九	五八,一二三,〇〇
和紙	四	三,九二〇,〇〇	九	四九,三五〇,〇〇	一〇	七三,九七五,〇〇
洋紙	七九	七,六三三,〇〇	四	一〇,三六六,〇〇	三	一六,六三三,〇〇
抄紙	六,一五	二四,三五〇,〇〇	五,八	一三,〇三九,〇〇	四,八四	九三,八六六,〇〇
人絹用紙	二,八四〇	一六,三三〇,〇〇	四,〇九	三六,三〇〇,〇〇	四,三三	二八,九五〇,〇〇
海產肥料	五,〇三	四七,八七〇,〇〇	二〇,四六	一三,五六〇,〇〇	二四,七五	八五,五〇〇,〇〇
陸產肥料	六,〇三	三,〇〇六,〇〇	二,七五	三,一四八,〇〇	一三,四九	七三,五七〇,〇〇
人造肥料	八,一五	一,八二,三五〇,〇〇	一〇,一	一,三六,一三三,〇〇	五,四六	四,七一九七,〇〇
製肥原料	三,八三	二八,〇四〇,〇〇	一,三	二,〇七〇,〇〇	三,〇八	八五,三四〇,〇〇
地金類	元三	一三,七〇〇,〇〇	二〇	一六,九〇〇,〇〇	一七,〇四	六三,六六五,〇〇
銑鐵類	一,四〇	三,三六二,〇〇	九三	九,九六六,〇〇	二,九五	九〇,五八〇,〇〇
金物製	二	七〇〇,〇〇	一〇	一八,五五〇,〇〇	一〇,六三	三三,八二〇,〇〇
礦石類	三,六〇	四,七五,八七七,〇〇	三,〇八	五,四三三,八二二,〇〇	一,六一	二四,〇四六,〇〇
機械	二	二,三六四,〇〇	五	八,九三〇,〇〇	一,六一	二四,〇四六,〇〇
木材類	二	二,三六四,〇〇	三,〇八	六,〇〇〇,〇〇	一	三,〇〇〇,〇〇
硝子及製	二	七〇〇,〇〇	一〇	三,二七〇,〇〇	二四	四二,三四〇,〇〇
藥品及製	四,三七	一四,六三三,〇〇	五,九	一八,五五〇,〇〇	二〇,六三	三三,八二〇,〇〇
染料及蠟	一,六一	五,九三三,〇〇	四四	三,二〇一,〇〇	二,七	一〇,九七九,〇〇
油及蠟	一,五五	七,一九四,〇〇	一,五	八,三二五,〇〇	七,三	七,一〇七,〇〇
棉實類	六	六,九〇〇,〇〇	二,三五	三六,〇〇九,〇〇	六四	九,五〇八,〇〇

七六

雜品 內米 朝鮮米 臺灣米 外米 小麥 豆類 雜穀類 麥粉 雜粉 分密糖 鹽糖 酒及飲料 雜食料 海產物 葷織物

品名	個數	金額	個數	金額	個數	金額
雜品	四,〇八	五〇,八八〇,〇〇	一八,五	二,一七,一〇〇,〇〇	五,一	七,三三六,〇〇
內米	三,五七	四三,七七〇,〇〇	二,三四	元,五〇〇,〇〇	一,六	三〇,三三〇,〇〇
朝鮮米	三,六五	三六,四四〇,〇〇	一,二	一四,八八九,〇〇	二,六	一六,三四〇,〇〇
臺灣米	二,六八	三〇,八九三,〇〇	六,七	九,九八八,〇〇	三,九	五,一〇一,〇〇
外米	四,二〇	五,六〇〇,〇〇	五,三	五八,一八五,九	九,四	一,〇三一,九七,九
小麥	一〇,五五	一七五,三四〇,〇〇	一三,三	三〇,五三三,〇〇	一〇	七,〇〇
豆類	九,七九	八四,五一一,〇〇	三〇,三	二四,五六六,〇〇	一五,三	四五,三三五,〇〇
雜穀類	五五	二,一九〇,〇〇	二,六	二,一六八,〇〇	五,一	八五,三二九,〇〇
麥粉	四,一六	一五,八八〇,〇〇	二,七	九四,四八〇,〇〇	一	一九三,五六,〇〇
雜粉	二,八九	四,三〇〇,〇〇	六,七	二四,一〇三,〇〇	六,〇	九,九四〇,〇〇
分密糖	一,〇〇	三,四八〇,〇〇	二,五	二〇,八五九,〇〇	六,四	二四,五七〇,〇〇
鹽糖	一,六	七,七一一,〇〇	四	一,一九四,〇〇	一七	七,五〇〇,〇〇
酒及飲料	一,七五	六,三三九,〇〇	一,九	八七,〇七〇,〇〇	六,四	二七,一六三,〇〇
雜食料	四,四六	八七,五七七,〇〇	八,九	九〇,七六六,〇〇	五,一	二,〇三三,三九,〇〇
海產物	一,三三	五,六一〇,〇〇	一,六	六,六六八,〇〇	三,八	一四,一六七,〇〇
葷織物	六,三三	三三,三二八,〇〇	一,八	五,四三七,〇〇	一,二	一三,九三三,〇〇
織物	四三	二二,八五三,〇〇	三,五	一七,八七三,〇〇	四	二六,四〇六,〇〇

七七

鐵製	金品	鐵材	銑類	地類	製肥料	人產肥料	陸產肥料	海產肥料	人絹用	抄紙	板紙	洋紙	和紙	皮革及製	麻糸	雜糸	毛糸	綿糸	絹毛	雜毛	羊毛	雜綿	雜棉	
三、四七	三、四七	五、五七	四、二三	七、元一	六、四六	五、〇五	元、五〇	一、五二	八、六六	三、四九	六、六六	二、四九	四、六六	一、五二	六、七六	五、一五	五、五九	二、二五	二、五	二、二五	一、五	三、〇	一、〇	一、〇
一、五、六九、〇〇	一、五、六九、〇〇	三、三、四五、〇〇	六、〇、五三、〇〇	三、三、四九、〇〇	四、五、六四、〇〇	二、六、七六、〇〇	二、一、八七、〇〇	三、二、四六、〇〇	二、四、八六、〇〇	六、〇、五〇、〇〇	一、六、八〇、〇〇	二、六、八〇、〇〇	三、三、七、〇〇	二、七、〇七、〇〇	三、三、三、〇〇	五、三、〇、〇〇	二、三、〇、〇〇	二、一、〇〇、〇〇	五、三、〇、〇〇	二、一、〇〇、〇〇	五、三、〇、〇〇	二、三、〇、〇〇	三、三、〇、〇〇	六、〇、〇〇
二、五、六	二、五、六	七、七、〇	七、〇、二	三、九、〇	七、〇、八	三、七、九	四、三、三	五、三、七	一、五、一	一、五、一	一、四、九	一、四、九	三、七、七	五、七、七	一、七、九	五、八、九	五、三、八	五、三、八	一、九、一	一、九、一	一、九、一	一、九、一	一、九、一	一、九、一
四、六、八、〇〇	四、六、八、〇〇	一、三、六、七、〇〇	三、六、五、〇〇	七、二、五、〇〇	三、三、五、〇〇	三、三、五、〇〇	三、三、五、〇〇	三、三、五、〇〇	一、四、五、〇〇	三、五、六、九、〇〇	四、〇、四、〇〇	三、五、六、九、〇〇	四、〇、四、〇〇	一、四、五、〇〇	三、五、六、九、〇〇	四、〇、四、〇〇	三、五、六、九、〇〇	四、〇、四、〇〇	一、四、五、〇〇	三、五、六、九、〇〇	四、〇、四、〇〇	三、五、六、九、〇〇	四、〇、四、〇〇	三、五、六、九、〇〇
一、六、八〇	一、六、八〇	五、四、八	三、六、七	四、三、六	二、四、四	五、三、六	二、三、七	二、三、七	二、三、七	一、八、三	一、八、三	一、八、三	一、八、三	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七	二、三、七
三、三、六、八、〇〇	三、三、六、八、〇〇	八、一、〇、〇〇	四、五、九、〇〇	四、〇、五、〇〇	四、〇、五、〇〇	四、〇、五、〇〇	四、〇、五、〇〇	四、〇、五、〇〇	三、三、三、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	三、三、三、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	三、三、三、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	八、七、一、〇、〇〇	三、三、三、〇〇

支那	印度	米國	蘭物	雜物	毛織	綿織	絹織	其產	海產	雜食	酒及	鹽料	雜糖	分糖	精糖	雜粉	麥粉	雜穀	豆類	雜麥	小麥	外米	臺灣米
四、八〇	八、〇〇	三、〇〇	三、七	二、五	三、五	二、〇	四、六	七、六	〇	三、五	一、四	七、四	一、六	七、四	八、六	五、七	四、三	三、三	二、六	一、四	一、四	七、八	三、六
四、五、〇〇	一、七、〇〇、〇〇	八、三、〇〇、〇〇	一、九、一、〇〇、〇〇	六、四、七、〇〇	五、三、三、〇〇	三、八、九、〇〇	三、五、三、〇〇	五、三、三、〇〇	六、四、七、〇〇	一、三、四、五、〇〇	四、四、九、〇〇	一、三、四、五、〇〇	七、三、七、〇〇	一、四、六、三、〇〇	一、四、六、三、〇〇	一、七、三、八、〇〇	三、七、六、〇〇	五、三、〇、九、〇〇	三、七、六、〇〇	一、九、六、〇〇	五、三、〇、九、〇〇	二、一、七、九、〇〇	三、五、九、三、〇〇
一、二、七	四、〇	一〇〇	三、八	三	三、五	四	二、六	四、六	四、六	三、〇	二、六	三、六	一、九	八、七	二、〇	三、七	三、七	二、三	二、三	一、九	一、九	一、九	三、七
八、九、九、〇〇	五、〇〇、〇〇	二、五、〇〇、〇〇	二、六、一、二、五、〇〇	四、二、六、〇〇	三、四、五、一、〇〇	九、〇〇、〇〇	三、四、五、一、〇〇	四、二、六、〇〇	七、八、八、〇〇	一、二、七、二、四、〇〇	二、一、七、二、四、〇〇	二、一、七、二、四、〇〇	八、七、三、〇〇	一、九、〇、三、五、〇〇	一、九、〇、三、五、〇〇	二、六、四、〇〇	二、八、〇、九、九、〇〇	一、八、〇、六、一、〇〇	三、四、四、四、〇〇	一、二、三、〇〇	三、四、四、四、〇〇	三、〇、八、七、〇〇	三、五、九、三、〇〇
一、九、五	九、九	三、五	五、二	五、二	四、四	五、二	五、二	五、二	五、二	五、二	四、九	四、九	二、一	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	六、四
一、三、一、〇、〇〇	三、四、三、九、〇〇	九、九、〇〇、〇〇	一、四、七、九、〇〇	七、五、〇、〇〇	七、五、〇、〇〇	三、二、四、〇〇	三、二、四、〇〇	八、三、四、八、〇〇	四、五、九、〇〇	二、〇、一、〇、三、五、〇〇	二、〇、一、〇、三、五、〇〇	二、〇、一、〇、三、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇	六、〇、四、五、〇〇

白	晒	同	同	同	同	綿織物	同	同	同	同	同	同	綿織物	毛	同	綿織物	人	生	大	菜	大	綠	サ
モ																	造						イ
ス	絹	捺	綿	晒	縞	三巾	晒	本	甲	銘	縮	絹	富	羽	赤	綿	造			種	豆		ダ
リ	麻	染	ネ	木	木	巾	金	耳	斐	仙	袖	士	二	重	富	系	糸	糸	麻	油	油	茶	
ン		緋	ル	綿	綿	巾	巾	絹	絹	用	細	細	重	糸	手	手	糸	糸	油	油	茶		

欠		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
欠		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
欠		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
欠		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允
〇		允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允	允

麥	清	鯉	分	精	同	同	食	梅	澤	味	醬	鹽	鹽	生	生	生	生	蟹	牛	同	鷄	鷄	豚	內

蟹	牛	同	雞	雞	豚	內	落	巴	林	葱	午	大	玉	馬	甘	澱	小	同	碗	同	菜	小	
罐詰	上海乳	地玉	卵地	肉	肉	花生	花	檳	檳	勞	根	葱	薯	鈴	薯	粉	粉	同	豆	中	長	豆	
(牛封度物)	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱	一箱
五、〇〇	〇、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	三、〇〇	四、〇〇	五、〇〇	六、〇〇	七、〇〇	八、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	一一、〇〇	一二、〇〇	一三、〇〇	一四、〇〇	一五、〇〇	一六、〇〇	一七、〇〇	一八、〇〇	一九、〇〇	二〇、〇〇	二一、〇〇	二二、〇〇

菜	大	綠	サ	麥	清	鯉	分	精	同	同	食	梅	澤	味	替	塩	塩	生	生	生	生		
種	豆	油	茶	酒	酒	節	蜜	製	再	三	二	干	庵	庵	油	鱈	鱈	鮭	鮭	鮭	鮭		
(二罐入)	二罐入	百斤	(二合場詰)	(四合場詰)	一石	十貫	同	同	同	同	百斤	(三貫入)	一樽	一貫	(九升入)	同	同	同	同	同	同	同	
一五、〇〇	一四、五〇	九、〇〇	七、五〇	一五、〇〇	一三、五〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇	一七、〇〇

智利硝石	同	三、三	三、六	三、七	三、八	三、九	三、九	三、九	三、八	三、七	三、六	三、五	三、四	三、三	三、二	三、一	三、〇	二、九	二、八	二、七	二、六	二、五	二、四	二、三	二、二	二、一	二、〇	一、九	一、八	一、七	一、六	一、五	一、四	一、三	一、二	一、一	一、〇	〇、九	〇、八	〇、七	〇、六	〇、五	〇、四	〇、三	〇、二	〇、一	同																													
大豆油粕滿洲産	一枚	二、六	二、七	二、八	二、九	三、〇	三、一	三、二	三、三	三、四	三、五	三、六	三、七	三、八	三、九	四、〇	四、一	四、二	四、三	四、四	四、五	四、六	四、七	四、八	四、九	五、〇	五、一	五、二	五、三	五、四	五、五	五、六	五、七	五、八	五、九	六、〇	六、一	六、二	六、三	六、四	六、五	六、六	六、七	六、八	六、九	七、〇	七、一	七、二	七、三	七、四	七、五	七、六	七、七	七、八	七、九	八、〇	八、一	八、二	八、三	八、四	八、五	八、六	八、七	八、八	八、九	九、〇	九、一	九、二	九、三	九、四	九、五	九、六	九、七	九、八	九、九	十、〇

同白炭	同	二、六	二、七	二、八	二、九	三、〇	三、一	三、二	三、三	三、四	三、五	三、六	三、七	三、八	三、九	四、〇	四、一	四、二	四、三	四、四	四、五	四、六	四、七	四、八	四、九	五、〇	五、一	五、二	五、三	五、四	五、五	五、六	五、七	五、八	五、九	六、〇	六、一	六、二	六、三	六、四	六、五	六、六	六、七	六、八	六、九	七、〇	七、一	七、二	七、三	七、四	七、五	七、六	七、七	七、八	七、九	八、〇	八、一	八、二	八、三	八、四	八、五	八、六	八、七	八、八	八、九	九、〇	九、一	九、二	九、三	九、四	九、五	九、六	九、七	九、八	九、九	十、〇
人造藍	一樽	二、六	二、七	二、八	二、九	三、〇	三、一	三、二	三、三	三、四	三、五	三、六	三、七	三、八	三、九	四、〇	四、一	四、二	四、三	四、四	四、五	四、六	四、七	四、八	四、九	五、〇	五、一	五、二	五、三	五、四	五、五	五、六	五、七	五、八	五、九	六、〇	六、一	六、二	六、三	六、四	六、五	六、六	六、七	六、八	六、九	七、〇	七、一	七、二	七、三	七、四	七、五	七、六	七、七	七、八	七、九	八、〇	八、一	八、二	八、三	八、四	八、五	八、六	八、七	八、八	八、九	九、〇	九、一	九、二	九、三	九、四	九、五	九、六	九、七	九、八	九、九	十、〇

蕎麥	豆	甘	馬	大	牛	キ	玉	葱	干	澤	奈	梅	林	内	豚	鶏	牛	煉	内	生	生	生	生
腐	藷	薯	根	莠	ッ	葱	瓢	鹿	漬	干	橘	、	肉	肉	肉	乳	乳	卵	鯛	鮪	鮪	鮪	鮪
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壹	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

101

品	別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
内地	白米	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
同	中	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
同	下	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
糯	米	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
改	麥	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
小	粉	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
澱	粉	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
大	豆	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
小	豆	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
菜	豆	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
食	麵	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
餛	麵	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

本表昭和五年一月十六日現在ノ相場ヲ一〇〇トシ算出シタルモノトス

市内小賣物價指數

洋	同	雨傘	靴	足	同	下	同	内地	同
傘	傘	蛇ノ目	下	袋	物	物	物	物	物
同	同	十本	一打	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

100

コ	石	同	薪	同	木	洋	雨	靴	靴	足	下	莫	毛	綿	同	綿	羅	晒	モ	富	銘	紅	綿	同
一					炭							大	小	縫	着	蒲	網	ス	士	仙	着	紅	ネ	茄子紺花色
ク		堅	雜	檢	黒							襪	糸	糸	綿	綿	紗	リ	絹	尺	裏	地		
ス	炭	木	木	土	丸	傘	傘	下	袋	駄	衣	糸	糸	綿	綿	紗	麻	ン	絹	用				
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
壱	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五

金	捺	綿	晒	煙	コ	紅	同	綠	サ	麥	清	分	精	食	鯨	食	味	醬	推	高	干	昆	干	塩
巾					一			茶	イ				蜜	製						野		海		
裏	染	木	木		ヒ	川	煎	ダ																
地	緋	綿	綿	草	一	茶	柳	茶	一	酒	酒	糖	糖	塩	節	酢	噌	油	茸	腐	苔	布	綿	鮭
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五

品名	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
同地白米	一升	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
中上名	一升	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
品名	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇

一〇五

品名	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
ア	ル	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇

一〇四

足	下	莫	毛	綿	同	綿	羅	晒	モ	富	銘	紅	綿	同	金	擦	綿	晒	爛	コ	紅	同	綠	サ
袋	駄	大	小	糸	系	蕭	團	紗	麻	ス	士	尺	用	地	ル	巾	裏	地	地	草	一	茶	柳	茶
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

麥	清	分	精	食	鯉	食	味	醬	椎	高	干	昆	干	塩	生	生	生	生	内	煉	牛	雞	豚	内
酒	酒	糖	糖	塩	節	酢	噌	油	茸	腐	青	布	鵒	鮭	鯖	鯛	卵	乳	乳	肉	肉	肉	肉	

第四章 工業

一、概 説

1 序

惟ふに近代に於ける産業の複雑化に伴ひ、各種の産業を數字的に觀察し以て諸種の施設對策の資料とせんとする傾向益々濃厚となり、産業統計に委ねられたる使命は更に重要性を加へて居る。

政府に於ても昭和四年四月法律第五十三號資源調査法を制定し、國家總動員計畫樹立の基礎資料を得ることとし、之に基いて商工省令工場調査規則を設けて毎年全國的に一定工場の生産能力を調査して居る。

本市に於ても工場調査規則に基く調査を爲すは勿論、横濱市産業調査手續を設けて更に廣範な調査を行つて居るが諸種の事情からその全部を茲に掲載することを得ず、工場調査規則に依りたるものみに止めた。

昭和十一年末現在本市に於ける使用職工五人以上の工場總數は九四二、職工數、四七、九四〇人、同年中の生産額は四四八、八三一、三二六圓である。之を前年に比較すれば工場數に於て二四三、職工數に於て七、一五〇人、生産額に於て七五、二二一、四四六圓何れも増加を示して居る。今之を、工業界が過去數年來の不況より漸く回復の曙光を見出した昭和七年に比すれば工場數、職工數、及生産額に於て略々二倍以上の増加となり、年々増加する軍事豫算の膨脹は益々關係各工業部門の伸展に拍車を加へ本市工業界今日の隆盛を見るに至らしめた。

最近五ヶ年間に於ける工場増加の跡を左に示す。

工場累年増加表

年 次	工場 實數	職工 實數	生産 實數
昭和十一年	九四二	四七、九四〇	四四八、八三一、三二六
昭和十年	六九九	四〇、七九〇	三七四、四〇九、八八〇
昭和九年	六四七	三一、一八四	二七八、一五一、五九三
	指數	指數	指數
	一一一	一一一	一一一

昭和八年	四七七	一一〇	二五、二四四	一一三	二一七、七一、二五五	一三三
昭和七年	四三五	一〇〇	二〇、五五二	一〇〇	一六三、六七六、二五二	一〇〇

2 本市工場の分布

明治初年より本市中央部に発生した工場は新地域の擴張と共に東北部にその中樞が移り、現在に於ては、鶴見、神奈川の兩區は所謂京濱工業地帯の一部を形成し本市工場地帯を爲して居る。

然し工場数より觀るときは中區が五一七で全市の五四・九%を占めて居るが、之は初め工場地帯であつたのが次第に商店街を爲すに至り、更に住宅地を加へて來たので、大工場は少く殆んど半數が家内工業的色彩を帯びた工場である。之に反して鶴見、神奈川の兩區に於ては小工場が少く大半が大工場であつて、鶴見區は全市の一四・三%に當る一三五工場を有し、神奈川區は二三四で全市の二四・八%を占めて居る。

保土ヶ谷、磯子の兩區は本市の住宅地域或は農業地域を形成し、全市より見るときは工場としては極めて少數のものであり、生産額の點よりしても少額のものである。

職工數に付て觀るに、全市では四七、九四〇人であつて、その四〇・五%に當る一九、四〇五人を鶴見區が有して居る。即ち工場數に於ては第三位にありながら大工場多きため、職工數に於ては第一位を占めて居る。

神奈川區に於ては一三、三九六人で二八・〇%となり、工場數に於て第一位に在る中區は職工數に於ては全市の二〇・一%に當る九、六七五人にして、第三位となつて居る。

保土ヶ谷區は三、七五四人で全市の七・八%に當り、磯子區に至つては僅かに一、七一〇人で全市の三・六%にすぎない。之を要するに、本市の工場は所謂工場なる体裁を備へたるものに付て云へば、市の東北部たる鶴見、神奈川兩區にその中樞を有し、之が南西部に延びてゐる一部の工場地帯を形成して居るものといふことを得るのであらう。

各區工場情勢 (昭和十一年)

區別	工場數	實數	百分比	職工數	實數	百分比	生産額	實數	百分比
總數	九四二	一〇〇〇	四七、九四〇	一〇〇〇	四四八、八三一、三二六	一〇〇〇			

鶴見區	一三五	一四・三	一九、四〇五	四〇・五	二〇〇、四二八、三〇八	四四・七
神奈川區	二三四	二四・八	一三、三九六	二八・〇	一七八、四二七、四一三	三九・八
中區	五一七	五四・九	九、六七五	二〇・一	三八、六八六、四一五	八・六
保土ヶ谷區	三〇	三・二	三、七五四	七・八	一五、六二五、八四七	三・四
磯子區	二六	二・八	一、七一〇	三・六	一五、六六三、三四三	三・五

3 工場數職工數及工産額

昭和十一年末現在に於ける使用職工五人以上の工場は九四二にして前年よりは二四三の増加である。職工數は四七、九四〇人にして前年よりは七、一五〇人増加であつて、内男工は三八、二五三人で約八割を占め残りの二割に當る九、六八七人が女工となつて居る。

次に工場數及職工數を事業別に觀るに、機械器具工業が首位に在り工場數は一六九にして全體の一八・〇%、職工數は二〇、〇四一人にして四一・八%を占めて居る。之以外の事業に在つては工場數と職工數とは並行せず、即ち工場數少くとも大工場が多い事業に在つては職工數が大となり工場數多くとも使用職工少き事業に在つては職工數が小となるからである。詳細は次表に依り明らかとなる。

事業別工場數及職工數 (昭和十一年末)

事業別	工場數	實數	百分比	總職數	男工	女工	百分比
總數	九四二	一〇〇〇	四七、九四〇	三八、二五三	九、六八七	一〇〇〇	
紡績工業	一五二	一六・一	六、四八四	二、〇六五	四、四一九	一三・五	
金屬工業	六一	六・五	六、八八二	六、六七九	二〇三	一四・四	
機械器具工業	一六九	一八・〇	二〇、〇四一	一八、七七一	一、三二四	四一・八	
窯業	一六	一・七	一、五七一	一、四六八	一〇三	三・三	
化學工業	七五	八・〇	四、七五三	四、二七七	四七六	九・九	

製材及木製品工業 七九 八・四 一、〇六五 九六五 一〇〇 二・二
 印刷及製本業 五五 五・八 六五七 六一二 四五 一・三
 食料品工業 一二八 一三・六 三、四八五 一、七四四 一、七四一 七・三
 瓦斯及電氣業 四 〇・四 三一五 三一二 三 〇・七
 其ノ他ノ工業 二〇三 二一・五 二、六八七 一、四一四 一、二七三 五・六

尙使用職工数の階級によつて工場数を觀れば、使用職工十人未満の工場数は四八五で全體の五一・五%を占め、十人以上十五人未満は一二〇工場(一二・七%)、十五人以上五十人未満は二二五工場(二三・九%)、五十人以上百人未満は四二工場(四・五%)、百人以上五百人未満は五三工場(五・六%)、五百人以上は僅かに一七工場(一・八%)にすぎない。

以上の工場に使用職工五人未満の工場を合すれば本市工場の約九割四分までが十人未満の工場となり、所謂中小工場の地位に在り、之等の工場を無視しては本市工業の現況を論ずることは出来ない。

使用職工數別工場比較

(一) 工場 數 (各年末)

事業別	總數		十人以上					
	昭和九年	昭和十年	十人未満	十人以上 十五人未満	十五人以上 五十人未満	五十人以上 百人未満	百人以上 五百人未満	五百人以上
總數	六四七	六九七	三三	四〇	二七	四	四	二
紡績工業	二〇三	二〇三	四	三〇	三五	四	四	二
絹織工業	二二五	二二五	三	六	二	二	一	一
金屬工業	四〇	四〇	三	二	三	二	一	一
昭和九年	六三	六三	三	二	三	二	一	一
昭和十年	四三	四三	三	二	三	二	一	一
昭和十一年	六三	六三	三	二	三	二	一	一

事業別	總數		十人以上					
	昭和九年	昭和十年	十人未満	十人以上 十五人未満	十五人以上 五十人未満	五十人以上 百人未満	百人以上 五百人未満	五百人以上
機械器具工業	二七	二七	一	一	一	一	一	一
窯業	三	三	一	一	一	一	一	一
化學工業	三	三	一	一	一	一	一	一
製材及木製品工業	三	三	一	一	一	一	一	一
印刷及製本業	三	三	一	一	一	一	一	一
食料品工業	九	九	一	一	一	一	一	一
瓦斯及電氣業	三	三	一	一	一	一	一	一
其ノ他ノ工業	三	三	一	一	一	一	一	一
昭和九年	二七	二七	一	一	一	一	一	一
昭和十年	二七	二七	一	一	一	一	一	一
昭和十一年	二七	二七	一	一	一	一	一	一

(二) 職工數 (各年末)

事業別	總數		十人未満		十人以上 十五人未満		十五人以上 五十人未満		五十人以上 百人未満		百人以上 五百人未満		五百人以上	
	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年
總數	二二,一八四	四〇,七〇〇	三,四三二	二〇,三三三	四,四〇〇	九,九三三	三,五五九	六,三七八	六,九七七	八,九四一	三,八三三	三〇,四四四	三,八三三	三〇,四四四
紡織工業	六,三三三	六,三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	一,〇〇六	一,〇〇六	七九	七九	一,三三三	一,三三三	二,九三三	二,九三三
縫紉工業	六,三三三	六,三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	一,〇〇六	一,〇〇六	七九	七九	一,三三三	一,三三三	二,九三三	二,九三三
金屬工業	三,六三三	三,六三三	三三三	三三三	三三三	三三三	一,〇〇六	一,〇〇六	七九	七九	一,三三三	一,三三三	二,九三三	二,九三三
機械器具工業	二,六三三	二,六三三	三三三	三三三	三三三	三三三	一,〇〇六	一,〇〇六	七九	七九	一,三三三	一,三三三	二,九三三	二,九三三
窯業	一,四〇〇	一,四〇〇	三三三	三三三	三三三	三三三	一,〇〇六	一,〇〇六	七九	七九	一,三三三	一,三三三	二,九三三	二,九三三
化學工業	三,八三三	三,八三三	三三三	三三三	三三三	三三三	一,〇〇六	一,〇〇六	七九	七九	一,三三三	一,三三三	二,九三三	二,九三三
製材及木製品工業	一,〇六五	一,〇六五	三三三	三三三	三三三	三三三	一,〇〇六	一,〇〇六	七九	七九	一,三三三	一,三三三	二,九三三	二,九三三

3 生産額

事業別	總數		十人未満		十人以上 十五人未満		十五人以上 五十人未満		五十人以上 百人未満		百人以上 五百人未満		五百人以上	
	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年	昭和九年	昭和十年
印刷及製本業	五三三	五三三	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
食品工業	二,五九九	二,五九九	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
瓦斯及電氣業	三三三	三三三	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
其ノ他ノ工業	一,六六一	一,六六一	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

昭和十一年に於ける使用職工五人以上の工場生産總額は四四八、八三一、三二六圓にして、之を前年の三七四、四〇九、八八〇圓に比較すれば七四、四二一、四四六圓の激増である。

之を事業別に觀れば機械器具工業の一六三、八四九、四五八圓が最高にして全體の三六・五%を占め、化學工業が一〇四、四八六、〇〇五圓(二三・三%)で之に次ぎ、之に續いて、金屬工業、六八、五八六、三八五圓(一五・三%)、食品工業四七、七三九、七〇四圓(一〇・六%)、窯業一七、六二八、九〇四圓(三・九%)、瓦斯及電氣業、一五、二二五、二二六圓(三・四%)、紡織工業、一四、八〇九、二九六圓(三・三%)、製材及木製品工業、四、一七八、八二三圓(一・〇%)、印刷及製本業、一、八六二、九七九圓(〇・四%)の順序となり、何れにも屬せざる其の他の工業は一〇、四七四、五四六圓で二・三%を占めて居る。

以上の如く機械器具工業、化學工業、金屬工業等の各部門は滿洲事變を一轉機として年々上昇し、昭和十一年に於ては上記の三部門は總生産額の七五・一%を占むるに至り、本市工業界の中樞を形成して居る。

事業別累年工産總額 (單位圓)

事業別	昭和十一年	昭和十年	昭和九年	昭和八年
總數	四八、八三、三六	三〇、〇〇	三〇、〇〇	二七、七二、三五
紡織工業	一四、八〇、三六	三、三三	一五、五〇、九八	二、九〇、五七
金屬工業	六、五六、三五	一、五三	四、四四、四七	三、七〇、八三
機械器具工業	一、三〇、八〇、四六	一、六五	一〇、九四、四七	三、〇五、一五
化學工業	一、〇四、〇六、〇五	三、九	一〇、〇〇、〇四	五、六八、五四
製材及木製品工業	四、一七、八三	三、三	六、七六、四四	五、四八、〇七
印刷及製本業	一、八三、九七	一、〇	三、九四、〇五	三、九五、五七
食品工業	四、七九、七四	〇、四	一、九三、五五	一、四七、五七
瓦斯及電氣業	一、二五、三六	一、〇六	四、五三、二六	三、七三、九七
其他ノ工業	一〇、四四、四六	三、四	三、八八、九八	九、八六、六六
其他ノ工業	三、三	三、三	三、八八、九八	六、六七、〇四

一、工場統計表

1 工場總覽

區別	工場原動機ノ有無	工場總數		職員		其他ノ從業員		生産額	
		總數	有無	總數	事務員	技術員	總數	男	女
總數	無	九四、七五	一、〇	五、〇〇〇	六、四四九	三、〇九九	四、九四〇	六、三三二	九、六六七
鶴見區	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
神奈川區	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
中區	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一

2 産業別工場數及從業員數

産業別	工場數	從業員		其他ノ從業員		職工一日實收賃銀		生産額	
		總數	男	女	總數	男	女	男	女
總數	九四、七五	六、四四九	五、九二九	五、〇〇〇	六、三三二	三、二一	二、八八九	四八、八三、三六	三、三
紡織工業	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
金屬工業	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
機械器具	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
化學工業	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
製材及木製品	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
印刷及製本業	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
食品工業	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
瓦斯及電氣業	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一
其他ノ工業	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一	一、一

3 職工數別工場數職工數及生産額

産業別	工場數	總數		生産額		一〇人未滿		一〇人一四人	
		男	女	男	女	男	女	男	女
總數	九四、七五	六、四四九	五、九二九	四八、八三、三六	三、三	一、〇、〇三、六四	二、九	一、〇、五	四、五三、九八

産業別	工場数	15歳以下		16才未満		16才以上		其他ノ従業員
		男	女	男	女	男	女	
紡織工業	15	2,141	4,494	1,489	5,966	5,617	3	15
金屬工業	26	6,669	2,033	6,766	2,551	4,215	7	10
機械器具工業	19	1,877	1,334	2,699	4,033	4,030	3	1
窯業	6	1,446	1,033	2,768	4,040	1,440	1	1
化學工業	5	4,377	4,461	2,046	2,073	5,419	9	1
製材及木製品工業	7	6,551	1,000	4,178	2,033	5,211	9	1
印刷業	5	6,331	1,452	1,639	1,691	3,330	9	1
食料工業	18	1,744	1,741	4,774	3,548	3,558	4	1
瓦斯業	4	333	3	2,525	3,261	3,558	4	1
電氣業	4	333	3	2,525	3,261	3,558	4	1
其他ノ工業	203	1,444	1,733	10,444	5,661	2,721	5	1
總計	158	15,819	30,819	50,819	99,819	100,819	1	1

4 年齢別職工數

産業別	工場数	16才未満		16才以上		其他ノ従業員
		男	女	男	女	
紡織工業	15	2,141	4,494	5,617	3	15
金屬工業	26	6,669	2,033	4,215	7	10
機械器具工業	19	1,877	1,334	4,033	3	1
窯業	6	1,446	1,033	2,768	4,040	1,440
化學工業	5	4,377	4,461	2,046	2,073	5,419
製材及木製品工業	7	6,551	1,000	2,033	5,211	9
印刷業	5	6,331	1,452	1,691	3,330	9
食料工業	18	1,744	1,741	3,548	3,558	4
瓦斯業	4	333	3	3,261	3,558	4
電氣業	4	333	3	3,261	3,558	4
其他ノ工業	203	1,444	1,733	10,444	5,661	2,721
總計	248	24,777	37,018	51,777	44,333	86,110

5 工場使用原動機

産業別	工場数	原動機		電力		蒸汽		其他	
		数	有	数	力	数	力	数	力
紡織工業	15	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
金屬工業	26	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
機械器具工業	19	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
窯業	6	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
化學工業	5	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
製材及木製品工業	7	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
印刷業	5	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
食料工業	18	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
瓦斯業	4	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
電氣業	4	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
其他ノ工業	203	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1
總計	248	9,917	777	14,555	1,975	14,949	3,667	4	1

産業別	石炭		石油		薪		木炭		電力及瓦斯	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
紡織工業	一、五	七、四五	一、五	四、八二	一、五	六	一、五	一、五	一、五	一、五
金屬工業	一、五	一、〇三	一、五	一、〇三	一、五	一、〇三	一、五	一、五	一、五	一、五
機械器具工業	一、五	七、四三	一、五	七、〇三	一、五	六、八六	一、五	一、五	一、五	一、五
化學工業	一、五	五、五	一、五	五、〇	一、五	四	一、五	一、五	一、五	一、五
製材及木製品工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
印刷及製本業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
食品工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
瓦斯及電氣業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
其他ノ工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五

6 工場使用燃料及動力

産業別	石炭		石油		薪		木炭		電力及瓦斯	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
紡織工業	一、五	七、四五	一、五	四、八二	一、五	六	一、五	一、五	一、五	一、五
金屬工業	一、五	一、〇三	一、五	一、〇三	一、五	一、〇三	一、五	一、五	一、五	一、五
機械器具工業	一、五	七、四三	一、五	七、〇三	一、五	六、八六	一、五	一、五	一、五	一、五
化學工業	一、五	五、五	一、五	五、〇	一、五	四	一、五	一、五	一、五	一、五
製材及木製品工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
印刷及製本業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
食品工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
瓦斯及電氣業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五
其他ノ工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五

7 工業總額

産業別	總		鶴見區		神奈川區		中區		保土ヶ谷區		磯子區	
	工場數	生産額	工場數	生産額	工場數	生産額	工場數	生産額	工場數	生産額	工場數	生産額
紡織工業	一、五	七、四五	一、五	四、八二	一、五	六	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
金屬工業	一、五	一、〇三	一、五	一、〇三	一、五	一、〇三	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
機械器具工業	一、五	七、四三	一、五	七、〇三	一、五	六、八六	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
化學工業	一、五	五、五	一、五	五、〇	一、五	四	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
製材及木製品工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
印刷及製本業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
食品工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
瓦斯及電氣業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
其他ノ工業	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	二、三三	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五

第五章 金融

一、銀行

1 概説

我國銀行業は、爲替會社より明治五年の國立銀行條例により國立銀行になつて以來のことにして、當時は第二橫濱國立銀行外三行で何れも預金少く紙幣發行によつて、資金調達を行ふ有様であつた。其の後、明治九年條例改正あり年々増加し、明治十五年には、一四三行となり、國立銀行全盛時代を出現した。

然共舊年日本銀行條例の制定を見ると同時に、翌十六年には國立銀行條例の大改正あり發券權の統一方策を樹てることゝなつた。國立銀行は既定の條例により定めた發券權の存續期間二十年を限り、發券を認め、其の後は、普通銀行として營業することゝした。明治二十九年には營業滿期國立銀行處分法案が議會に提出せられて明治三十二年二月迄國立銀行紙幣の通用期間を認めた、其の後存續するものは普通銀行となつた。

私立銀行は明治十二年頃既に國立銀行の新設禁止に出た頃から、設立機運起り十五年の發券權の統一に當り一層其傾向多くなり。二十三年の商法の施行と共に、商事に關する法規完成は刺激を受けて、私立銀行のみならず類似業が簇出した。然るに明治二十六年七月銀行條例が實施せられて私立銀行に關する法規完全して類似業の會社も銀行業務に移り、政府の嚴重なる監督の下に、預金貸付割引爲替業務を取扱つた。其の後、二十九年の國立銀行處分法案の議會提出に刺激を受け、益々普通銀行の設立顯著となつた。

我橫濱市に於ても、銀行條例制定前のもは東洋銀行、七十四銀行、橫濱正金銀行、橫濱貯蓄銀行、橫濱銀行、金叶貯蓄銀行等あつたが、條例制定公布國立銀行處分法案に刺激を受け、設立したものの第二銀行、農工銀行、内外銀行の設立は、僅か二年の間に六行に及んで居る。

其の他支店を開店するものありて、本市金融界も稍整頓し日清戰役に於ける我が國債金の保有を適正に運用したると、三十年の金本位制採用、日露戰爭の外債の募集等は、大いに銀行の國際化を來し、更に貿易關係業者の利用年々歳々多く、銀行業の機能充分に發揮するを得た。偶々、歐洲大戰に入るや、大正九年迄一般經濟界の好況に依つて、業務の發展目醒しきものあ

り、將に普通銀行の黄金時代を出現した。然るに、大正九年の反動景氣は各方面に破綻を見るに至つて、本市銀行中破綻を來すものを生じ、或は貸付の固定回収不能に陥るものあり、爲に危機に直面して金融界の動搖甚しきものがあつた。其の後、大正十一年の恐慌新貯蓄銀行法の實施、大正十二年の震災に遭遇して、銀行救助に關する勅令の發動となり、或は又一面從來政府の公債政策に對しての飛躍より、大正十三年行財政整理の斷行を見るに至つて、金融界の安定を幸じて保ちたるも、昭和二年再度の金融恐慌に直面し、左右田銀行の休業となつて居る。茲に於て、支拂猶豫令の發動、日本銀行の非常貸付による損失補償並に毫銀に對する特別融通の爲、日本銀行特別融通及損失補償法の發動、銀行法案の改正などあつて極めて危急を告げた。

政府は又昭和三年新銀行法により資本金最少限度を高め或は合同の獎勵を圖り、昭和二年に於て市内本店を有するもの十五行が昭和六年に於て七行に半減し、市内支店を有するもの同二年に於て四十七行が、同六年に於て四十八行なるも市外支店に於ては七十六行が六十三行に減じて居る、預金高に於ては同二年三十二億八千四百萬圓、貸付金十五億五千八百萬圓、同六年に於ては預金高二十五億四千萬圓貸付に於ては、九億三千二百萬圓に激減して居る。

更に昭和十一年中に於ける狀況を視るに、行數に於ては、昭和十年四十七行に比し二行の減少となり、預金高に於ては、一二六五、五九六、一五八圓の増加となり、貸出額に於ては、三一四、六八一、九六二圓の増加を示して居る、回収に於ても、二四四、二二五、八〇三圓の増となつて何れも財界の好轉しつゝあるを物語るものと思料せらる。

2 統計表

1、銀行本支店數及資本金 (資本金諸積立金額ハ市内ニ本店ヲ有スルモノノミニヨル) (昭和十一年)

種別	本支店數		資本金		
	本店	支店	公稱資本金	拂込資本金	諸積立金
特殊銀行	4	2	100,000,000	100,000,000	15,161,000
横濱正金銀行	1	1	100,000,000	100,000,000	130,240,000
神奈川縣農工銀行	2	1	50,000,000	50,000,000	4,261,000

種別	本支店數		資本金		
	本店	支店	公稱資本金	拂込資本金	諸積立金
普通銀行	3	3	6,100,000	3,600,000	943,290
普通銀行	2	1	1,000,000	50,000	5,000
合計	5	6	11,100,000	108,550,000	1,851,280
昭和七年	5	6	11,100,000	108,550,000	1,851,280
昭和八年	5	6	11,100,000	108,550,000	1,851,280
昭和九年	5	6	11,100,000	108,550,000	1,851,280
昭和十年	5	6	11,100,000	108,550,000	1,851,280
昭和十一年	5	6	11,100,000	108,550,000	1,851,280

種別	本支店數		資本金		
	本店	支店	公稱資本金	拂込資本金	諸積立金
特殊銀行	1	1	15,000,000	13,150,000	5,100,000
普通銀行	3	3	6,100,000	3,600,000	943,290
普通銀行	2	1	1,000,000	50,000	5,000
合計	6	5	22,100,000	17,350,000	10,043,290
昭和七年	6	5	22,100,000	17,350,000	10,043,290
昭和八年	6	5	22,100,000	17,350,000	10,043,290
昭和九年	6	5	22,100,000	17,350,000	10,043,290
昭和十年	6	5	22,100,000	17,350,000	10,043,290
昭和十一年	6	5	22,100,000	17,350,000	10,043,290

種別	種別	特別(又ハ小口)當座預金		普通預金		其他預金	
		預り高	拂戻高	預り高	拂戻高	預り高	拂戻高
合 計	合 計	一五,五七,七七一	一八,四〇,八七九	三,五〇,三三〇	三,五〇,三三〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和十年	昭和十年	八,五〇,三三〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和九年	昭和九年	九,〇〇,〇〇〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和八年	昭和八年	九,〇〇,〇〇〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和七年	昭和七年	九,〇〇,〇〇〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
普通銀行	普通銀行	一六,八六,九六一	一六,八六,九六一	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
貯蓄銀行	貯蓄銀行	九,〇〇,〇〇〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
特殊銀行	特殊銀行	九,〇〇,〇〇〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
普通銀行	普通銀行	六,六八,六六六	六,六八,六六六	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
貯蓄銀行	貯蓄銀行	九,〇〇,〇〇〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
特殊銀行	特殊銀行	九,〇〇,〇〇〇	九,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
合 計	合 計	一六,八六,六六六	一六,八六,六六六	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和十年	昭和十年	一六,八六,六六六	一六,八六,六六六	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和九年	昭和九年	一六,八六,六六六	一六,八六,六六六	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和八年	昭和八年	一六,八六,六六六	一六,八六,六六六	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇
昭和七年	昭和七年	一六,八六,六六六	一六,八六,六六六	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇

ハ、普通貯金金額別 (昭和十一年)

年次	總 額		五十圓未満		五十圓以上		百圓以上		五百圓以上		千圓以上	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
昭和十一年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和十年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和九年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和八年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和七年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

ニ、据置貯金金額別 (年末現在)

年次	總 額		五十圓未満		五十圓以上		百圓以上		五百圓以上		千圓以上	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
昭和十一年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和十年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和九年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和八年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和七年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,八〇〇	一,八〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

ホ、据置貯金拂戻期間別 (年末現在)

年次	總 額		五年以上		三年以上五年未満		三年未満	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
昭和十一年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和十年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
昭和九年	一三,一八七	一,九四五,四四五	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

昭和八年 一三、四三三 一六、七二、七八
昭和七年 一〇、三三三 一三、七三三

定期積金給付期間別 (年末現在)

年次	總額		五年以上		三年以上五年未滿		三年未滿	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
昭和十一年	五、六三三	七九、七九六	一、〇九九	一四、九八〇	一、〇九九	一四、九八〇	一、〇九九	一四、九八〇
昭和十年	六、三九五	八三、五三三	一、五九七	一八、〇三三	一、五九七	一八、〇三三	一、五九七	一八、〇三三
昭和九年	六、六一一	八〇、九八七	一、八二二	一八、八三三	一、八二二	一八、八三三	一、八二二	一八、八三三
昭和八年	五、三三三	七三、五五五	一、三三三	一五、三三三	一、三三三	一五、三三三	一、三三三	一五、三三三
昭和七年	四、六六六	六六、六六六	一、六六六	一六、六六六	一、六六六	一六、六六六	一、六六六	一六、六六六

定期積金給付金額別 (年末現在)

年次	總額		百圓以上五百圓未滿		五百圓以上千圓未滿		千圓以上	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
昭和十一年	一、七三三	三〇、九七六	一、三三三	一八、九八〇	一、三三三	一八、九八〇	一、〇六六	一二、〇〇〇
昭和十年	一、七三三	三〇、九七六	一、三三三	一八、九八〇	一、三三三	一八、九八〇	一、〇六六	一二、〇〇〇
昭和九年	一、七三三	三〇、九七六	一、三三三	一八、九八〇	一、三三三	一八、九八〇	一、〇六六	一二、〇〇〇
昭和八年	一、七三三	三〇、九七六	一、三三三	一八、九八〇	一、三三三	一八、九八〇	一、〇六六	一二、〇〇〇
昭和七年	一、七三三	三〇、九七六	一、三三三	一八、九八〇	一、三三三	一八、九八〇	一、〇六六	一二、〇〇〇

特殊及普通銀行貸付金 (昭和十一年)

種別	總額		手形		證券		貸付	
	貸付高	回收高	現在高	年末高	現在高	年末高	現在高	年末高
昭和十一年	一八、〇三三	三三、二七、四三八	一、三四三、一四八	三三、九七七	三、八八〇、三二七	五、六九七、七三三	三〇、〇〇〇	一四、〇七、三〇一
昭和九年	一七、一六六	三三、九三、五〇五	一、〇四六、〇三三	三三、八八〇	二、一六九、九三三	四、九三三、六六五	一八、三三三	三、九三三、八八八
昭和八年	一五、二九八	三二、六九、五三三	九三三、七五五	三二、七三三	二、一五五、七三三	四、三三三、四三三	一七、九三三	三、六六六、六六六
昭和七年	一三、〇七七	三〇、八七、六三三	七三三、六三三	三二、四三三	一、九三三、七三三	四、一三三、四三三	一七、三三三	三、三三三、三三三

種別	總額		手形		證券		貸付	
	貸付高	回收高	現在高	年末高	現在高	年末高	現在高	年末高
特殊銀行	三〇、七五五	一七、四三三	七、九三三	三二、三三三	一、三三三、三三三	三、三三三、三三三	一、三三三、三三三	三、三三三、三三三
普通銀行	九三、〇四八	九三、〇四八	九三、〇四八	九三、〇四八	九三、〇四八	九三、〇四八	九三、〇四八	九三、〇四八
合計	一二三、八〇三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一二三、八〇三	一一〇、四七三	一二三、八〇三	一一〇、四七三	一二三、八〇三
昭和十一年	七九、三六六	六六、六六六	六六、六六六	七九、三六六	六六、六六六	六六、六六六	七九、三六六	六六、六六六
昭和九年	九〇、三三三	七七、七三三	七七、七三三	九〇、三三三	七七、七三三	七七、七三三	九〇、三三三	七七、七三三
昭和八年	九三、〇四八	八〇、〇四八	八〇、〇四八	九三、〇四八	八〇、〇四八	八〇、〇四八	九三、〇四八	八〇、〇四八
昭和七年	八七、三三三	七四、三三三	七四、三三三	八七、三三三	七四、三三三	七四、三三三	八七、三三三	七四、三三三
普通銀行	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三
特殊銀行	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三	一一〇、四七三
合計	二二〇、九四六	二二〇、九四六	二二〇、九四六	二二〇、九四六	二二〇、九四六	二二〇、九四六	二二〇、九四六	二二〇、九四六
昭和十一年	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三
昭和九年	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三
昭和八年	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三
昭和七年	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三	一〇、三三三

リ、特殊及普通銀行貸付金擔保別（昭和十一年）

種別	種別	總額									
		內外國債證券		地方債證券		社債及株券		商		他	
		評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高
特殊銀行	特殊銀行	五九八、八〇〇	二五、一五〇、二九	三〇、二四	一元、六七〇	二、九七、九七	一、二七、二四	三、五〇、四四	七、六五		
普通銀行	普通銀行	一六三、〇九四	八四、三三、六二	一、八五、四七	四、〇〇〇	三、五〇	二、九七、九七	三、五〇、四四	三、四九、七八		
合計	合計	一三、三〇九、五五四	一九、五三、八一〇	四、三五四、七三	一、五三、八八	四、〇〇〇	三、五〇	四、〇〇〇	三、六四、七五	三、五三、四三	二、五九、六九
昭和十年	昭和十年	二四、三〇、七〇	一七、八八、七四	八、九一、九四	六、三三〇	三、五〇	四、九七、四八	三、六四、七五	二、五三、四三		
昭和九年	昭和九年	一〇六、二二、三〇	二〇、〇〇、三〇	六、三三、七三	一、三三、九〇	五、〇〇〇	三、三〇	四、九七、四八	三、六四、七五	二、五三、四三	二、五九、六九
昭和八年	昭和八年	一五、八六、四〇	三九、七六、三〇	一、〇七、八七	七、三三	五、五〇、八三	四、三三	三、五〇、四八	三、六四、七五	二、五三、四三	二、五九、六九
昭和七年	昭和七年	一三、〇三、〇三	一五、六九、八四	二、二六、五九	一、三六、〇八	二、六六六	一、二六、五九	二、六六六	二、六六六	二、六六六	二、六六六
特殊銀行	特殊銀行	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額
普通銀行	普通銀行	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額	貸付高	評價額
合計	合計	一、二四、三三	四、〇六	元、二五、三	三、四、五	四、〇六	三、〇〇、三	一、三、〇〇、三			
昭和十年	昭和十年	七、六四、五八	一八、三三、三六	三、三三、四一	三、八〇、元七	一、六四、四七	三、三九、三六	二、九三、三五	八、二三、七〇	八、二三、七〇	八、二三、七〇
昭和九年	昭和九年	八、八七、九九	一八、三〇、三三	五、二四、七三	三、〇四、九五	六、三三、〇三	三、八〇、元七	四、九八、九三	八、一四、九九	八、二三、七〇	八、二三、七〇
昭和八年	昭和八年	九、九〇、三〇	一六、三三、三五	五、八七、二五	三、六七、一五	五、七八、二六	三、八〇、元七	六、九七、三三	七、四〇、八四	八、四九、七三	八、四九、七三
昭和七年	昭和七年	一八、六九、五三	一四、三三、七五	一六、六〇、四三	一六、一六、三三	四、九七、四一	一四、七三、九四	三、三九、五〇	三、三九、五〇	三、三九、五〇	三、三九、五〇
特殊銀行	特殊銀行	一八、六九、五三	一九、〇五、〇三	六、〇九、七五	二、三三、三三	五、五〇、八三	六、〇九、七五	六、〇九、七五	六、〇九、七五	六、〇九、七五	六、〇九、七五
普通銀行	普通銀行	三、〇六、六七	二、四四、三三	二、四四、三三	五、六六、四〇	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七
合計	合計	二、一四、三三	四、〇六	元、二五、三	三、四、五	四、〇六	三、〇〇、三	一、三、〇〇、三			
昭和十年	昭和十年	七、六四、五八	一八、三三、三六	三、三三、四一	三、八〇、元七	一、六四、四七	三、三九、三六	二、九三、三五	八、二三、七〇	八、二三、七〇	八、二三、七〇
昭和九年	昭和九年	八、八七、九九	一八、三〇、三三	五、二四、七三	三、〇四、九五	六、三三、〇三	三、八〇、元七	四、九八、九三	八、一四、九九	八、二三、七〇	八、二三、七〇
昭和八年	昭和八年	九、九〇、三〇	一六、三三、三五	五、八七、二五	三、六七、一五	五、七八、二六	三、八〇、元七	六、九七、三三	七、四〇、八四	八、四九、七三	八、四九、七三
昭和七年	昭和七年	一八、六九、五三	一四、三三、七五	一六、六〇、四三	一六、一六、三三	四、九七、四一	一四、七三、九四	三、三九、五〇	三、三九、五〇	三、三九、五〇	三、三九、五〇
特殊銀行	特殊銀行	一八、六九、五三	一九、〇五、〇三	六、〇九、七五	二、三三、三三	五、五〇、八三	六、〇九、七五	六、〇九、七五	六、〇九、七五	六、〇九、七五	六、〇九、七五
普通銀行	普通銀行	三、〇六、六七	二、四四、三三	二、四四、三三	五、六六、四〇	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七	一、四五、五七
合計	合計	二、一四、三三	四、〇六	元、二五、三	三、四、五	四、〇六	三、〇〇、三	一、三、〇〇、三			

又、割引手形（昭和十一年）

種別	種別	總額
割引高	決済高	現在高
普通銀行	普通銀行	八六五、八〇〇
合計	合計	七九一、一七二
昭和十年	昭和十年	二〇七、三三三
昭和九年	昭和九年	一五九、六四四
昭和八年	昭和八年	一三六、七〇七
昭和七年	昭和七年	八七、四二二

ル、貯蓄銀行貸付金（昭和十一年）

種別	總額				國債其他有價證券擔保貸付金				不動産擔當貸付金			
	貸付高	回收高	現在高	年末	貸付高	回收高	現在高	年末	貸付高	回收高	現在高	年末
貯蓄銀行	一〇、九三、五八	二、〇四、四三	七、三三、七〇	三、三九、七八	二、三三、六九	六、三三、六九	二、三三、六九	二、三三、六九	二、三三、六九	二、三三、六九	二、三三、六九	二、三三、六九
昭和十年	一六、三、四五	一五、一八、二九	一〇、四三、七四	三、〇〇、五五	二、七四、三五	六、六四、三三	二、七四、三五	二、七四、三五	二、七四、三五	二、七四、三五	二、七四、三五	二、七四、三五
昭和九年	一五、〇六、七五	一四、五九、三三	一〇、六九、九五	三、七〇、三八	三、三五、七四	七、五九、九二	三、三五、七四	三、三五、七四	三、三五、七四	三、三五、七四	三、三五、七四	三、三五、七四
昭和八年	一三、六八、〇〇	一四、〇七、九二	一〇、四三、〇三	一、四三、九〇	一、二四、三五	五、四〇、〇〇	一、二四、三五	一、二四、三五	一、二四、三五	一、二四、三五	一、二四、三五	一、二四、三五
昭和七年	一三、八三、七六	一六、八七、四四	二、四〇、六六	一、五三、七五	三、三三、三三	八、八八、六八	三、三三、三三	三、三三、三三	三、三三、三三	三、三三、三三	三、三三、三三	三、三三、三三
貯蓄銀行	貸付高	回收高	現在高	年末	貸付高	回收高	現在高	年末	貸付高	回收高	現在高	年末
昭和十年	三、四七、八八	二、三九、七〇	五、六、四三	五、八七、二〇	六、二九、三三	五、四七、七六	六、二九、三三	五、四七、七六	六、二九、三三	五、四七、七六	六、二九、三三	五、四七、七六
昭和九年	三、五九、三九	三、〇九、八四	七、〇、五一	九、四七、三九	九、〇二、三〇	八、三三、四八	九、〇二、三〇	八、三三、四八	九、〇二、三〇	八、三三、四八	九、〇二、三〇	八、三三、四八
昭和八年	三、二五、〇三	二、一六、四三	七、九、九四	八、三〇、九六	八、〇五、二九	八、三三、四八	八、〇五、二九	八、三三、四八	八、〇五、二九	八、三三、四八	八、〇五、二九	八、三三、四八
昭和七年	二、三三、八〇	二、二九、三三	六、五、七三	八、五、五〇	一〇、〇五、五六	八、三三、四八	八、五、五〇	八、三三、四八	八、五、五〇	八、三三、四八	八、五、五〇	八、三三、四八

二、無盡會社

1 概 説

こゝに所謂無盡會社とは、大正四年制定され、昭利六年四月改正の上同年七月施行されたる無盡業法による、株式會社組織の營業無盡をいふ。

無盡を沿革的にみれば、印度の原始佛教によるといひ、支那より渡來したとも傳へられてゐる。我國に於ては既に六百六十年前の鎌倉時代に行はれてゐたことは文献にもみえてをり、敬神崇佛、相互扶助、共存共榮の目的のためにされてゐた、室町時代には關西に廣く行はれてをり徳川時代を経て明治に入り、明治三十四年頃から營業無盡も行はれることとなり、共榮貯金合資會社(明治三十四年設立)を以て嚆矢とする、併し無盡の悪用或は經營上の不備乃至は競争よりして加入者の被害多く漸くその信用を失墜するの傾向となり、之が取締のため大正四年無盡業法の制定をみ、設立には大藏大臣の免許を要し、取締役は無盡契約前會社の債務につき無限責任を負ふことになつた、この間の事情は、大正三年末の業者數八三一一名に對し、制定後の大正五年末一三六、契約高四千五百七十七萬四千餘圓なる事實より推して知りうるのである。

昭和十年には業者數二百七十餘、資本金三千八百三十四萬餘圓となつてゐる、試みに昭和十年上期末現在についてみれば加入口數二十一萬一千九百七十六口、給付金契約高十三億五千三十三萬圓、掛金契約高十四億一千八百四十八萬圓、掛金受入高六億八千三百二十六萬圓、總融通高六億、五百三十三萬圓(内譯無盡金支拂高五億五千六百六十三萬圓、諸貸付高五千三百七十萬圓)なる數を示してゐる、蓋し薄資にして抵當物なき庶民の金融機關としては極めて至便なるためである、その運用宜しきを得ば益進展すべき傾向にありといひうるであらう。

無盡業法にすれば、無盡業は大藏大臣の免許を要し、資本金三萬圓以上拂込金額一萬五千圓以上の株式會社に非ざれば之を營むことを得ざること、その他他業兼營の禁止、營業區域の限定、資金運用上の制限、その他經營に關する多くの監督規定がある。

本市の無盡會社は昭和七年に於ては、本店のみにも七社ありしものが、現在金港無盡株式會社(明治四四年設立)愛國無

盡株式會社(大正九年設立)明和無盡株式會社(昭和三年設立)の三を數へるのみにして、公稱資本金三五〇、〇〇〇圓拂込資本金二二〇、〇〇〇圓諸積立金一四六、三五〇圓となつてゐる、組數は五五〇組、口數一八、七九七口にして、給付金契約高總額一三、一三八、五〇〇圓、その中給付済高五、三五四、一〇〇圓、給付未済高七、七八四、四〇〇圓となつており、掛金契約高總額は一四、四九八、五九六圓、その中受入済高六、〇四八、二七一圓、受入未済高八、四五〇、三二五圓なる數を示してゐる。

2 無盡會社數及資本金 (昭和十一年末現在)

年次	本店		支店		公稱資本金		拂込資本金		諸積立金		
	總數	口數	總數	口數	總數	口數	總數	口數	總數	口數	
昭和十一年	三	三	一	一	三五〇、〇〇〇	一	二二〇、〇〇〇	一	一四六、三五〇	一	一八三、七五〇
昭和十年	三	三	一	一	三五〇、〇〇〇	一	二七五、〇〇〇	一	一八三、七五〇	一	一二三、〇五〇
昭和九年	四	四	一	一	四一〇、〇〇〇	一	二七六、六五〇	一	一〇六、〇五〇	一	九四、二〇〇
昭和八年	四	四	一	一	四一〇、〇〇〇	一	二二五、〇〇〇	一	九四、二〇〇	一	九四、二〇〇
昭和七年	一〇	七	三	三	四一〇、〇〇〇	三	二二五、〇〇〇	三	九四、二〇〇	三	九四、二〇〇
昭和六年	九	七	二	二	七四五、〇〇〇	二	三九一、二五〇	二	九二、〇一一	二	九二、〇一一

3 市内無盡會社無盡契約狀況 (昭和十一年末現在)

年次	會社數	口數	給付金契約高		掛金契約高		受入済高		受入未済高	
			總額	給付済高	總額	給付未済高	總額	給付済高	總額	給付未済高
昭和十一年	五五〇	一八、七九七	三、二二五、五〇〇	五、三五四、一〇〇	七、七八四、四〇〇	七、七八四、四〇〇	一、四四六、五九六	六、〇四八、二七一	八、四九八、五九六	八、四九八、五九六
昭和十年	五五〇	一八、七九七	三、二二五、五〇〇	五、三五四、一〇〇	七、七八四、四〇〇	七、七八四、四〇〇	一、四四六、五九六	六、〇四八、二七一	八、四九八、五九六	八、四九八、五九六
昭和九年	五五〇	一八、七九七	三、二二五、五〇〇	五、三五四、一〇〇	七、七八四、四〇〇	七、七八四、四〇〇	一、四四六、五九六	六、〇四八、二七一	八、四九八、五九六	八、四九八、五九六
昭和八年	五五〇	一八、七九七	三、二二五、五〇〇	五、三五四、一〇〇	七、七八四、四〇〇	七、七八四、四〇〇	一、四四六、五九六	六、〇四八、二七一	八、四九八、五九六	八、四九八、五九六
昭和七年	五五〇	一八、七九七	三、二二五、五〇〇	五、三五四、一〇〇	七、七八四、四〇〇	七、七八四、四〇〇	一、四四六、五九六	六、〇四八、二七一	八、四九八、五九六	八、四九八、五九六
昭和六年	五五〇	一八、七九七	三、二二五、五〇〇	五、三五四、一〇〇	七、七八四、四〇〇	七、七八四、四〇〇	一、四四六、五九六	六、〇四八、二七一	八、四九八、五九六	八、四九八、五九六

三、質屋

1 概説

我が國に於ける質制度は今より約千三百年以前に行はれて居たと謂ふ。質制度が質屋營業として其の機能を發揮し、所謂庶民金融機關として發達を見たのは、鎌倉幕府時代以後のことである。其の後戰國時代の戰亂に依り、一時衰微の傾向を辿つて居つたが、徳川幕府の時代に入るや、諸國平定するに及び再び復興し、其の制度も稍整ひ、質屋なる名稱も當時から用ひられたと謂はれて居る。然るに明治維新後は、舊來の諸制度に對する再檢討、改革を見ること頗る多く、質屋に關する制度も幾多の改制を見るに及んだ。

即ち明治の御代となるや、太政官布告の條例及び各地方には取締に關する規則も設けられ、更に明治二十八年三月法律第十四號を以て現行法たる質屋取締法が公布せられ、同年五月之が實施せられて舊來の制度の變革を觀るに至つた。爾後數次の改正を経て遂に今日に及んで居る。歐洲大戰後の社會情勢は經濟界の激動に伴ひ、質屋も所謂金融機關たる以外に貧民救済的施設として重要なるに鑑み、市民の爲め低利を以て確實に金融を爲し、其の生活逼迫に對する苦痛を軽減せんと市費を以て大正十一年七月申村町に公益質舖を開設し、相當成績を挙げ來つたが、大正十二年九月の震災に依り、市内質屋の大部分が燒失せる結果は罹災市民の金融の途は絶え、市民の困窮甚しき現狀を痛感し、前記申村町外五箇所に増設し更に民營質屋の復活容易に拂らざるにより六箇所に擴大増設し小資本營業者及小額收入者の間に多く利用せられ、金融機關として民間質屋と俱に一般大衆の便益を齎して居る。

今本市の質屋數を見れば、昭和十一年末現在に於て質屋數は一六四店であるが、其の内譯は民間質屋一五二店中で公益質屋は一三店(市營のもの二、曹洞宗鶴見總持寺社會事業部經營のもの一)で前年同期に比れば、營利質屋は三店を減じて居る。而して之が世帯數及人口に對する關係を見ると、一質店當りの世帯數は九五〇世帯、人口は四五〇二人に當つて居る。又質屋の分布狀態を觀ると、中區一一六店で全體の(七一%)を占めて居る。神奈川區が二五店で(一六%)を示して之に次ぎ、鶴見區一三店(九%)、保土ヶ谷區五店(二%)、磯子區五店(二%)の順序になつて居る。

昭和十一年中の事業概要を見ると、新規貸付高は口數六三八、九一九口、金額は三、八六五、一六九圓で一口當りの金額は六圓〇四錢に該つて居る。更に受戻高は口數五四九、四九二口、金額三、四九一、三四八圓で一口當り六圓三五錢を示して居る。

流し高は口數六五、一九七口、金額は三三三、五八二圓で一口平均金額は五圓十錢に當つて居る。

述上は横濱市内の昭和十一年に於け新規貸出受戻流し質等であるが、昭和十一年末現在に於て残存せる質物は、口數二二七、六七七口、金額九五一、二二四圓で之を一質店當りを觀ると口數一三八八、金額五、七九九圓となつて居り一口當り平均金額四圓一八錢となつて居る。

以上は公益質屋及營利質屋を含めたものであるが、公益質屋のみに就て之を觀ると、分布狀態は中區八、鶴見區一、神奈川區三、磯子區一の合計二三箇所である。

新規貸出高口數一五二、八二九口金額七一〇、一〇九圓、一口平均金額四圓六四錢を示し受戻高は口數一五一、二二二口、金額七〇四、四八九圓で一口當り平均四圓六五錢になつて居る。

流し高四、三五八口之が金額は一六、〇四八圓一口當り平均三圓七〇に該つて居る。

以下左表を参照せられ度し。

2 質屋及質物 (昭和十一年十二月末現在)

區別	店數	年末現在		貸出		受戻		流		質		徴收其ノ他	
		口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
總數	二四	三七、六七	五、二四、七〇	二六、九三	五、〇九、〇二	五、九三	三、四九、三三	四、一七	三、三三、五五	六、九〇	五、二八、〇〇		
鶴見區	三	一七、五三	三、三三、五五	七、九六	五、〇一、〇二	四、九三	三、〇六、三三	六、三三	三、七五、六六	二、五	八、五五		
神奈川區	五	三、八五	一、七、八三	一、五五	七、三三、六五	一、六六	六、三三、三三	一、〇九	五、〇〇、五五	九	七、五三		
中區	二六	一六、四七	四、八、三三	一四、四二	四、八、四九	一、六六	三、三三、三三	三、三七	三、五、四四	四三	三、四三、五〇		
保土ヶ谷區	五	六、九三	一、九、九三	三、八五	一、三、五三、六六	一、八四	一、三、五三、六六	一、四七	一、〇、四〇、一九	四	三、八三		
磯子區	五	四、三六	八、七、七四	一、四〇	三、七、七四	六、九五	六、五九、六六	一、〇五	九、三、一六	〇	五、七三		

3 公益質鋪 (市營質鋪)

及實 總鋪 數名	年 末 現 在 高	貸付		受戻		流		徵收其ノ他	
		口 數	金 額	口 數	金 額	口 數	金 額	口 數	金 額
總數	七〇,七四〇	三,三七〇	一五,八八〇	七〇,〇九〇	一五,二二三	七四,四九〇	四,三二一	一六,〇四七	二
中 村 町	四,三七七	三〇,六六〇	二,一五〇	二,三五五	二,三五五	五〇,二九〇	三,八八一	一,六〇〇	一
西 戸 部 町	四,七五五	三〇,三三〇	三,五三三	三,四三三	三,三〇〇	五,七九七	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一
北 方 町	五,三三三	二〇,四四五	二,五九〇	二,五九〇	二,五九〇	四,七〇〇	一,六〇〇	一,六〇〇	一
青 木 町	五,四四四	二〇,四四五	二,五九〇	二,五九〇	二,五九〇	四,七〇〇	一,六〇〇	一,六〇〇	一
山 下 町	四,五七七	二〇,四四五	二,五九〇	二,五九〇	二,五九〇	四,七〇〇	一,六〇〇	一,六〇〇	一
小 松 原 町	三,三七一	一五,四二〇	九,四五〇	九,四五〇	九,四五〇	四,三三〇	一,四七〇	一,四七〇	一
富 士 見 町	四,八六六	三〇,九一〇	三,八八九	三,四九九	三,三三〇	七,三五〇	一,五九〇	一,五九〇	一
英 間 町	四,四三三	三三,九八〇	三,〇三三	三,四九九	三,四九九	六,八七七	一,三三三	一,三三三	一
淺 間 町	五,五七七	九,四四五	一五,五五五	一五,五五五	一六,〇〇〇	三,五五五	一,〇七〇	一,〇七〇	一
子 安 町	四,五六六	一八,六二七	二,八三三	二,八三三	二,八三三	四,九三〇	九七〇	九七〇	一
中 居 町	五,八〇〇	三三,五七〇	四,五五五	五,三三三	四,六六六	五,三三三	一,六六六	一,六六六	一
瀧 頭 町	四,八三三	三〇,六六〇	三,八〇〇	三,五五五	三,三三三	六,三三三	一,八三三	一,八三三	一

四、郵便貯金

一般銀行の貯金の増加と共に零細なる資に貯蓄する郵便貯金も、逐年増加の傾向を辿り、昭和十一年末市内六十八局の貯金状況を観る預入金二九、七二六、八三九圓、拂戻金二六、七三二、五二四圓を算し前年よりも天々増加し、口數に於ても十年度の一、二七七、六五二口と昭和十一年末の一、五二八、九〇六口に比較し二五一、二五四口の増加を見て居る。次に十一年度末の人員及金額を觀るに人員四八七、〇九八人、貯金額四〇、五〇六、一三四圓となり預金者一人當り平均預金は八十三圓十六錢となる。

右の如く増加を示せる内最も多きは、鶴見工業地帯方面にして軍事インフレーション景氣により工場方面に働く人々の収入増加によりて爲さるゝものなることを物語つて居る。

郵便貯金

年 次	預 入		新 規		現 在		年 度 末 現 在 高	
	口 數	金 額	口 數	金 額	口 數	金 額	人 員	金 額
昭和十一年	一,五八,九〇六	元,七六,八三〇	六,五九六	七〇,〇三六	六,七三三	五,四四四	四七,〇九八	四〇,五〇六,一三四
昭和十年	一,三三,三三三	五,三三,一九〇	三,五五五	六五,三三三	三,四七七	五,八八八	四三,五五六	三三,六三三,八三三
昭和九年	一,二五,八三三	三,七七,三三三	六,六六六	五五,八三三	二,三二一	八四一	四〇,〇〇〇	三三,九〇〇,〇〇〇
昭和八年	一,四四,七七七	二〇,七四,四四四	六,六六六	五七,〇五二	一九,九二一	三,六九一	三〇,一五九	三〇,六四九,四五五
昭和七年	六四,五二二	九,九九,三〇八	五,六六六	五九,八九〇	三,四四四	四四四	一八,三三三	元,二六一,一〇五
昭和六年	?	二四,〇三三,七〇〇	?	?	三,五九九	四九九	三三,九九九	元,九九九,〇〇〇
昭和五年	?	五,三五五,五五五	?	?	三,一〇一	一,〇一〇	三三,〇〇〇	元,七七七,三三七

郵便貯金區別表 (昭和十一年末現在)

區 名	新 規 人 員	口 數	金 額	全 拂 人 員	口 數	金 額	現 在 人 員	金 額	前 年 比 シ 増 減 高
中 村 町	四,八六六	三〇,六六〇	一五,八八〇	七〇,〇九〇	一五,二二三	七四,四九〇	四,三二一	一六,〇四七	二
神 奈 川	三〇,三三三	三〇,三三三	三〇,三三三	三〇,三三三	三〇,三三三	三〇,三三三	三〇,三三三	三〇,三三三	一
鶴 見	一,九七三	三〇,四四五	一四,五五五	一四,五五五	一四,五五五	一四,五五五	一四,五五五	一四,五五五	一
磯 子	四,五六六	一八,六二七	二,八三三	二,八三三	二,八三三	二,八三三	二,八三三	二,八三三	一
保 土 ヶ 谷	七,八〇〇	三三,五七〇	四,五五五	五,三三三	四,六六六	五,三三三	一,六六六	一,六六六	一
計	六,五九六	一五,八八〇	七〇,〇九〇	一五,二二三	七四,四九〇	四,三二一	一六,〇四七	二	四〇〇

振替貯金區別表 (昭和十一年末現在)

	中 區	神奈川區	鶴見區	磯子區	保土ヶ谷區	計
新規加入人員	二七四	二八〇	一六九	五九	八七	八六九
脱 退 人 員	五五	二五	一五	六	一一	一一二
現在加入人員	一、一七七	七三五	三九一	一二四	一五七	二、五八四

第六章 會 社

一、概 説

本市會社の濫觴とも稱すべきは、横濱通商司保護勸奨のもとに、横濱爲替會社が明治二年二月本町三丁目に設立せられたことである。處がこれは現今の如きものではないが、此の會社が明治五年銀行條例の發布に依り國立銀行の願出を爲し、翌年一月間届けあり、第二國立銀行と改稱して營業を開始したのと、合資會社新鐵工所が今日の會社の始めである。更に同年六月横濱生糸改會社なるものが創立され、十一年に七十四銀行、十二年に正金銀行、創立され次いで株式組織を以て横濱取引所を設立せられた。

斯くの如く金融關係の會社を前衛として發達したのは我國の特色とも云ふべきである。

安政開國以來、外國文物の輸入によりて企業形態の變改の必要を認めらるゝに至つた、外國との交易上既に外國に於ては會社組織によりて大資本により各種專業を經營し、之に對して我國は個人又は二、三の合同經營を以てしては、到底外國資本家と競争に對抗すること能はざるを識者をして痛感せしめた、そして合本組織によることは零細資金を集積して大資本形成の容易なると一面各種階級の人材を得る上に便利で殊に資力無き武士階級の生産民化上必要であつたのである。然れ共當時金融會社を除く外は、造船業に於て幾分發達した程度であつて、明治十年の經濟革命時代までは、見るべきものがない。會社組織として認むるに足る發達を爲すに至つたのは、全く明治十九年以後のことである。これ即ち十八年末を以て紙幣整理完了し十九年一月より紙幣交換の開始せられたるを契機として、茲に我が産業の活潑なる活動の新時代に入ることを得たからである。故に十九年以後は會社企業熱の勃興を口火として點火せられたのである。

我横濱市に於ても飲料水、製茶、藥品製造、船舶、植木會社、倉庫運送、生糸關係、電線會社銀行等日清戰爭前までに設立せられたものも相當あつた。尤も其の間商法發布、銀行條例の實施によりて發展を一層促したことは事實である。

處が日清戰爭後更に國威發揚に依つて三十年代には益々増加し日露戰爭を経て會社企業は躍進的進歩を示した。殊に歐洲大

戦以後に於て我が企業界は輸出貿易と相俟つて劃期的伸展を示し大正に入りては將に各種會社は企業の本隊であり本流となつて活躍するに至つた。然るに大正九年の恐慌に於ては、此企業形態に一大特異性を發揮するに至つた。即ち企業の大資本による獨占的傾向、企業統制化を圖るもの出で、産業界を支配する一大勢力を有して、之が金融交通と一層の密接なる關係を有するに至つたことである。昭和年代に於ては大震災の影響はあるも一部外國商館の移轉、内國會社の解散等は極めて少なく益々増加し競争激化の傾向を示現して居る。又特に昭和二年の恐慌時代に於ては合資組織もの、激増を示したことは當時の財界を物語るものである。昭和六年に於ては滿洲事變の突發、滿洲國の創立、日本の國際聯盟脱退最近のソ聯の北鐵讓渡に至る経路は日本民族の東亞覇權の確立と、一方自給自足經濟、統制經濟の強化金輸出再禁止による爲替漸落、昭和七年のインフレーション政策により、一層生産會社の勃興を促し、年次其の數を増し、昭和九年は最高潮に達し總社數一、八三五、總資本額四四三、四七四千圓積立金に於て一五九、七九二千圓となり之を昭和十一年に比較するに社數に於て三五九、資本金額一七、一三三、一〇八圓の減少を見るに至りしも積立金に於ては之に反し二四、八五一、五八三圓の増加を得た。

以下最近五ヶ年の狀勢と昭和十一年の概況を示すこととする。

二、統計表

1 社數及資本金年次比較表

年別	社數	資本金	拂込資本金	積立金
昭和十一年	一、四七六	四二六、三四一、六八五	三六四、二九〇、四三九	一八四、六四四、二八九
昭和十年	一、五五六	四二六、五五九、六九四	三二八、四三五、八四〇	一七一、二九九、九六二
昭和九年	一、八三五	四四三、四七四、七九三	二〇六、二〇三、八六八	一五九、七九二、七〇六
昭和八年	一、六九七	四三五、一九六、三六二	三三六、六八八、五〇六	一五六、〇四九、一一二
昭和七年	一、二八三	四一八、四九二、九〇一	二九二、四三二、八三七	一五一、八三六、二五九

2 産業別會社總數

種別	社數	資本		社債	積立金	最近一ヶ年	
		公稱資本金 又ハ出資額	拂込資本金 又ハ出資額			純益金	純損金
一、農	1	100,000	1,675,000	1	11,000	1	1
農耕業	1	100,000	1,675,000	1	11,000	1	1
園藝業	3	1,000,000	1,675,000	1	33,000	1	2,119
開墾業	1	1	1	1	1	1	1
蠶業	4	5,600	5,600	1	1	1	1,055
牧畜養禽業	1	5,000	5,000	1	1	1	1
搾乳業	3	2,330,000	1,910,100	1	35,500	1	4,577
林業	2	5,535,600	3,604,800	1	37,500	1	3,161
二、水産	1	1	1	1	1	1	1
漁撈採藻業	1	1	1	1	1	1	1
水産養殖業	1	1	1	1	1	1	1
計	1	1	1	1	1	1	1
三、鑛業	2	1,815,000	1,555,000	1	1,500	1	1
金屬鑛業	2	1,815,000	1,555,000	1	1,500	1	1
石炭鑛業	1	1	1	1	1	1	1
石油鑛業	1	1	1	1	1	1	1
其他鑛業	3	3,300,500	2,078,500	1	1,611,500	1	1,777,755
土石採取業	3	3,300,500	2,078,500	1	1,611,500	1	1,777,755
計	8	5,336,000	4,046,600	100,000	1,604,566	1	1,777,755
四、工業	5	6,055,400	5,311,400	1	1,015,531	1	3,101,108
紡織工業	5	6,055,400	5,311,400	1	1,015,531	1	3,101,108
計	13	11,391,400	9,368,000	100,000	2,620,097	1	6,878,963

金屬工業	六	九,〇八,〇〇〇	五,九四,〇〇〇	—	—	六五五,四八三	五三,〇六一	一三三,四八四
機械器具工業	三	四,三三〇,二五〇	元,四八,四〇〇	—	—	三,九七五,〇三三	六,四三三,六四七	元,七〇四
窯業	六	七,三三三,〇〇〇	七,七〇〇	—	—	六,〇〇〇	三,五九三	五〇〇
化學工業	四	七,三三三,〇〇〇	六,〇七〇,〇〇〇	—	—	一,二七〇,三三九	五三,六三四	七三,三三九
製材及木工業	六	一〇,五二,九七七	四,〇二,一九七	—	—	一九,四四六	七,八四三	六,七三一
印刷製本業	二	一八,五〇〇	一九,五〇〇	—	二,〇〇〇	三〇	二,八〇四	九一
食品工業	七	三〇,九〇,六〇〇	二六,一〇,六〇〇	—	—	三,七六六,七三三	三,五九,六八〇	二四八,九四〇
瓦斯電氣水道業	一	一〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	—	—	—	—	—
其他工業	二四	五,三三,一八八	四,三三,六八八	—	—	三六,一九九	二七,二四八	四七,六三三
計	四六	一〇,二〇,九七五	六,〇四,二四九	—	二,〇〇〇	三〇,〇五〇,〇六六	二,四二五,三六六	一,六五五,三三三
五、商 業								
物品販賣業	六〇	五,〇〇,一七七	八,〇〇〇,九七七	—	五九,〇〇〇	二,四七,六三三	一,五七,三三三	八四,三三九
貿易業	六	一七,六九,〇三三	一五,三三〇,〇三三	—	—	一,七三三,五三〇	一,三三三,七六八	一,四〇〇,七三三
仲買委託販賣及賣買仲立業	元	四,九四〇,〇〇〇	元,〇〇,〇〇〇	—	—	八,九三〇,〇〇〇	一,〇〇二,〇七二	七,九二二
取引業	一	六,五〇〇,〇〇〇	六,五〇〇,〇〇〇	—	—	四九,五五五	七三,五九九	—
市場業	六	六,八四三,七五〇	六,四三三,七五〇	—	—	一五,三四三	三三,二二七	五〇四
新聞紙發行	五	一〇,七〇〇,〇〇〇	一〇,七〇〇,〇〇〇	—	—	—	九五	一,二〇〇
圖書雜誌出版	二	一〇,七〇〇,〇〇〇	六,七〇〇,〇〇〇	—	—	一,四七,一九三	六二,九九一	一三,五六六
倉庫業	五	三,一八,二五〇	三,一八,二五〇	—	—	二七,〇四〇,三九九	一五,九〇,四四四	七,六八八
金融業	一	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	—	—	九,六三三,三四四	七〇,一四〇	—
保險業	三	九,九〇,〇〇〇	九,七三,七五七	—	—	四一,五〇〇	四二,六六六	二四,三六六
保全會社業	三	二,〇三,四〇〇	二,〇三,四〇〇	—	—	一五,六六九	一五,六六九	三,九八八
土地建物賃貸	三	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	—	—	—	—	—
物品賃貸業	一	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	—	—	—	—	—
旅館料理店業	三	一,九二,三三〇	一,九二,三三〇	—	—	七,二六二	一八四,八八三	三,九五五

演藝場營業	八	五四八,〇〇〇	五四八,〇〇〇	—	—	—	—	一,〇〇五
遊藝場營業	九	三〇三,七五〇	三〇三,七五〇	—	—	四九〇	五,九三三	二,九三三
周旋業 (賣買仲立ヲ除)	三〇	一,一六四,五〇〇	九一,三五〇	—	—	一九八五三	五,三三八	四,八八八
其他ノ商業	九	三〇四,六三三,五〇〇	三〇五,九六五,九四四	—	—	二,三三,七六六	三,八二,四四四	二,六三,三三三
計	九六	三,〇四,六三三,五〇〇	三,〇五,九六五,九四四	—	—	二,三三,七六六	三,八二,四四四	二,六三,三三三
六、運 輸 業								
鐵道軌道運輸業	二	三,〇〇五,〇〇〇	二,七五,〇〇〇	—	—	一〇	—	—
汽船運輸業	六	三,四〇,五〇〇	三,四〇,五〇〇	—	—	—	—	—
汽船以外ノ水運業	三	三,七七,〇〇〇	三,三九,五〇〇	—	—	三六,八六〇	一一,〇五一	三,三五一
自動車運輸業	九	六九,〇〇〇	五五,七五〇	—	—	九,〇六六	一四,七四四	七,四九九
運輸取扱業	七	一,五三三,〇〇〇	一,三三,六〇〇	—	—	六九,七五五	一三,六〇一	八,六〇〇
其他運輸業	七	二四八,〇〇〇	一〇,五〇〇	—	—	六,五〇〇	一,九二七	四,六三三
計	三三	九,三七七,〇〇〇	八,二八,八五〇	—	—	三,七四,五一一	三,六五,二〇〇	四,四四五
合計	一四六	四,〇六,四二,六五五	三,〇四,二九,〇九三	—	—	五,〇七三,〇四〇	一,八四,六四四,六八九	四,三三,六三三

3 組織別及營業別

會社を組織別に分類して見るに合資會社が斷然其の數に於て首位を占め、八七二社、總社數の五九%となり、之に次ぐ株式會社三四九社、乃ち總社數の二四%合名會社は株式會社より稍々少く二五五社の一七%である。

之を組織別に依る資本状態を観るに、株式會社は三七九、一六九千圓にして總資本額の八八%を占め、之に對し合資會社は一四、二二四千圓にして僅に四%、合名會社に在りては三三、九四七千圓の之亦其の八%を占めるに過ぎない。

今其の社數と資本額との割合を對比して觀るに株式會社に於ては、社數は總社數の二四%なるに對し資本金額は總資本額の八八%を占め、明かに株式會社組織に依る資本集中の傾向を表して居る。合資會社は社數に於て最も多きを占め總社數の五九%に當つて居るが、其の資本額は僅か四%に過ぎず如何にも小額出資の組織が多い事を物語つて居る。

次に營業別より觀察するに社數の最も多きは商業にして九三六社、工業の四三九社之に次ぎ、運輸業の八三社にして農業は微々たるものにして水産業に至りては皆無である、商工業は他産業に比し小資本を以て企劃し易き關係上小會社に多く、殊に資本金一萬圓未満の會社は殆ど商工業に限られてゐる觀がある。

イ、株式會社

種別	社數	資本金		社債	積立金	最近一ケ年	
		公稱資本金	拂込資本金			純益金	純損金
一、農 業	1	3,000,000	1,350,000			25,334	2,219
農 耕 業							
園 藝 業							
開 墾 業							
蠶 業							
畜 養 禽 業							
牧 乳 業							
林 業	2	2,300,000	1,866,200		35,500	4,557	2,897
二、水 産 業	4	5,300,000	3,511,200		37,500	29,881	33,026
漁 撈 採 藻 業							
水 産 養 殖 業							
三、礦 業	1	1,200,000	1,500,000		1,500	元、三十一	
金 屬 礦 業							
石 炭 礦 業							
石 油 礦 業							
其ノ他 礦 業	2	3,100,000	2,700,000	100,000	1,601,500	1,777,750	5,336
計							
計	10	15,300,000	11,010,000	100,000	1,604,500	1,777,076	6,218

種別	社數	資本金		社債	積立金	最近一ケ年	
		公稱資本金	拂込資本金			純益金	純損金
土 石 採 取 業	2	3,100,000	2,100,000		1,566		43
計	5	5,300,000	4,410,000	100,000	1,604,500	1,777,076	6,218
四、工 業	3	5,040,000	4,326,000		1,740,833	2,912,77	45,444
紡 織 工 業	8	8,733,000	5,480,000		655,483	58,056	26,955
金 屬 工 業	1	40,880,000	36,866,350		3,933,855	6,426,378	31
機 械 器 具 工 業	1	500,000	500,000		1,100	3,811	
窯 業	2	6,910,000	5,707,500		1,364,100	57,79	3,699
化 學 工 業	4	10,110,000	3,710,000		19,466	3,755	63
製 材 工 業	2	30,000	30,000	2,000	310	50	36
木 製 品 工 業	3	19,666,000	14,666,000		3,617,733	3,480,631	34,655
印 刷 製 本 業	1	3,770,000	2,563,500		332,955	144,966	3,504
食 料 品 工 業	1	3,770,000	2,563,500		332,955	144,966	3,504
瓦 斯 電 氣 水 道 業	1	3,770,000	2,563,500		332,955	144,966	3,504
其ノ他 工 業	2	9,533,000	7,953,500	2,000	19,919,955	2,345,266	140,155
計	20	55,533,000	45,953,500	2,000	19,919,955	2,345,266	140,155
五、商 業	6	4,433,100	3,553,700		2,712,210	1,563,044	600,62
物 品 販 賣 業	3	2,375,000	9,800,000		1,410,560	681,041	48,655
貿 易 業	3	3,947,500	24,039,500		8,466,840	1,055,903	5,655
仲 買 委 託 販 賣 及 賣 買 仲 立 業	1	6,500,000	6,500,000		49,545	73,356	
取 引 業	3	6,810,000	6,310,000		1,643,433	35,127	
市 場 業	1	5,000	5,000				
新 聞 紙 發 行 業	1	9,900,000	5,900,000		1,444,933	57,126	
圖 書 雜 誌 出 版 業	7	130,200,000	115,155,647		1,703,55,67	15,907,433	4,44
倉 庫 業	7	130,200,000	115,155,647		1,703,55,67	15,907,433	4,44
金 融 業	1	3,500,000	3,150,000		9,322,304	70,123	
保 險 業	1	3,500,000	3,150,000		9,322,304	70,123	
計	26	104,433,100	85,353,700	5,000	2,712,210	1,563,044	600,62
計	26	104,433,100	85,353,700	5,000	2,712,210	1,563,044	600,62

種別	社數	會社名	出資額	積益金	純益金	最近一ヶ年純損金
開墾業	1					
蠶業	1					
牧畜養禽業	1		5,000		1,250	
林業	1		5,000		1,250	
二、水産業	1					
漁撈採藻業	1					
水産養殖業	1					
計	1		5,000		1,250	
三、鑛業	1		15,000			
金屬鑛業	1		15,000			
石炭鑛業	1					
石油鑛業	1					
其ノ他鑛業	1					
土石採取業	1		3,100		1,020	
計	1		18,100		1,020	
四、工業	1					
紡織工業	1		598,500	5,000	8,621	14,148
金屬工業	9		158,500		1,527	5,582
機械器具工業	5		177,550	300	2,269	24,205
窯業	3		35,000	4,800	3,121	500
化學工業	5		84,500	4,103	1,089	1,029
製材工業	2		14,000		33	264
木製品工業	2		109,000		1,798	
印刷業	3				149	

種別	社數	會社名	出資額	積益金	純益金	最近一ヶ年純損金
保全會社業	4		3,300,000		42,200	5,267
土地建物貨物	4		19,000		3,650	5,700
物品貨物業	1					
旅館料理店	7		1,322,500		20,000	5,500
演藝場遊樂	2		46,000			
戲場營業	2		46,000			
周旋營業	4		275,000		490	1,050
(賣買仲立ヲ除)						
其ノ他ノ商業	3		67,000		17,630	5,930
計	18		3,691,700	68,800	2,890,400	1,120
六、運輸業	1					
鐵道軌道運輸業	1		3,000,000			700
汽船運輸業	2		190,000			42
汽船以外ノ	6		3,400,000			21
水運業	7		445,000		260,620	10,150
自動車運輸業	9		1,033,600		9,600	4,500
運輸取扱業	4		240,000		29,350	5,000
其ノ他運輸業	4		240,000		6,500	29,800
計	44		8,447,600		326,120	4,420
一、農業	1					
農耕業	1		37,128,500	55,021,000	1,379,760	2,371,000
園藝業	1					
合計	1		37,128,500	55,021,000	1,379,760	2,371,000

種別	社數	出資額	積立金	最近一ヶ年	
				純益金	純損金
六、運輸業					
鐵道軌道運輸業	二	三二、五〇〇			三、六七〇
汽船運輸業	二				
汽船運輸以外ノ水運業					
自動車運輸業	二	七、五〇〇		五八	
運輸取扱業					
其ノ他運輸業	四	四〇、〇〇〇		五八	三、六七〇
合計	二五五	三二、九四七、七二五	六〇八、八八三	七〇五、一五〇	一、六八三、三二七
一、農業					
農耕業	四	二、〇〇〇		五〇	
園藝業	一				
開墾業	四	五三、六〇〇			一、〇八五
蠶業					
牧畜養禽業					
搾乳業	一	三三、〇〇〇			二五〇
林業	六	八八、六〇〇		五〇	一、三三五
計					
二、水産業					
漁撈採藻業					
水産養殖業					
合計					

種別	社數	出資額	積立金	最近一ヶ年	
				純益金	純損金
五、商業					
食品工業	一一	六八一、六〇〇	三三、〇〇〇	九〇、九七六	二、三四八
瓦斯電氣水道業	九	五六六、五〇〇	五〇〇	二、八〇一	五、五四三
其ノ他工業	五八	二、四二五、一五〇	四七、七〇三	一一二、二三五	五三、六一九
計					
物品販賣業	一一一	三、一三七、九七五	九、九四二	九〇、〇五五	八一、六〇六
貿易業	一一	四、八四五、〇〇〇	四六、六〇八	三六七、八〇四	一、三七四、〇四四
仲買委託賣買業	九	一四、三八三、〇〇〇	四一二、五七〇	一一、九四一	一九、〇五八
取引業					
市場業	一	九、〇〇〇			五〇〇
新聞紙發行					
圖書雜誌出版					
倉庫業	二	二七〇、〇〇〇	一一、五〇〇	一五、四〇五	四、八六一
金融業	九	一一三、八〇〇	一〇〇	一、八五一	三、二五四
保險業					
保全會社業	一八	六、〇九八、二〇〇	一〇、〇〇〇	四八、六八三	七二、六四〇
土地建物賃貸業	一三	九五五、四〇〇	五七、九〇四	八、四六九	六〇、八六四
物品賃貸業					
旅館料店業	一	四三六、一〇〇	一一、五五六	四三、三六〇	九、〇三六
遊藝場營業					
演藝場營業					
周旋業					
(賣買仲立ヲ除)					
其ノ他商業	五	二一一、〇〇〇	五六一、一八〇	三、九三七	一七五
計	一九〇	三〇、四五九、四七五	五六一、一八〇	五九一、五〇五	一、六二六、〇三八

三、礦業		計	152
金屬鑛業			
石炭鑛業			
石油鑛業			
其他鑛業			
土石採取業			
計	8,500		
四、工業		計	1,500
紡織工業	29	446,900	690
金屬工業	9	217,500	1,958
機械器具工業	34	384,600	1,976
窯業	2	242,000	3,826
化學工業	19	278,500	4,044
製材工業	32	287,797	2,083
印刷工業	5	59,500	476
食品工業	40	613,360	2,083
瓦斯電氣水道業	1	30,000	476
其他工業	99	1,072,688	2,344
計	270	3,632,845	78,645
五、商賣		計	1,500
物品販賣業	431	5,509,102	1,142,333
貿易業	21	749,063	1,76,933
仲買委託買賣業	18	613,500	14,234
計	470	6,871,665	1,171,500
計	1,500		

六、運輸業		計	1,500
鐵道軌道運輸業	1	5,000	720
汽船運輸業	2	12,000	1,899
汽船以外ノ運輸業	4	227,000	1,644
自動車運輸業	12	134,000	3,659
運輸取扱業	16	493,500	400
其他ノ運輸業	3	8,000	17,842
計	38	879,500	472,035
計	872	14,224,210	153
其他商業		計	1,500
取引業	2	14,750	795
市場發行業	2	40,900	1,152
新聞紙發行業	4	40,900	1,152
圖書雜誌出版業	2	530,000	1,152
倉庫業	2	168,350	1,152
金融業	16	452,200	1,152
保險業	8	940,000	1,152
保全會社業	1	20,000	1,152
土地建物賃貸業	1	192,600	1,152
物品賃貸業	1	20,000	1,152
旅館業	1	98,800	1,152
演藝場業	6	28,750	1,152
遊藝場業	5	256,750	1,152
周旋(賣買仲立)業	1	2,250	1,152
其他商業	3	436,933	375,498
計	557	9,614,765	1,885,255
計	1,500		

4 資 本 別

會社の資本金額を數種に區別して状態を観るに、一萬圓未満の小資本を擁する會社が最も多くして、六八五社及も總社數の四七%を占め之に次ぎ五萬圓未満のも三四七社で二三%、以上の小資本會社は殆ど合資合名の兩社に屬するものである、五萬圓以上百萬圓未満の會社は三六八社で二五%、大會社たる百萬圓以上のもの七六社にして僅か五%に過ぎない此の大會社は殆ど株式會社が占めてゐる、勿論株式形態が大資本組織として、他の會社形態に對し持つ優越性を反映するものである。左に其の數種を示すこととする。

イ、會社資本金額別總數

種別及組織	社數	總資本額	拂込額又ハ 出資額	積立金	最近一ケ年	
					純益金	純損金
農 業	4	5,300,000	3,521,000	37,500	29,821	3,026
株 式	1	8,600	8,600	—	—	1,355
合 資	3	5,000	5,000	—	—	—
計	4	5,308,600	3,604,600	37,500	31,176	1,355
水 産 業	—	—	—	—	—	—
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—
工 業	10	5,310,000	4,410,000	1,644,566	1,770,766	6,218
株 式	5	8,500	8,500	—	—	—
合 資	1	18,100	18,100	—	—	—
計	6	5,336,600	4,436,600	1,644,566	1,770,766	6,218
商 業	1	—	—	—	—	—
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—
礦 業	8	—	—	—	—	—
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—

種別及組織	社數	總資本額	拂込額又ハ 出資額	積立金	最近一ケ年	
					純益金	純損金
工 業	20	95,553,000	75,965,250	19,991,995	22,344,566	1,406,156
株 式	7	3,633,845	3,633,845	10,368	7,645	22,357
合 資	13	2,455,150	2,455,150	47,733	23,335	5,699
計	20	101,642,095	82,049,290	20,050,166	22,375,546	1,434,151
商 業	19	369,591,250	355,921,704	16,379,533	32,844,441	808,089
株 式	7	96,447,655	96,447,655	4,969,933	35,548	188,555
合 資	12	3,049,495	3,049,495	5,110	5,515	1,666,388
計	19	375,546,645	365,528,754	16,390,576	38,419,904	2,465,333
運 輸 業	4	8,477,600	7,393,550	366,143	247,330	99,755
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	4	8,477,600	7,393,550	366,143	247,330	99,755
計	4	8,477,600	7,393,550	366,143	247,330	99,755
合 計	14	400,000	400,000	—	10,000	3,600
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	14	400,000	400,000	—	10,000	3,600
計	14	400,000	400,000	—	10,000	3,600
農 業	1	39,196,560	37,218,560	183,597,766	2,377,033	2,377,033
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	1	39,196,560	37,218,560	183,597,766	2,377,033	2,377,033
計	1	39,196,560	37,218,560	183,597,766	2,377,033	2,377,033
合 計	15	439,243,655	422,246,810	183,981,363	2,754,579	2,754,579
株 式	7	14,334,200	14,334,200	455,600	472,055	321,255
合 資	8	33,942,755	33,942,755	68,883	75,550	1,666,388
計	15	48,276,955	48,276,955	524,483	547,605	1,987,643
口、壹萬圓未満	1	10,000	10,000	—	—	—
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	1	10,000	10,000	—	—	—
計	1	10,000	10,000	—	—	—
農 業	1	5,600	5,600	—	—	—
株 式	—	—	—	—	—	—
合 資	1	5,600	5,600	—	—	—
計	1	5,600	5,600	—	—	—
合 計	16	54,876,955	53,876,955	524,483	547,605	1,987,643

八、壹萬圓以上、五萬圓未満

種別及組織	社數	總資本		拂込額又ハ出資額		積立金	最近一ヶ年	
		額	円	額	円		純益金	純損金
農業	計	三,000	三,000	三,000	三,000		二五	二五
株								
合								
合								
計								
水産業	計							
株								
合								
合								
計								
鑛業	計	一	一五,000	一五,000				
株								
合								
合								
計								
工業	計	六	二九七,000	二六六,五〇〇	一,七三三	一〇,三三五	六,七六六	
株								
合								
合								
計								
商業	計	三	一,〇九八,四八八	一,〇九八,四八八	三,三三三	七〇,八五五	三〇,六一一	
株								
合								
合								
計								
合計		三〇	四,〇六六,三七〇	三,九五二,六三〇	五〇,三三三	一五七	一三,二七〇	

種別及組織	社數	總資本		拂込額又ハ出資額		積立金	最近一ヶ年	
		額	円	額	円		純益金	純損金
水産業	計							
株								
合								
合								
計								
鑛業	計	一	八,五〇〇	八,五〇〇				
株								
合								
合								
計								
工業	計	二	三,一〇〇	三,一〇〇				
株								
合								
合								
計								
商業	計	四	一,四〇〇,九五五	一,四〇〇,九五五	四,〇三五	三,三三三	四,〇六三	
株								
合								
合								
計								
運輸業	計	一	五,〇〇〇	五,〇〇〇				
株								
合								
合								
計								
合計		六	二,五五二,三七七	二,五五二,三七七	一七,七二四	一五六	二四,三三五	

農 業	種別及組織 社數	總 資 本	出 拂 込 額 又 ハ 資 額	積 立 金	純 益 金	最 近 一 ヶ 年 純 損 金	工 業			商 業			運 輸 業			合 計								
							業			業			業			計			計			計		
							株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計
1	1	100,000	100,000	1	159	2,877	1,150,000	77,000	5,000	2,426,000	1,770,000	1,250,000	1,770,000	1,250,000	1,770,000	1,250,000	1,770,000	1,250,000	1,770,000					
1	1	100,000	100,000	1	159	2,877	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000				
1	1	100,000	100,000	1	159	2,877	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000				

ホ、拾萬圓以上五拾萬圓未滿

礦 業	種別及組織 社數	總 資 本	出 拂 込 額 又 ハ 資 額	積 立 金	純 益 金	最 近 一 ヶ 年 純 損 金	農 業			水 産 業			合 計			運 輸 業					
							業			業			計			計			計		
							株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計	株 式	合 資	合 計
1	1	50,000	50,000	1	158	4,677	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000		
1	1	50,000	50,000	1	158	4,677	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000		
1	1	50,000	50,000	1	158	4,677	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000		

ニ、五萬圓以上、拾萬圓未滿

五拾萬圓以上、百萬圓未滿

種別及組織	社數	資本		拂込額又ハ 出資額	積立金	最近一ヶ年 純益金	純損金		
		總額	本						
		円	円						
農業	株	株式	10,150,000	7,775,000	503,955	27,831	5,757		
		合資	500,000	500,000	—	—	—	8,577	
		合計	1,100,000	1,000,000	503,955	—	27,831	14,334	
	合	合計	1,100,000	1,000,000	503,955	—	27,831	14,334	
		株	—	—	—	—	—	—	
		合	—	—	—	—	—	—	
	水産業	株	株式	5,550,000	3,560,000	333,103	—	—	—
			合資	—	—	—	—	—	—
			合計	5,550,000	3,560,000	333,103	—	—	—
		合	合計	5,550,000	3,560,000	333,103	—	—	—
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—
工業		株	株式	—	—	—	—	—	—
			合資	—	—	—	—	—	—
			合計	—	—	—	—	—	—
		合	合計	—	—	—	—	—	—
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—
	商業	株	株式	—	—	—	—	—	—
			合資	—	—	—	—	—	—
			合計	—	—	—	—	—	—
		合	合計	—	—	—	—	—	—
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—
合計		株	株式	16,800,000	11,335,000	837,058	—	—	—
			合資	500,000	500,000	—	—	—	—
			合計	17,300,000	11,835,000	837,058	—	—	—
		合	合計	17,300,000	11,835,000	837,058	—	—	—
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—

種別及組織	社數	資本		拂込額又ハ 出資額	積立金	最近一ヶ年 純益金	純損金		
		總額	本						
		円	円						
運輸業	株	株式	2,750,000	2,267,500	1,350,000	7,533	10,699		
		合資	500,000	—	—	—	—	—	
		合計	3,250,000	2,267,500	1,350,000	7,533	10,699		
	合	合計	3,250,000	2,267,500	1,350,000	7,533	10,699		
		株	—	—	—	—	—	—	
		合	—	—	—	—	—	—	
	商業	株	株式	3,650,000	1,807,500	1,350,000	—	—	
			合資	5,766,000	5,766,000	—	—	—	
			合計	9,416,000	7,573,500	1,350,000	—	—	
		合	合計	9,416,000	7,573,500	1,350,000	—	—	
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—
工業		株	株式	1,140,000	1,140,000	1,000	—	—	
			合資	1,366,000	1,366,000	—	—	—	
			合計	2,506,000	2,506,000	1,000	—	—	
		合	合計	2,506,000	2,506,000	1,000	—	—	
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—
	鑛業	株	株式	—	—	—	—	—	
			合資	—	—	—	—	—	
			合計	—	—	—	—	—	
		合	合計	—	—	—	—	—	
			株	—	—	—	—	—	
			合	—	—	—	—	—	
水産業		株	株式	4,500,000	3,500,000	3,066	—	—	
			合資	—	—	—	—	—	
			合計	4,500,000	3,500,000	3,066	—	—	
		合	合計	4,500,000	3,500,000	3,066	—	—	
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—
	合計	株	株式	10,350,000	8,335,000	5,416	—	—	
			合資	7,766,000	7,766,000	—	—	—	
			合計	18,116,000	16,101,000	5,416	—	—	
		合	合計	18,116,000	16,101,000	5,416	—	—	
			株	—	—	—	—	—	—
			合	—	—	—	—	—	—

農 業	種別及組織 社數	總 資 本 額	出 資 額	積 立 金	最近 一 ヶ 年 純 益 金	最近 一 ヶ 年 純 損 金	上、五百萬圓以上壹千萬圓未滿									
							合 計	運輸業			商 業	工 業				
								合 計	合 計	合 計			合 計			
株 式 資 名	1	1	1	1	1	1	3	5	3	5	3	3	3	3	3	3
合 資 名	1	1	1	1	1	1	3	5	3	5	3	3	3	3	3	3
計	1	1	1	1	1	1	3	5	3	5	3	3	3	3	3	3
							2,168,000	8,000,000	9,845,000	4,600,000	4,600,000	4,600,000	4,600,000	8,000,000	5,420,000	26,950,000
							8,000,000	5,420,000	3,363,600	3,363,600	3,363,600	3,363,600	3,363,600	8,000,000	4,171,800	3,390,000
							24,054,000	24,054,000	26,727,200	26,727,200	26,727,200	26,727,200	26,727,200	24,054,000	24,054,000	26,331,600
							8,269,900	7,957,500	1,669,900	1,669,900	1,669,900	1,669,900	1,669,900	8,269,900	4,093,000	2,268,800
							2,777,000	1,457,500	1,323,300	1,323,300	1,323,300	1,323,300	1,323,300	2,777,000	3,750,000	1,331,300
							163							163		

鐵 業	水 產 業	農 業	種別及組織 社數	總 資 本 額	出 資 額	積 立 金	最近 一 ヶ 年 純 益 金	最近 一 ヶ 年 純 損 金	下、百萬圓以上五百萬圓未滿							
									合 計	運輸業			合 計	合 計		
										合 計	合 計	合 計			合 計	
株 式 資 名	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 資 名	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	4,800,000	4,800,000	5,000,000	5,000,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
	4,800,000	4,800,000	3,211,000	3,211,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
	1,601,500	1,601,500	3,750,000	3,750,000	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500	1,601,500
	1,777,000	1,777,000	9,600	9,600	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000	1,777,000
	162				162									162		

リ、壹千萬圓以上五千萬圓未滿

種別及組織	社數	資本金											
		總額		拂込額又ハ出資額		積立金		最近一ヶ年純益金		最近一ヶ年純損金			
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
農業	株	計	一	六、五〇〇、〇〇〇	五、六五〇、〇〇〇	一、八八九、一五三	一、六九五、五三三	一六五	四五、三三三				
		合名	一	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	一、六九五、五三三						
農業	株	計	四	四、八〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇	一、六〇八、三九三	七、三〇、六三三						
		合名	四	四、八〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇	一、六〇八、三九三	七、三〇、六三三						
水産業	株	計											
		合名											
水産業	株	計											
		合名											
農業	株	計											
		合名											
工業	株	計											
		合名											
商業	株	計											
		合名											
商業	株	計											
		合名											

種別及組織	社數	資本金											
		總額		拂込額又ハ出資額		積立金		最近一ヶ年純益金		最近一ヶ年純損金			
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
運輸業	株	計											
		合名											
商業	株	計	四	三、〇〇〇、〇〇〇	一、八七三、〇〇六	一、三六、元一	一、〇五、五三三						
		合名	四	三、〇〇〇、〇〇〇	一、八七三、〇〇六	一、三六、元一	一、〇五、五三三						
工業	株	計	一	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	一、九〇、〇〇六						
		合名	一	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	一、九〇、〇〇六						
商業	株	計											
		合名											
水産業	株	計											
		合名											
商業	株	計	五	七、〇〇〇、〇〇〇	三、九七三、〇〇六	一、九九、元一	二、九五、六六元						
		合名	五	七、〇〇〇、〇〇〇	三、九七三、〇〇六	一、九九、元一	二、九五、六六元						
合計	株	計											
		合名											

合 計			運 輸 業			商 業			工 業		
合 計	合 資 式	株 式	合 計	合 資 式	株 式	合 計	合 資 式	株 式	合 計	合 資 式	株 式
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
100,000,000		100,000,000				100,000,000			100,000,000		
100,000,000		100,000,000				100,000,000			100,000,000		
130,200,000		130,200,000				130,200,000			130,200,000		
14,535,567		14,535,567				14,535,567			14,535,567		

鐵 業			水 産 業			農 業			合 計			運 輸 業		
合 計	合 資 式	株 式	合 計	合 資 式	株 式	合 計	合 資 式	株 式	合 計	合 資 式	株 式	合 計	合 資 式	株 式
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
									100,000,000			100,000,000		
									100,000,000			100,000,000		
									130,200,000			130,200,000		
									14,535,567			14,535,567		

又、五千萬元以上

種別及組織
社數
總資本

繰込額又ハ
出資額

積立金

純益金

最近一ヶ年
純損金

第七章 産業團體

一、概 説

全世界の經濟界は依然として、歐洲大戰後の反動たる恐慌の漫性的症狀を持續してゐる裡に、我が國のみは、昭和六年末の金輸出再禁止を轉期として、對外爲替相場が低位に安定したること、滿洲事件、上海事件、國際聯盟脫退、軍縮會議の不成立等によつて、我が國は史上未曾有の國際的孤立に陥りたる結果軍備の急速なる増強、所謂時局匡救費、低金利と云ふ一環のインフレーション政策が進行した爲め、我が商品は非常な勢を以て海外の各市場に進出し、貿易殊に輸出の増勢は著しいものがあつた。然るにこの我が國の貿易進暢によつて販路を奪はれた各國は、擧つて我が商品に對する排撃を策し、經濟的國家主義の精神に基き、各國は自國の産業保護の爲めに、他國の製品に對して極力その市場を閉鎖しようとして居るのである、かゝる排撃に對しては我が國に於ても朝野を擧げてその調整につとめ印度、蘭印、埃及、濠洲、加奈陀等との間に種々交渉を進め、中には多少満足に近い協定を結び得たるものがあるが、多くは非常な難局に立つて居るのである。

一方所謂軍需景氣を謳歌しつつ、急激なる活況にある軍需品關係、及輸出關係工業を除けば、我が國人口の大宗を占める農村は、人口飽和、換言すれば耕地面積の過少によつて、農家收入の相對的減少を來し、都市の商工業も前記工業の如き一部の好況に拘らず、一般的に見れば依然たる不況を呈して、所謂凸凹景氣を示し、殊に中小商工業者の依然たる窮境は、重大問題たるに至つたのであるが、最近に至り從來の社會政策的救濟策から一轉して、それら業者の我が産業界に於ける地位、殊に近年輸出貿易に重要な地位を占むる雜品輸出と、中小商工業との關係を考慮して、その存在理由の再認識につとめ、その將來性を考へて我が産業界の發達の爲めに、それ等の業者の健全なる發展を遂げさせるやうな對策を講じようといふ機運が醸成されるやうになつた。かやうな氣運の表現として第六十九回帝國議會の協賛を経て商工組合中央金庫法が制定せられ、更に全産聯、商工省協力の下に中小産業振興會社が具體化されようとして居る。

二、工業組合

工業組合制度は、大正十四年三月の重要輸出品工業組合法を母體として、その後一般工業界の統制の必要上、その適用範圍を擴張し、輸出品のみならず内地向重要工業品をも包含して昭和六年四月工業組合法の名に於て確立された。

惟ふに我國工業界は資本主義的大工場組織への道を辿りつゝあるとはいへ總括的には、中小工業者の数は依然侮るべからざる數を示し、彼等皆薄資にして大資本の重壓に喘ぎつゝ、互に無用の競争を續け、惹いては粗製濫造となり我が工業界の威信を失墜することゝもなりしたため、之等中小工業者の統制と融資の道を開かんとするところに工業組合の意義がある。

工業組合法によれば、組合員の製品、原料又は製造加工の設備に對する検査及取締、事業經營に對する制限、組合員の製品の加工及販賣、組合員の營業に必要な物資の供給、共同設備の設置、更に組合員の營業に關する指導、研究調査等凡て組合の目的を達成するに必要な施設であつて此の外金融機關としての機能を併せ行ひ得る。本市に於ける工業組合の情況を見るに、昭和二年に三組合、昭和六年に二組合、昭和八年に七組合、昭和九年に四組合、昭和十年に二組合、昭和十一年に一組合成立し、合計十九組合となつて居る。組合員數は七四二名（聯合會を除く）で出資總額は二〇三、四五〇圓で拂込濟額は、六五、六四〇圓（但し日本輸出布帛製品工業組合聯合會は不明）である。

次に工業組合の事業としては、共同購入をなすもの最も多く、總組合數の六割なる十一組合を占めて居る。その次位は生産調節をなすもので、十組合であり、統制的機能を發揮して居る。検査が九組合、共同販賣が八組合、加工料金の協定が七組合、販賣價格の協定が四組合、共同集金が二組合、貯金の受入が三組合、金融が三組合、製品に關する發明改良の保護、仲裁判斷及調停が各二組合、注文の個人引受禁止、營業に關する指導、研究、調査、營業に必要な物の供給が各二組合、共同加工、加工數量の割當、受託製造加工料金の協定、共同加工工場の設置、共同倉庫の建設が各々一組合となつて居る。以上を通過するに重大なる意味をもつ共同施設及金融機能は未だ端緒にあると言はざるを得ない。

次に生産價格（横濱輸出布帛製品第三工業組合不明）に就いて見るに、昭和九年度（以下昭和十一年に設立認可された横濱味噌工業組合の分をも含む）一〇一、二六四、八〇三圓なるに反し、昭和十年度に於ては一〇九、〇二三、八八六圓で、七、七五九、〇八三圓の進展を示し、生産品に於ても増産の傾向（各組合に於て計算單位を異にする故之を略す）にあり、工業組合の將來性を約束するものがある。

最後に聯合會としては三あり、日本輸出麻眞田工業組合聯合會、神奈川縣輸出布帛製品工業組合聯合會、日本輸出布帛製品工業組合聯合會が之である。

工業組合 昭和十一年度

名稱	設立年月日	地區	業種	組合員數	事業	一口の金額	口數	總額	拂込濟額	事務所（電話）	理事長
横濱輸出工業組合	昭和三、九、二三	横濱市	英大小	三〇名	検査 生産調節 委託共同販賣 價格の協定	五圓	二、六四〇	八、三〇〇	八、三〇〇	横濱市中區相生町三の三六 (電)三、四六〇五	讀原萬太郎
麻眞田工業組合	昭和三、九、二三	神奈川縣	麻眞田用製	六六名	検査 共同購入 共同販賣	五圓	三、七二六	二、六三三		横濱市中區杉山町四の一五 (電)三、五六四六	田島三藏
日本輸出麻眞田工業組合聯合會	昭和三、三、三三	全國	麻眞田用製	八名	検査 生産調節 共同購入 共同販賣	一、〇〇〇圓	八、八〇〇	二、〇〇〇		横濱市中區太田町六の七一 (電)二、五一〇七	藤井理一
横濱輸出工業組合	昭和六、一、三三	横濱市	洋傘	八名	検査 共同購入 共同販賣	一〇〇圓	一〇、一〇〇	六、八五五		横濱市中區南太田町一三六六 (電)二、三八四呼	村上金太郎
横濱輸出工業組合	昭和六、三、二一	神奈川縣	輸出絹織物 人造絹織物の精練 染色整理	三〇名	注文個人引受禁止 加工數量の割當 加工料金の協定 共同集金	一〇〇圓	二〇〇	二〇,〇〇〇	五,〇〇〇	横濱市中區山下町二〇五 (電)三、二八九八 (電)四、〇四六	小島常太郎
神奈川縣製氷工業組合	昭和八、六、二三	神奈川縣	製氷	三名	検査 共同購入 共同販賣 貯金の受入	一〇〇圓	五、五〇〇	一、三〇〇		横濱市中區本町五の四九 本町ビル内 (電)二、五五三〇 (電)二、五八六三	島山余之助
横濱輸出布帛製品第一工業組合	昭和八、一〇、二五	神奈川縣	卓子掛類	四名	共同購入 販賣價格の協定 一部製品の共同販賣	五圓	四〇、三〇〇	五、二二五		横濱市中區辨天通一の二〇 (電)二、一八一七呼	竹村嘉造

横濱輸出布 工業組合第二	昭和八、 二〇、 三五	神奈川縣	絹手巾 マフラ類	四名	共同購入 加工料金の協定	五三〇、一〇、〇〇〇	二、五〇〇	横濱市中區日本 大通一 商工奨励館内 (電)二〇三〇九三	君塚春五郎	
横濱輸出布 工業組合第三	昭和八、 二〇、 三五	神奈川縣	シャツ類	四名	共同購入 加工料金の協定	五三六、二、四〇〇	二、八〇〇	横濱市中區松影 町二の七五	大塚文雄	
横濱輸出布 工業組合第四	昭和八、 二〇、 三五	神奈川縣	絹寝衣類	四名	原材料の共同購入 生産調節 加工料金の協定	五三〇、一〇、〇〇〇	一、三〇〇	横濱市中區二葉 町三の二八	大岡作次郎	
横濱輸出布 工業組合第五	昭和八、 二〇、 三五	神奈川縣	絹キモノ	八名	生産調節 加工料金の協定	五三三、二、〇〇〇	二、六〇〇	横濱市中區日本 大通一 商工奨励館内 (電)二〇三〇九三	中村阿政理	
横濱輸出布 工業組合第六	昭和八、 二〇、 三五	神奈川縣	綿キモノ	七名	加工料金の協定 共同加工工場の 設置	五三〇、一〇、〇〇〇	二、六〇〇	横濱市中區日本 大通一 商工奨励館内 (電)二〇三〇九三	井出 長	
神奈川縣 輸出布工業 聯合會	昭和九、 一三、 三五	神奈川縣	輸出 布製品	八組合	販賣価格の協定 明改良の保護 仲裁判断及調停	五二〇、一、〇〇〇	五、五〇〇	横濱市中區日本 大通一 商工奨励館内 (電)二〇三〇九三	龜井信次郎	
横濱紙國 工業組合	昭和九、 七、 三〇	横濱市	紙 國	三名	検査 原材料の共同 購入	五四二、三、〇〇〇	三、〇〇〇	横濱市中區翁町 三の三三 (電)三〇二二四呼	大橋米次	
横濱輸出 工業組合	昭和九、 九、 四	神奈川縣	卓子掛類 (注染セ ルモノ)	二名	共同購入 生産調節 共同販賣	一〇〇	二、二一〇〇	二、七五	横濱市中區日本 大通三五 公園ビル内 (電)二六一三〇	山本清太郎
横濱輸出 工業組合	昭和九、 九、 五	神奈川縣	布製品	五名	生産調節 營業に關する指 導研究及調査	一〇〇	五、六五〇〇	六、五〇〇	横濱市中區日本 大通一 商工奨励館内 (電)二八六八	龜井信次郎

一七二

横濱輸出 工業組合	昭和〇、 九、 一三	神奈川縣	絹、人造 絹織物の 手工捺染	五名	一部製品の検査 生産調節 營業に必要なる ものの供給	五三〇〇、一〇、〇〇〇	二、五〇〇	横濱市中區山下 町二〇五 (電)二八九八 (電)四〇四六	秋山文雄	
日本輸出 工業聯合會	昭和〇、 二、 三五	全 國	製 布 品 合會	二聯	検査 販賣価格の協定 加工料金の協定 受託製造加工料 金の協定 新規考案の保護 奨励 仲裁判断及調停	一、〇〇〇	五、五〇〇〇	横濱市中區日本 大通一 商工奨励館内 (電)二〇三〇九三	加藤平次郎	
横濱味噌 工業組合	昭和二、 七、 三五	横濱市	味 噌	二名	検査及取締 生産調節 注文の共同引受 共同販賣 營業に必要なる ものの供給 金の貸付及貯 金の受入 營業に關する指 導研究及調査	五二六	五、三〇〇	一、三三五	横濱市中區長者 町九丁目稻森方 (電)二一九七五	横山鹿次

三、商業組合

我國商業組合制度は、昭和七年九月制定され、同十月一日より施行された商業組合法に根據を持つ。顧るに、我國中小商業者の窮迫は、一般的傾向にして、試みに本日の問題としての「百貨店對中小商業者」なる命題を想起することに依つても、この間の事情を思惟し得る。この原因として考へられることは、大資本の壓迫もさること乍ら、一方に於て中小商業者自體の經營上に於ける缺陷及び無統制より來る無謀の競争、他方に於て物的信用少き金融難之である。之れが對策として、彼等に統制を與へ、各種の經濟的共同施設及金融の便を可能ならしめんとするのが商業組合の目的なのである。商業組合法によれば、組合員の營業に關する統制、取扱商品の仕入、保管、運搬、其他の共同施設、營業に關する指導研究調査の外組合員に對する營業資金の貸付及貯金の受付をなし得ることとなつて居る。

一七三

さて本市の商業組合の現状をみるに、商業組合法の實施されたる昭和七年末に一組合の設立を見、昭和八年には、四組合、昭和九年には五組合の成立となり、昭和十年度に三組合、又更に昭和十一年度には三組合の設立を見たのである。即ち合計十六組合(内聯合會一)となつて居る。組合員数は昭和十一年末に於て三、一二九名、有資格者五、六七二名で、その差二、五四三名であつて、五六%の加入率を示して居る。出資總額は、二九七、四〇〇圓にして、保證責任組合は六組合であり、その保證金額は八七、二二〇圓である。

商業組合の事業のとしては仕入れをなすもの最も多く全組合によつて行はれてゐる。又貸付及貯金及統制をなすものも全組合に亘つて居り、金融及統制の點に重點が置かれて居ることが觀取されるのである。次に保管が十二組合、運搬が九組合、視察員の派遣及販路の調査八組合、指導研究が六組合、外人接待設備指導研究及宣傳統制が二組合、撰別、包装及荷造が二組合、商品及其容器の撰定改良の保護獎勵、共同包装場及荷造場の設置、見本市の開催、研究所の設置、營業上の債權取立代理、精鍊、染色、加工の斡旋が各一組合となつて居る。

商業組合 (昭和十一年度)

名稱	設立年月日	地區	業種	組合員數 (有資格者數)	出資總額 (金額)	事業計畫	事務所	代表者 (理事長)
横濱市通商	昭和七、三三	横濱市辨天通(自一丁目)至(六丁目)	雜種商業	九三	一、三〇〇圓	仕入、保管、外人接待設備指導及宣傳統制貸付及貯金	横濱市中區辨天通二の二二	飯島芳次郎
横濱市酒類	昭和八、四四	横濱市	酒類、醬油、味噌の卸又は小賣業	一、〇〇〇	三〇、五〇〇	仕入、保管、共同包装場及荷造場の設置統制、貸付及貯金	横濱市中區壽町三の一七	北見清吉
横濱市藥種	昭和八、三一	横濱市	藥種賣藥又ハ化粧品の小賣業	七九	二、六〇〇	仕入、保管、運搬、研究、視察員の派遣及販路の調査貸付及貯金	横濱市中區花咲町二の六九	市倉佐次郎
神奈川縣度量衡器計量器商業組合	昭和八、三三	神奈川縣	度量衡器及計量器の販賣業	二六	八、四〇〇	仕入、統制、指導、研究、調査、貸付及貯金	横濱市中區本町六の五〇	荒木三郎
保證責任横濱市履物小賣業	昭和八、四三	横濱市	履物小賣業	二六	五、〇〇〇	仕入、保管、統制、見本市の開催、貸付	横濱市中區長者町九の一六七	金子梅次郎
神奈川縣化粧品卸業	昭和九、四三	須賀市、川崎市、久良岐郡金澤町、外隣接町村	化粧品の卸賣業	二〇	四、〇〇〇	仕入、統制、指導、研究、研究所の設置	横濱市中區富士見町一の五	霜田七郎
保證責任横濱市寫眞攝影業	昭和九、四五	横濱市	寫眞攝影業	一〇	三、九〇〇	仕入、保管、運搬、海外宣傳、視察員の派遣、調査、貸付及貯金、統制	横濱市中區海岸通り一の一	清水隆
保證責任横濱市各種物品販賣業	昭和九、六五	横濱港	各種物品販賣業	二八	九、八〇〇	仕入、保管、運搬、貸付、統制	横濱市中區港町三の一	徳永彌太郎
保證責任横濱市洋品卸業	昭和九、九一	横濱市中區神奈川區磯子區	洋品の卸賣業又ハ小賣業	一六	一、七〇〇	仕入、運搬、保管、貸付、統制	横濱市中區港町三の一	徳永彌太郎
横濱市卸業	昭和九、二四	横濱市及川崎市	蒔蒨卸賣業	三	五、〇〇〇	仕入、保管、運搬、統制、指導研究、貸付及貯金	横濱市中區扇町三の一三二	西方金藏
横濱市中區薪炭小賣業	昭和〇、三五	横濱市中區	薪炭小賣業	四	八、四〇〇	仕入、保管、運搬、撰別及荷造、統制、視察員の派遣及販路の調査、貸付及貯金	横濱市中區共進町一の一	金井芳次
保證責任横濱市米菓の卸賣業又ハ小賣業	昭和〇、六六	横濱市	米菓の卸賣業又ハ小賣業	四	二、九〇〇	仕入、視察員の派遣及販路の調査、統制、貸付及貯金、保管、運搬	横濱市中區新川町五の二七	小森庫
神奈川縣酒類、醬油、味噌の卸賣業並ニ小賣業	昭和〇、二七	神奈川縣	酒類、醬油、味噌の卸賣業並ニ小賣業	七	二、五〇〇	仕入、保管、運搬、包装及荷造、統制、商品及其容器の撰定改良の保護、獎勵、貸付及貯金	横濱市中區壽町三の一七	北見清吉

保證責任 商業組合	昭和二、 四、三〇	神奈川縣 横浜市一區 横須賀市一區	米穀の卸賣業	(六)空 一〇〇、五〇	保管、運搬、營業上 の債權代理取立、委 託仕入、統制、貸付、 貯金、指導研究、調 査、講習講演會	横濱市中區花咲 町一の二三	望月政春
横濱洋服 商業組合	昭和二、 五、元	横濱市	注文に依り洋服 の調製販賣	(四)三六 三、七五	仕入、保管、販賣、 運搬、貸付、貯金、 統制	横濱市中區吉田 町一八	上保慶三郎
横濱輸出 商業組合	昭和二、 八、五	横濱市	輸出絹織物、輸 出人造絹織物、輸 出又は絹紡績織物 造絹絲の卸賣	(八)英 三、〇〇	運搬、精練染色加工 の統制、仕入、統制、 保管、貸付、貯金、 調査、検査	横濱市中區日本 大通一商工奨 勵館内	龜井信次郎

四、輸出組合

輸出組合制度は大正十四年三月制定された輸出組合法による。惟ふに、その主旨とするところは我國輸出貿易の大部分を占むる中小輸出業者の薄資無統制が結果した海外に於ける信用失墜を挽回し、我が輸出貿易を統制づけ、その健全なる發達をはからんとするにある。最近我輸出貿易の進展に對し、諸外國の壓迫甚だしき折柄、輸出組合の意義や重大といはざるを得ない。その主たる事業は、組合員の取扱商品の委託輸出、輸出の斡旋、保管、選別、包装、荷造等組合員の營業に關する共同施設、組合員の取扱商品の検査及取締又は事業經營に對する制限、海外市場の調査、新販路の開拓等組合の目的を達成するに必要な施設等で尙又組合員の取扱商品の買取、輸出金融等に關する業務を兼ねてゐる。

本市の輸出組合をみるに、輸出組各法制定の翌年たる大正十五年一組合の成立をみたのみでその後しばらく跡を絶つてゐたが、昭和六年一組合の誕生をみてよりは、その重要性次第に認識され逐年増加の傾向を示し、昭和七年二組合、昭和八年一組合、昭和九年三組合、昭和十年三組合、合計十一組合となつた。組合員數は五七五名、出資總額二七〇一、〇〇〇圓拂込濟額一三〇、二七五圓である。

輸出組合の事業としては、數量統制をなすもの最も多く、その數四組合、委託輸出、海外施設、輸出斡旋、統制手数料の徴收の統制、品質並に荷造検査、價格統制、輸出統制が各二組合、買收輸出、損失補償、輸入補償が各一組合で、統制の實をあげつゝあるが、神戸、大阪に比し積極的な海外市場開拓に對する努力に付一步を譲るの憾あること、又金融をなすもの全然存在しないことの二點に付いては將來の研究題目である。

輸 出 組 合 (昭和十一年)

名 稱	設 立 年 月 日	地 區 種 別	組 員 數	事 業	出 口 の 總 額	濟 拂 込 額	事務所 (電話)	理 事 長
日本柑橋 輸出組合	大正二五、 二、二〇	内地 柑橋	充名	一、買取輸出 二、委託輸出 三、數量統制 四、海外施設	五、四、三〇〇	四、三〇〇	横濱市中區常盤 町一の二 常盤ビル内 (長者町 三三)	望月益之助
横濱輸出 組合	昭和六、 三、四	神奈川縣 静岡縣及 山梨縣	絹人絹 加工品 絹類 五名	一、輸出斡旋 二、統制手数料の徴 收ノ統制及數量 統制	一〇〇、七、五〇〇	七、五〇〇	横濱市中區日本 大通 工奨勵館内 (本局二八六八) (本局五〇四八)	上甲信弘
日本 輸出組合	昭和七、 四、三	内地 百合根	一元名	一、品質並荷造検査	五、四、三〇〇	三、〇、七五	横濱市中區住吉 町一の二 (長者町 一三六四)	鈴木清藏
神奈川縣 輸出組合	昭和七、 三、六	神奈川縣	東亞細 亞部 三名	一、委託輸出 二、海外施設 三、損失補償	五、二〇、五〇〇	四、八、五	横濱市中區日本 大通 (本局五二三四)	上甲信弘
東日本陶磁 器輸出組合	昭和八、 六、三	北海道 東部 一區	陶磁器 六名	一、數量及價格統制	五〇〇、四〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	横濱市中區海岸 通一の二 ニューヨコハマ エクスプレス三 階 (本局三一二一)	小川益吉
日本絹紬對 米輸出組合	昭和九、 八、一	内地一區 絹紬對米	四名	一、數量統制	一〇〇、四、七〇〇	一、二、五	横濱市中區日本 大通 工奨勵館内 (本局二八六八) (本局五〇四八)	上甲信弘

横濱綿布 製品輸出 組合	昭和九、 八、一	神奈川 縣	綿製品	三名	一、輸出品の統制	100	3,800	5,100	横濱市中區南太 田町一の九 (本局一二五四)	奥澤許四郎
東部日本 米輸出組合	昭和九、 八、二	愛知 縣	米	三名	一、輸出入價格の制限	1,000	7,000	19,000	横濱市中區日本 大通 横濱市商 工獎勵館内 (本局四〇二四)	加藤平次郎
横濱雜貨 中南米輸出 組合	昭和〇、 三、三	神奈川 縣	雜貨	五名	一、統制手数料徴収 の統制	300	2,000	2,750	横濱市中區日本 大通 横濱市商 獎勵館内 (本局四〇二四)	加藤平次郎
横濱麻眞田 輸出組合	昭和〇、 七、四	關東 道	麻眞田	一名	一、輸出統制	100	1,900	475	横濱市中區櫻木 町一の九 (本局三〇一九)	野崎末男
横濱雜貨 アフリカ近 東輸出組合	昭和〇、 三、九	神奈川 縣	雜貨	五名	一、輸出統制 一、荷造包裝選別	300	5,000	1,350	横濱市中區櫻木 町一の九 (本局三〇一九)	中村楠太郎

五、同業準則組合

同業組合は、明治三十三年三月公布され、その後、大正五年一部改正された重要物産同業組合法に基くものであり、準則組合は、明治十七年十一月農商務省達第三十七號同業組合法準則による組合である。

同業組合は、之を沿革的にみれば、速く平安朝時代の「座」なる制度に源を發し、更には徳川時代の、各地方同業者の傳統的團結を目的とする「株仲間」の制度の進展せるものである。

重要物産同業組合法によれば、同業組合は重要物産の生産、製造又は販賣に關する營業をなすものに限られ、組合員協同一

致して營業上の弊害を矯正し、其の利益を増進するを以て目的とし、その加入は強制的なるに反し、準則組合は、單に農、工商業に従事するものの組合で、加入及び脱退は自由である。

さて本市の同業組合を眺むれば、組合員數は一〇、〇五一名となつてゐる。明治三十一年に三組合、明治三十二年に七組合設立されてゐるが、之は重要物産同業組合法の前身たる重要輸出品同業組合法（之は明治三十年に制定され、海外向工業にのみ限定されてゐた）によるものである。重要物産同業組合法によるものは、明治三十三年に一組合、同四十年に二組合、同四十一年に一組合、同四十二年に二組合、同四十三年に一組合、大正元年に一組合、同四年に一組合、同五年に一組合、同七年に二組合であり、その後絶えてなく、昭和に入つては、二年に一組合、四年に二組合、五年に一組合、七年に一組合、合計二十七組合のみ、昭和十一年末現在に至つてゐる。之に準則組合の七四を加へても、合計一〇一組合にして数字的增加を示さざるに反し商業組合は一六（内聯合會一）工業組合は一九（内聯合會四）輸出組合一合計四六組合と進展し、他に設立認可申請中のものもあり、將來への飛躍を約束してゐる。蓋し、同業組合は、弊害の矯正てふ消極的事業を行ふことのみを本體とするに反し商業、工業、輸出三組合は、それ以外に廣く積極的經濟施設をなしうるため、同業組合は、唯此等三組合に加入しえな

いもの例へば旅館、理髮屋、湯屋等の業者の利用するに過ぎざる傾向にあり、政府としても同業組合よりは寧ろ商、工、輸出三組合に對し助成策をとりつゝあることに起因するであらう。

同業組合の事業についてみれば、従業員の表彰（使用人及組合關係者を含む）をなすもの最も多く半分の十三組合である。營業品の検査をなすもの十二組合で、準則組合と異なる特異性を如實に示してゐる。次が、紛議の仲裁調停をなすもの一〇組合不正競争の防止が八組合、商況の調査、意匠圖案の發明、技術改善の獎勵、博覽會の出品、使用人の争奪防止が各七組合となつてゐる。以下研究会、講習會講話會、開催が六組合、標準價格の制定が四組合、營業權の擁護、従業員の不品行爲、犯罪防止が各三組合、營業設備の検査、參考資料の購入、販路の擴張、視察員の派遣が各二組合、價格の協定、使用人の保護、商品陳列所の設置、品評會の開催、法令違反の防止、未加入者の防止が各一組合となつてゐる。

次に同業組合を業種別にみれば、商業者のみによりてなるもの十二組合、工業者のみによりてなるもの三組合、商業並に工業者を含むものは、實に十二組合にして、同業組合の有機性をあらはしてゐる。準則組合は、商業者のみからなるもの三十一組合、工業者のみからなるもの九組合、商業者並に工業者を含むもの二〇組合、その他の業者十四組合といを數を示してゐる。

一、同業組合 (昭和十一年度)

名	事務所	電話	地區	設置認可年月日	組長	員數
横濱海産物雜詰貿易商同業組合	中區北仲通二ノ三三	2 六五	横濱市	明治三、五、二	加藤郁二	二
横濱綿布貿易同業組合	中區太田町一ノ九	2 三三	横濱市	同三、一〇、二	奥澤許四郎	七
横濱漆器同業組合	中區辨天通三ノ三六	2 七三	横濱市	同三、一、八	熊谷幸助	一四
横濱蠶絲仲次商同業組合	中區南仲通三ノ二八	2 〇四	横濱市	同三、三、〇	齋藤市太郎	三
横濱陶磁器商工同業組合	中區辨天通二ノ二八	...	横濱市及久良岐橋樹兩郡	同三、三、元	田代敬二	六
横濱紙業同業組合	中區月部町三ノ九三	3 二四	横濱市	同三、四、二	石原菊太郎	三
横濱輸出絹物同業組合	中區日本大通一	2 五〇	横濱市	同三、四、元	龜井信次郎	三六
横濱輸出眞田同業組合	中區日本大通一	2 三〇	神奈川縣	同三、四、元	伊澤徳尾	元
横濱輸出雜貨同業組合	横濱市商工獎勵館内	2 六六	横濱市及久良岐橋樹兩郡	同三、七、三	中村楠太郎	六
横濱金屬器商同業組合	中區日本大通一	2 六六	横濱市	同三、八、元	野村洋三	六
横濱輸出織物加工品同業組合	横濱市商工獎勵館内	2 三九	神奈川縣	同三、九、六	竹村嘉造	一三
横濱米穀商同業組合	中區蓬萊町一ノ二六	3 〇三	横濱市	同四、七、九	石川秋三郎	一、三三
横濱砂糖商同業組合	中區尾上町五ノ六九	3 二五	横濱市	同四、一、元	杉山謙造	三
横濱材木商同業組合	中區黄金町二ノ三〇	3 〇九	横濱市	同四、二、九	小此木歌治	一五
横濱食料鳥類商同業組合	中區野毛町三ノ一〇九	2 五〇	横濱市	同四、二、三	岡本龜次郎	一、四
神奈川縣石炭同業組合	中區花咲町一ノ一八	3 三三	神奈川縣	同四、九、三	奥村三樹之助	一、四
神奈川縣藥種賣藥同業組合	中區宮崎町二〇	3 三三	神奈川縣	昭和五、二、六	市倉佐次郎	一、〇七
横濱薪炭商同業組合	中區蓬萊町三ノ一一五	3 〇六	横濱市	明治四、一〇、三	大村平藏	一、五五

二、準則組合 (昭和十一年度)

名	事務所	電話	地區	設置認可年月日	組長	員數
横濱化粧品卸商同業組合	中區花咲町一ノ一八	3 元四	川崎市	大正元、九、四	箱田七郎	三
横濱酒類醬油味噌同業組合	中區壽町三ノ一一七	3 〇七	横濱市	同四、五、五	北見清吉	一、三三
横濱莫大小同業組合	中區相生町三ノ六三	3 四六	神奈川縣	同五、二、九	讓原萬太郎	四
横濱米穀問屋同業組合	中區花咲町一ノ二三	3 二〇	横濱市	同七、三、一	望月政春	天
横濱包裝木箱同業組合	中區相生町三ノ三六	3 〇六	横濱市	同七、六、三	三浦金太郎	三
横濱清涼飲料水製造同業組合	中區白妙町一ノ三	3 六五	横濱市	昭和三、四、五	瀬木磯吉	四
横濱造船鐵工同業組合	神奈川區榮町二ノ二五	2 四六	横濱市	同四、三、六	金坂金一郎	一五
横濱食肉商同業組合	中區眞砂町一ノ一	3 八四	横濱市	同四、五、七	竹内友三郎	三六
横濱鹽乾魚海産物商同業組合	中區本郷町二ノ五五	2 四七	横濱市	同七、二、三	目追武	三六
横濱時計商組合	中區伊勢佐木町五ノ一	3 九四	横濱市(鶴見區ヲ除ク)	明治六、一、...	神原定雄	一、四
横濱洋酒食料品商組合	中區太田町三ノ三七	2 六六	横濱市	同四、四、三	山口八十八	三
横濱銅鐵商組合	中區太田町一ノ一七	2 〇九	横濱市	同六、〇、五	田中岩吉	三
横濱洗濯ドライクリーニング組合	中區野毛町三ノ一三〇	3 二六	横濱市	同三、七、五	獅子倉新造	二六
横濱印刷業組合	中區太田町四ノ五四	2 八七	横濱市	同三、五、八	藤原新三郎	三
横濱煉瓦壁材組合	中區松影町四ノ一二八	3 元九	横濱市	同三、六、三	松澤壽三郎	四
神奈川縣食糧製造業組合	中區山下町一〇三	2 四九	神奈川縣	同四、二、三	坂本寅次郎	元
横濱牛乳販賣業組合	中區紅梅町一ノ一五	3 三三	横濱市	同四、三、四	丁仙熊太郎	三
横濱寫眞業組合	中區伊勢佐木町一ノ一一	3 天全	横濱市	同四、三、九	大塚留吉	三
横濱麵業組合	神奈川區鶴見町三ノ四八	2 三九	横濱市(鶴見區ヲ除ク)	大正元、九、四	田中市太郎	三

橫濱 青果商組合	中區南吉田二ノ二三 (三木方)	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	三木剛造	三三
神奈川青果商組合	神奈川區東神奈川町五
神奈川縣ペンキ塗請負業組合	中區福宮町仲通一	3 三三六	神奈川縣	同 一〇、一、八	加藤米次郎	三三
橫濱 提燈業組合	中區野毛町二丁目	3 三三六	橫濱市	同 一〇、三、三	木村安次	三三
橫濱 小麥粉商組合	中區吉田町七一	3 三三六	橫濱市	同 一〇、三、三	清水四郎右衛門	三三
橫濱 藝妓酌婦周旋業組合	中區曙町四ノ四七 (瀨尾方)	3 三三六	橫濱市	同 一〇、三、三	河内五郎次	三三
橫濱 瓦請負業組合	中區花咲町五ノ一三六	3 三三六	橫濱市	同 一〇、三、三	石川金藏	三三
橫濱 曳船組合	中區花咲町一ノ一八	3 三三六	橫濱市	同 一〇、三、三	川口清吉	三三
橫濱 漁物商組合	中區南吉田二ノ二三 (三木方)	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	伊東卯之助	三三
橫濱 指物組合	中區西戸郡町境ノ谷 一六八	金子梅次郎	三三
橫濱 履物業組合	中區長者町九ノ一六七	都築太三郎	三三
橫濱 西洋家具商組合	中區山下町一八五	2 三五三	橫濱市	同 四、三、三	田中吉五郎	三三
神奈川縣經師業組合	中區野毛町二ノ八五	3 三五三	神奈川縣	同 四、三、三	松本梅吉	三三
橫濱 石材商組合	神奈川區東神奈川町二五	2 四二六	橫濱市	同 四、三、三	三谷銀太郎	三三
橫濱 桶類製造販賣業組合	中區末吉町二ノ二六	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	太田自良	三三
橫濱 金物業組合	神奈川區平沼町一ノ三一	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	早川太一郎	三三
橫濱 鹽煎餅あられ製造業組合	神奈川區榮町一ノ八	竹元信義	三三
橫濱 船具商組合	中區眞砂町一ノ七	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	伊東健三	三三
橫濱 電話營業組合	中區相生町五ノ八〇	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	高松稻松	三三
橫濱 繩毬隊俵商組合	中區福宮町西通六	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	信田初五郎	三三
神奈川縣生花商組合	中區曙町二ノ二五 (信田方)	3 三三六	神奈川縣	同 四、三、三	村松秀吉	三三
橫濱 輸入雜穀肥料商組合	中區常盤町五ノ六八	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	小野光顯	三三
橫濱 電氣業組合	中區元町五ノ一八四	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	鈴木金太郎	三三
橫濱 輸出品荷造業組合	中區千代崎町一ノ二五	2 三三六	橫濱市	同 四、三、三	鈴木三郎	三三
橫濱 和服裁縫業組合	中區羽衣町二ノ四六	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	金井萬吉	三三
橫濱 庭園業組合	磯子區芝生町二ノ八九	2 三三六	橫濱市	同 四、三、三	平井又次郎	三三
橫濱 西洋家具製造組合	中區相生町二ノ四二	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	小森巳之吉	三三
橫濱 製鐵原料商組合	中區花咲町七ノ一五	3 三三六	橫濱市	同 四、三、三	矢澤千代吉	三三
橫濱 鋸商工組合	中區長者町九ノ一七六	大坂熊太郎	三三
橫濱 蒲鉾篠田揚製造販賣組合	神奈川區榮町二ノ三六	2 三三六	橫濱市	同 四、三、三	...	三三

横濱 質屋業組合	中區吉田町六二(原田方)	3026	横濱市	同	三、〇、三	原田久太郎	一七
横濱 銅工事請負業組合	中區山下町二七六	2557	横濱市	昭和三、九	中村運藏	二八	
横濱 乾海苔問屋組合	中區吉田町六四	3032	横濱市	同	三、二、九	田中淺吉	三
横濱 建具業組合	中區福富町仲通一二	2556	横濱市	同	四、一、元	山本平太郎	三〇
横濱 小賣市場組合	鶴見區潮田町三二	鶴見八四 三六	横濱市	同	四、〇、八	出澤國太郎	四
横濱 輸出押繪細工物組合	中區野毛町一ノ四三	3556 呼出	横濱市	同	四、二、五	井上精	四
横濱 支那料理聯合組合	中區櫻木町五ノ二八	2007 呼出	横濱市	同	四、二、元	津村峯男	五
神奈川縣横濱日除裝飾組合	中區曙町一ノ一	3593 呼出	横濱市	同	五、三、一	伊藤鐵三郎	五
神奈川縣印刷業組合	中區扇町二ノ四一	2030	神奈川縣	同	五、一、七	金子榮吉	六
横濱 飼糧商組合	中區南太田町八四五	3555	横濱市	同	五、四、六	宇野春吉	六
横濱 洋服商工組合	神奈川區宮前町一ノ三 (渡邊方)	2570	横濱市	同	五、四、五	上保慶三郎	四〇
神奈川縣醬油醸造組合	中區南太田町九一二 太田醬油造合資會社内	3066	神奈川縣	同	五、六、八	遠藤良弼	二元
横濱 鮮魚小賣商組合	中區太田町二ノ三四	2877	横濱市	同	五、〇、一	土屋麟之助	四六
横濱 文具商組合	中區若葉町二ノ二三	3008	横濱市	同	五、〇、八	中島信廣	六
神奈川縣自動車用品商組合	中區松影町一ノ二 四五七	3453 一九三	横濱市、川崎 市、横須賀市	同	五、三、〇	長谷川獸二	三
横濱 足袋商組合	中區伊勢佐木町三ノ一 〇六	3060	横濱市	同	六、三、六	小田川金之助	一四
横濱 豆腐商組合	中區山吹町二ノ四	3336	横濱市	同	六、三、三	松村寅藏	三六
横濱 染物業組合	中區相生町四ノ七二	3055	横濱市	同	六、八、九	早川淺吉	三〇
神奈川縣製麵業組合	中區高砂町二ノ一九	3047	神奈川縣	同	六、二、六	田村吉太郎	二五
横濱 水卸賣業組合	中區住吉町四ノ四六	3551	横濱市	同	七、七、二	竹内定吉	二四
横濱 塗料商組合	中區石川町一ノ三五	2164	横濱市	同	九、六、六	片岡富太郎	四
横濱 煙掃請負業組合	中區杉山町三ノ九一	...	横濱市	同	九、八、六	西常治	四

横濱有價證券現物商組合 中區南仲通三ノ三三 2336 横濱市 同 八、六、三 萩原保太郎 三

六、産業組合

我國に於ける産業組合制度は明治三十三年に産業組合法が制定されると同時に確立されたものであるが、此制度は衆知の如く中小農工商業者及其他の一般庶民階級の産業的、經濟的自治、或は相互扶助を目的としたものである。此産業組合制度が如何に之等の階級に利用せられたかは、其確立當時の組合数が僅か二十一組合に過ぎなかつたものが、現在では實に一萬五千餘組合を數へ、全組合員數五百十餘萬人になつて居るのを見て明かな事、一般庶民階級の經濟的更生策として偉大なる効果を齎した結果と言つても過言ではない。

産業組合が其各々の目的によつて信用組合、販賣組合、購買組合、利用組合、の四種に分れ、一つの組合で二種以上の機能を併せ行ひ得ることは産業組合法が規定する處であつて信用組合は貯金及貸付を技ふ金融機關であり販賣組合は組合員の生産物の販賣を目的とし購買組合は組合員の事業上又は經濟上の必要品を他より購入し之を組合員に買却し又は自ら生産して組合員に賣却する事が目的である。又利用組合は産業又は經濟上に必要なる各種の設備を組合員に利用させる事を目的とするものであつて、其設備の中には機械、器具、動力、工場等の生産設備より住宅等の消費設備をも包含するものである。

右に述べたやうに中小農工商業者にとつて擴大な利用範圍を整然とした組織を持つて居る經濟的利用機關である産業組合の現勢を統計的に考察する事は將來の發展に寄與する處尠くない。此意味で本市に於ける産業組合の状況を昭和十年に就いて調査してみよう。

先づ本市の産業組合は、信用組合が斷然多數で十六組合(内市街地信用組合三を含む)を數へ、次いで信販購利組合が七、信購利組合が五、信購組合四、信販購組合三、販購組合、購買組合が各々二であつて總數三十九組合となつて居る。之に兼營の信用事業を行ふものを加算すれば信用事業をするものは三十五組合と言ふ多數を示して居るのである。之を見て産業組合が如何に庶民階級の金融機關としての機能を發揮して居るかが推察できるのである。次に購買事業をなすものが二十三組合、販賣事業をなすもの又は利用事業をなすものは夫々十二組合である。